

Danfoss



取扱い説明書

VLT® AutomationDrive FC 300

安全性

▲警告

高電圧!

交流主電源に接続されている限り、周波数変換器は高電圧を含んでいます。設置、スタートアップ、メンテナンスは、資格のある技術者が実施するようにしてください。そうでない人間が、設置、スタートアップ、メンテナンスを誤って行った場合、死亡事故や重大な傷害事故を招くことがあります。

高電圧

周波数変換器が危険な主電源電圧に接続されています。ショックから身を守るため、最高の注意を払ってください。電子機器に関する訓練を受けた作業員のみが、この機器の設置、スタート、メンテナンスを行うことができます。

▲警告

予期しないスタート!

周波数変換器が交流主電源に接続されている場合、モーターは思いがけなくスタートすることがあります。周波数変換器、モーター、あるいは運転機器は、動作できる状態になっている必要があります。周波数変換器が交流主電源に接続されているにもかかわらず動作準備ができていないことから生じる故障は、死亡や深刻な傷害、設備や所有物の損害を招くことがあります。

不意なスタート

周波数変換器が交流主電源に接続されている場合、モーターは外部スイッチ、シリアルバスコマンド、入力速度指令信号、または不具合クリア状態によってスタートします。不意なスタートから防御するため、正しく注意を払います。

▲警告

放電時間

周波数変換器の DC リンク・キャパシターは、交流電源が切断された後でも充電されています。電気的な危険を防止するため、修理やメンテナンスをする前には周波数変換器からの交流主電源を切り、表 1.1 に記載する時間、待機してください。修理やメンテナンスの前に、ユニットの電源を切ってから一定時間待たないと、死亡または重大な傷害を招くことがあります。

電圧 (V)	最小待機時間 (分)	
	4	15
200 - 240	0.25 - 3.7 kW	5.5 - 37 kW
380 - 480	0.25 - 7.5 kW	11 - 75 kW
525 - 600	0.75 - 7.5 kW	11 - 75 kW
525 - 690	n/a	11 - 75 kW

警告 LED が点灯していない場合でも、高電圧が存在する可能性があります。

放電時間

記号

以下は、このマニュアルで使用されている記号です。

▲警告

回避できなかった場合に、死亡や重大な障害を招く危険性のある状況を示します。

▲注意

回避できなかった場合に、軽微あるいは中小程度の傷害を招くことがある危険な状況を示します。これは安全ではないやり方に対する警告としても使用される場合があります。

注意

主として設備や所有物などの損害を招くことがある状況を示します。

注記

間違いを防ぐため、あるいは最良の状態を機器を動作させるために注意すべき情報を強調表示します。

承認規格



目次

1 はじめに	4
1.1 取扱い説明書の目的	5
1.2 補助的リソース	5
1.3 製品概要	6
1.4 周波数変換器コントローラー内部機能	6
1.5 フレームサイズおよび電力規格	7
2 設置	8
2.1 設置場所チェックリスト	8
2.2 周波数変換器とモーター 事前設置チェックリスト	8
2.3 機械的設置	8
2.3.1 冷却	8
2.3.2 持ち上げ方法	9
2.3.3 取り付け	9
2.3.4 締め付けトルク	9
2.4 電氣的設置	10
2.4.1 必要条件	12
2.4.2 アース（接地）条件	12
2.4.2.1 漏洩電流 (>3,5 mA)	13
2.4.2.2 シールド・ケーブルを使用した接地	13
2.4.3 モーター接続	13
2.4.4 交流主電源接続	14
2.4.5 コントロール配線	14
2.4.5.1 アクセス	14
2.4.5.2 コントロール端末の種類	15
2.4.5.3 コントロール端子への配線	16
2.4.5.4 シールド・コントロール・ケーブルの使用	16
2.4.5.5 コントロール端子の機能	17
2.4.5.6 ジャンパー端子 12 と 27	17
2.4.5.7 端子 53 と 54 スイッチ	17
2.4.5.8 端末 37	17
2.4.5.9 機械的ブレーキ・コントロール	21
2.4.6 シリアル通信	21
3 スタートアップ および 機能検査	22
3.1 事前スタート	22
3.1.1 安全検査	22
3.1.2 スタートアップ・チェックリスト	23
3.2 周波数変換器への電源供給	24
3.3 基本動作プログラミング	24

3.4	自動モーター適合	25
3.5	モーター回転チェック	26
3.6	エンコーダーの回転を確認します。	26
3.7	ローカル・コントロール・テスト	26
3.8	システム・スタートアップ	27
4	ユーザー・インターフェイス	28
4.1	ローカル・コントロール・パネル	28
4.1.1	LCP レイアウト	28
4.1.2	LCP 表示値の設定	29
4.1.3	ディスプレイ・メニュー・キー	29
4.1.4	ナビゲーション・キー	30
4.1.5	操作キー	30
4.2	バックアップおよびパラメーター設定のコピー	30
4.2.1	LCP へのデータアップロード	31
4.2.2	LCP からデータをダウンロード	31
4.3	デフォルト設定の回復	31
4.3.1	推奨する初期化	31
4.3.2	手動初期化	31
5	周波数変換 プログラミングについて	32
5.1	はじめに	32
5.2	プログラミング例	32
5.3	コントロール端末プログラム例	33
5.4	国際/北米デフォルト・パラメーター設定	34
5.5	パラメーター・メニュー構造	35
5.5.1	メイン・メニュー構造	36
5.6	MCT 10 セットアップ・ソフトウェアによるリモートプログラミング	40
6	応用設定例	41
6.1	はじめに	41
6.2	アプリケーション例	41
7	状態メッセージ	46
7.1	状態ディスプレイ	46
7.2	状態メッセージ定義表	46
8	警告および警報	49
8.1	システム監視	49
8.2	警告と警報の種類	49
8.3	警報と警告の表示	49
8.4	警報と警告の定義	50

8.4.1 不具合メッセージ	52
9 基本的なトラブルシューティング	60
9.1 スタートアップと動作	60
10 仕様	63
10.1 電力依存仕様	63
10.2 一般技術データ	73
10.3 フューズ表	78
10.3.2 CE 準拠	79
10.4 接続の締め付けトルク	86
インデックス	87

1 はじめに

1

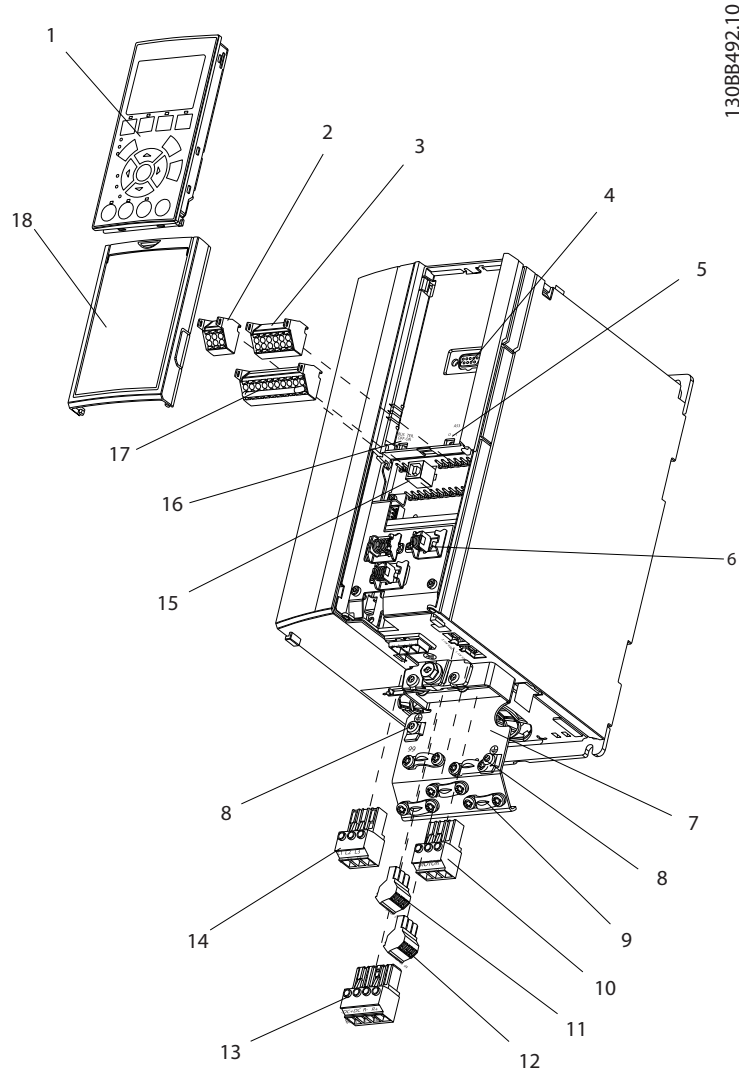


図 1.1 分解図 A1-A3、IP20

1	LCP	10	モーター出力端子 96 (U)、97 (V)、98 (W)
2	RS-485 シリアル・バス接続 (+68, -69)	11	リレー 1 (01, 02, 03)
3	アナログ I/O コネクター	12	リレー 2 (04, 05, 06)
4	LCP 入力プラグ	13	ブレーキ (-81, +82) および負荷分散 (-88, +89) 端子
5	アナログ・スイッチ (A53)、(A54)	14	主電源入力端子 91 (L1)、92 (L2)、93 (L3)
6	ケーブル・ストレイン・リリーフ/PE 接地	15	USB コネクター
7	減結合プレート	16	シリアル・バス端子スイッチ
8	接地クランプ (PE)	17	デジタル I/O と 24V 電源
9	シールド・ケーブル接地クランプとストレイン・リリーフ	18	コントロール・ケーブル・カバー・プレート

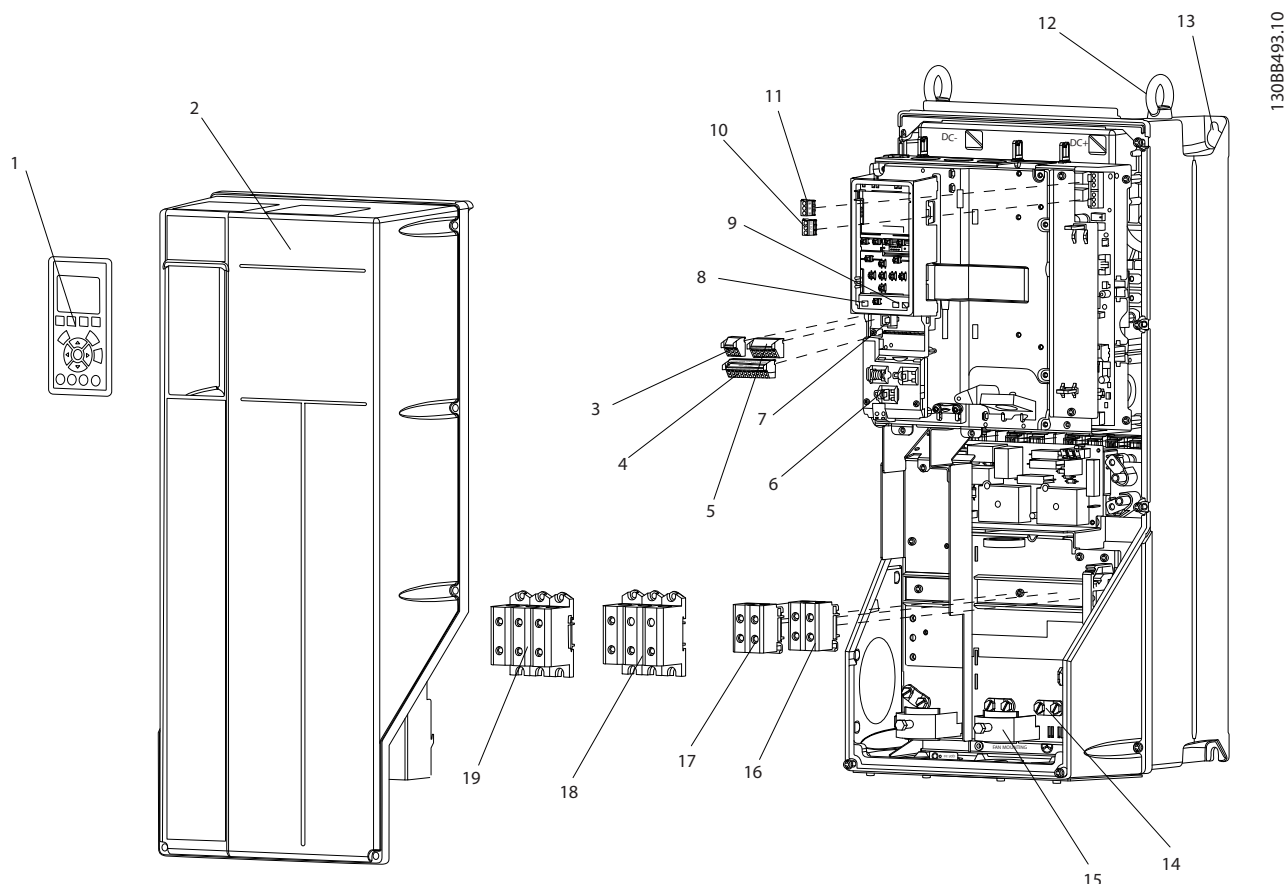


図 1.2 分解図 B および C サイズ、IP55/66

1	LCP	11	リレー 2 (04, 05, 06)
2	カバー	12	持ち上げ用リング
3	RS-485 シリアル・バス・コネクタ	13	取り付け用スロット
4	デジタル I/O と 24V 電源	14	接地クランプ (PE)
5	アナログ I/O コネクタ	15	ケーブル・ストレイン・リリーフ/PE 接地
6	ケーブル・ストレイン・リリーフ/PE 接地	16	ブレーキ端子 (-81, +82)
7	USB コネクタ	17	負荷分散端子 (直流 バス) (-88, +89)
8	シリアル・バス端子スイッチ	18	モーター出力端子 96 (U)、97 (V)、98 (W)
9	アナログ・スイッチ (A53)、(A54)	19	主電源入力端子 91 (L1)、92 (L2)、93 (L3)
10	リレー 1 (01, 02, 03)		

1.1 取扱い説明書の目的

この取扱い説明書は、周波数変換器の設置とスタートアップに必要な詳細情報を提供することを目的としています。第2章「設置」では、機械的および電気的な設置に関する必要条件を記載しています。これには、入力、モーター、コントロール、シリアル通信配線、コントロール端末の機能が含まれます。第3章「スタートアップおよび機能的試験」には、スタートアップ、基本動作プログラミング、機能的試験に関する詳細手順が記載されています。その他の章には、補足事項の詳細が記載されています。この中には、ユーザー・インターフェイス、詳細なプログラミング、アプリケーション例、スタートアップ

トラブルシューティング、および仕様などが含まれています。

1.2 補助的リソース

高度な周波数変換器の機能やプログラミングを理解するために、様々な補助的リソースが利用できます。

- プログラミング・ガイドにより、パラメーターの使い方や多くのアプリケーション事例について学習できます。
- デザイン・ガイドは、モーター制御システムを設計するための詳細な性能や機能を提供することを目的としています。

- Danfoss は 補 足 的 な 情 報 と マ ニ ュ ア ル を 提 供 し て い ま す。
詳 細 は 、 <http://www.danfoss.com/Products/Literature/Technical+Documentation.htm> を 参 照 し て く だ さ い。
- ま た 、 記 載 さ れ て い る 手 順 に い く ら か の 変 更 を 及 ぼ す 可 能 性 の あ る オ プ シ ョ ン 機 器 も 用 意 さ れ て い ま す 。 個 別 に 必 要 な オ プ シ ョ ン に つ い て は 、 付 属 の 説 明 書 を か な ら ず 確 認 し て 下 さ い。

ダウ ン ロ ー ド や 追 加 情 報 に つ い て は 、 D a n f o s s 代 理 店 ま で お 問 い 合 わ せ い た だ く か 、 ま た は <http://www.danfoss.com/Products/Literature/Technical+Documentation.htm> を 参 照 し て く だ さ い。

1.3 製品概要

周波数変換器は、AC 主電源入力を AC 波形出力に変換する電子モーターコントローラです。出力の周波数と電圧は、モーターの速度とトルクを制御するために安定化処理されています。周波数変換器は、制御ファン、コンプレッサー、ポンプモーターの温度や圧力の変化などのシステム・フィードバックに対応して、モーターの速度を変化できます。また、周波数変換器は、外部コントローラーのリモートコマンドに対応して、モーターを制御できます。

さらに、周波数変換器は、システムやモーター状況の監視、故障の警告や警報の発行、モーターの始動と停止、エネルギー効率の最適化、その他様々な制御、監視、効率性に関する機能の提供などを行います。動作および監視機能は、外部の制御システムまたはシリアル通信ネットワークの状況確認として利用できます。

1.4 周波数変換器コントローラー内部機能

下図は、周波数変換器の内部部品のブロック図です。これらの機能については、表 1.1 を参照してください。

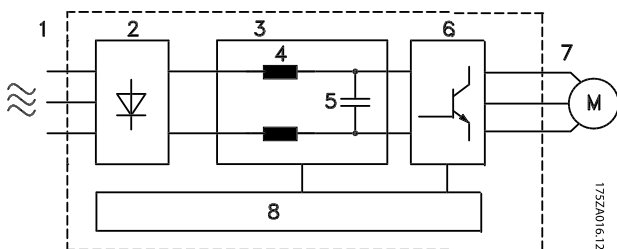


図 1.3 周波数変換器ブロック図

面積	タイトル	機能
1	主電源入力	• 3 相交流主電源が周波数変換器に電源供給します。
2	整流器	• 整流器ブリッジがインバーターに電力供給するため交流を直流に変換します。
3	直流バス	• 周波数変換器の中間直流バス回路が、直流電流を操作します。
4	直流リアクター	• 中間直流回路電圧をフィルタリングします。 • ラインのトランジエント保護を証明します。 • RMS 電流を削減します。 • ラインに再反映された力率を上昇させます。 • 交流入力の高調波を減じます。
5	キャパシター・バンク	• 直流電源を保持します。 • ショート電力損失に対するライド・スルー保護を提供します。
6	インバーター	• モーターへ制御された可変出力を供給するために、直流を制御された PWM 交流波形へ変換します。
7	モーターへの出力	• モーターに対する制御された 3 相出力
8	コントロール回路	• 入力電源、内部処理、出力、およびモーター電流は監視され、動作とコントロールの効率化を図られます。 • ユーザー・インターフェイスと外部コマンドは監視され、実行されます。 • 状況の出力と制御が行えます。

表 1.1 周波数変換器内部部品

1.5 フレームサイズおよび電力規格

ボルト	フレーム・サイズ (kW)												
	A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4
200-240	0.25-1.5	0.25-2.2	3.0-3.7	0.25-2.2	0.25-3.7	5.5-7.5	11	5.5-7.5	11-15	15-22	30-37	18.5-22	30-37
380-480	0.37-1.5	0.37-4.0	5.5-7.5	0.37-4.0	0.37-7.5	11-15	18.5-22	11-15	18.5-30	30-45	55-75	37-45	55-75
525-600	N/A	N/A	0.75-7.5	N/A	0.75-7.5	11-15	18.5-22	11-15	18.5-30	30-45	55-90	37-45	55-90
525-690	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	11-22	N/A	N/A	N/A	30-75	N/A	N/A

表 1.2 フレームサイズおよび電力規格

2 設置

2

2.1 設置場所チェックリスト

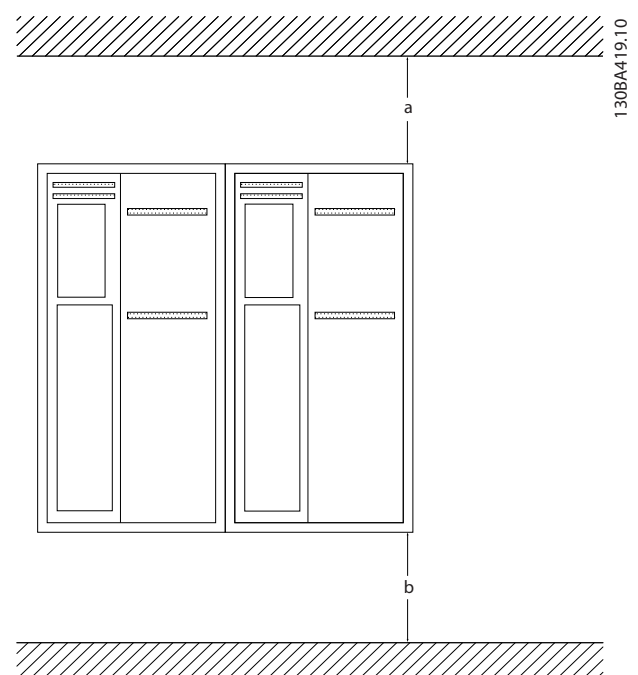
- 周波数変換器の冷却には外気を使用します。最適な動作を維持するため、外気温度の制限を守ってください。
- 設置場所が、周波数変換器を固定するのに十分な強度をもっていることを確認してください。
- 周波数変換器の内側に、塵埃や汚れが侵入しないようにしてください。部品が、可能な限り清潔さを保つようにしてください。建設現場では、保護カバーを用意してください。オプションの I55 (NEMA12) または IP66 (NEMA4) エンクロージャーが必要です。
- 取扱い説明書、図面、回路図等は、詳細な設置や操作説明のために、身近な場所に置いてください。取扱い説明書は機器のオペレーターがいつでも利用できるようにしておくことが重要です。
- 装置類は、モーターのできる限り近くに置いてください。モーター・ケーブルはできる限り短くします。モーター特性の実際の許容値を確認します。以下を超えないようにしてください。
 - 非シールドモーターリード線: 300 メートル (1000 フィート)
 - シールド・ケーブル: 150 メートル (500 フィート)

2.2 周波数変換器とモーター 事前設置 チェックリスト

- ネームプレート上に記載されているユニットのモデル番号が、注文したものに一致しているかどうかを確認します。
- 以下の各々が同じ定格電圧になっていることを確認します。
 - 主電源 (電力)
 - 周波数変換器
 - モーター
- 周波数変換器 の出力 電流定格 がモーター性能ピーク時のモーター総負荷電流と同じかそれよりも大きくなるようにします。
 - モーターサイズと周波数変換器パワーは、正しい過負荷保護と一致する必要があります。
 - 周波数変換器の定格がモーターよりも低い場合、モーターの最大出力を実現できません。

2.3 機械的設置

2.3.1 冷却

- 冷却気流を維持するため、ユニットは、堅固で平らな表面、あるいはオプションの背板に取り付けます (2.3.3 取り付けを参照してください)。
- 上部と下部に冷却用空きスペースを確保する必要があります。一般的に、100–225 ミリ (4–10 インチ) が必要です。空きスペースについては  2.1 を参照してください。
- 誤った取り付けは、過熱や性能の低下を招く場合があります。
- 温度の低減は、40°C (104°F) と 50°C (122°F) の間から開始し、および 1000m (3300ft) を超えると始まるようにする必要があります。詳細情報は、機器設計ガイドをご参照ください。

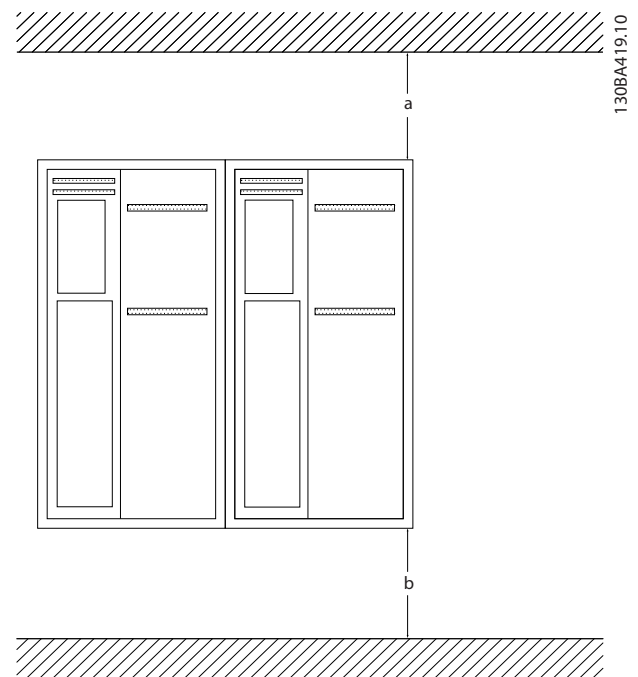


図 2.1 上部および下部の冷却用空きスペース

エンクロージャー	A1-A5	B1-B4	C1, C3	C2, C4
a/b (mm)	100	200	200	225

表 2.1 最小気流空きスペースの要件

2.3.2 持ち上げ方法

- 安全に持ち上げるためにユニットの重量を確認してください。
- 作業に最適なリフティング機器を確保します。
- 必要ならば、ユニットを移動するために最適な定格を持つ、ホイスト、クレーン、フォークリフトなどを用意してください。
- 持ち上げる場合、ユニットのホイスト・リング（装備されている場合）を使用します。

2.3.3 取り付け

- ユニットの垂直に取り付けます。
- 周波数変換器は並べて設置可能です。
- 取り付け位置の強度がユニットの重量を支えられることを確認してください。
- ユニットの安定した平面または背板に取り付け、冷却 airflow を維持します（[図 2.2](#)および[図 2.3](#)を参照してください）。
- 誤った取り付けは、過熱や性能の低下を招く場合があります。
- 壁に取り付ける場合、ユニットのスロット付き取り付け穴（装備されている場合）を使用します。

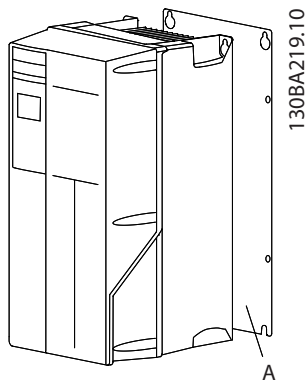


図 2.2 背板への適切な取り付け

図 A はユニット冷却のために必要な空気の流れが確保できるように正しく設置された背板です。

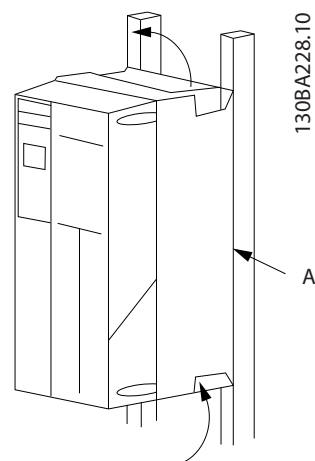


図 2.3 レールで適切な取り付け

注記

レールに取り付ける場合は背板が必要です。

2.3.4 締め付けトルク

適切な締め付け仕様については [10.4.1 接続の締め付けトルク](#) を参照してください。

2.4 電气的設置

本項では、周波数変換器の配線に関する詳細な説明を行います。以下の作業が説明されています。

- モーターを周波数変換器の 周波数変換器 出力端子へ接続します。
- AC 主電源を周波数変換器の 入力端子に接続します。
- コントロールとシリアル通信配線を接続します。
- 電源の適用後に、入力とモーター電力を確認します。 目的とする機能にコントロール端末をプログラミングします。

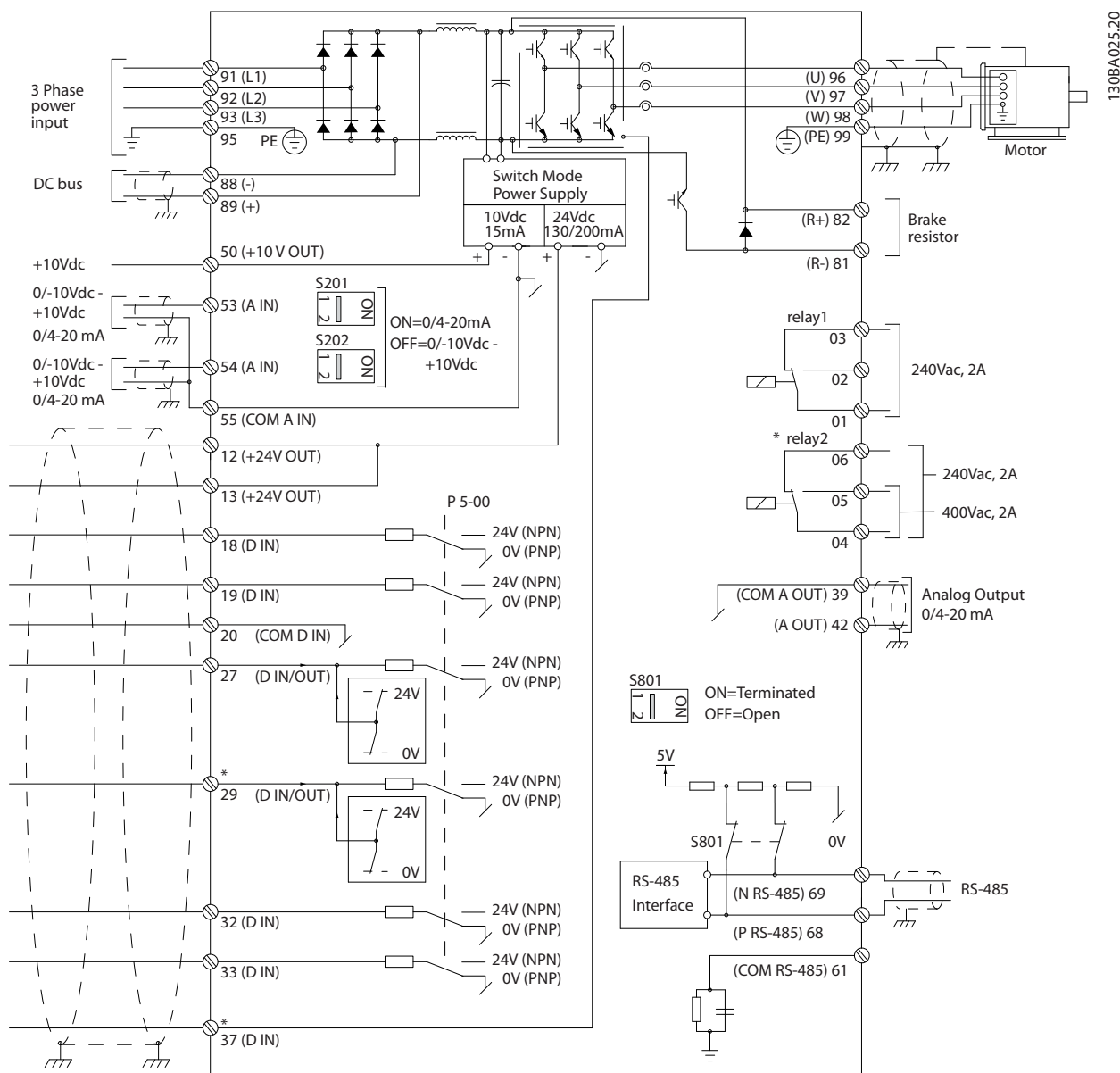


図 2.4 基本的配線図

A = アナログ, D = デジタル

端末 37 は、安全停止に使用されます。安全停止機能の組み込みについては、『Design Guide』（デザインガイド）を参照してください。

* 端末 37 は FC 301 には付属していません（フレームサイズ FC 301 A1 を除く）。リレー 2 および端末 29 は AutomationDrive FC 301 に付属していません。

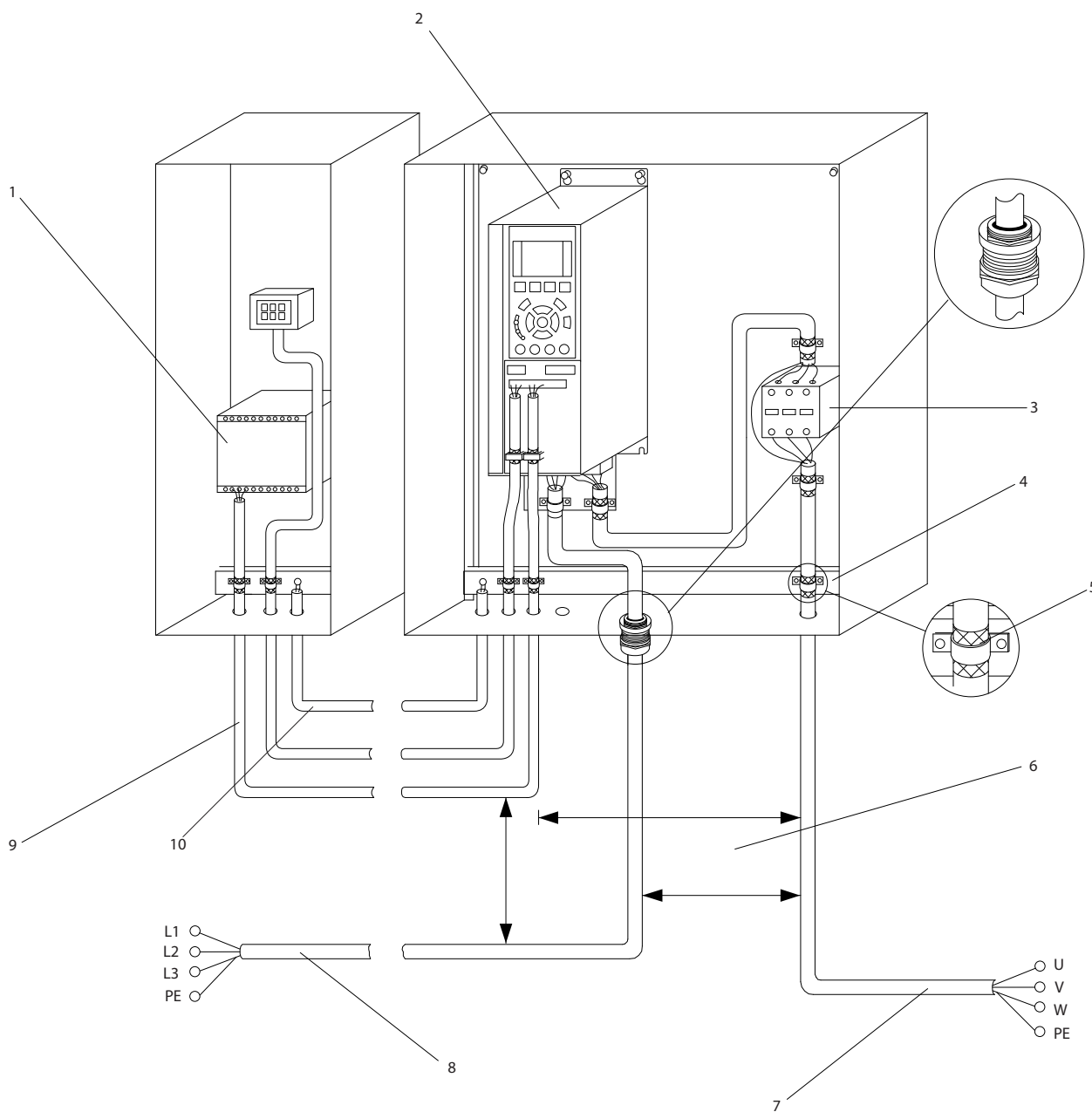


図 2.5 典型的な電氣的接続

1	PLC	6	コントロール・ケーブル、モーター、主電源の間に最小 200mm (7.9in)
2	周波数変換器	7	モーター、3相 および PE
3	出力コネクタ (通常は推奨されません)。	8	主電源、3相および強化 PE
4	接地レール (PE)	9	コントロール配線
5	ケーブル絶縁 (はく離)	10	最小 16mm ² (0.025in) で均等

2.4.1 必要条件

警告**機器が危険!**

回転するシャフトや電気設備は、危険となる可能性があります。全ての電気作業は、国内および地域の法令に準拠する必要があります。設置、スタートアップ、メンテナンスは、トレーニングを受け、資格のある人員のみによって実施されることを強く推奨します。これらのガイドラインに従わないと、死亡や重大な傷害事故を招くことがあります。

注意**絶縁に関する警告!**

高い周波数のノイズ絶縁には、入力電力、モーター配線、コントロール配線を3つの異なる金属導管で配線するか、または別の絶縁ケーブルを使用します。電力、モーター、およびコントロール配線の隔離に失敗すると、周波数変換器の性能が十分に発揮できなったり、関連機器の性能の低下を招いたりすることがあります。

安全のために、次の要件に準拠してください。

- 電子制御機器は、危険な主電源電圧に接続されています。ユニットへ電力を供給する際は、電気的危険から身を守るため、最大の注意を払ってください。
- 複数の周波数変換器からのモーターケーブルは別に配線します。出力モーターケーブルからの誘導電圧は、共に機器のキャパシターを充電します。これは機器がオフの場合、ロックアウトの場合でも同様です。

過負荷と機器の保護

- 周波数変換器の電気的機能により、モーターの過負荷保護を行います。過負荷が増加レベルを計算し、トリップ(制御出力停止)機能のタイミングを有効にします。電流の引きが高いほど、トリップの反応は速くなります。この過負荷は、クラス20モーター保護を提供します。トリップ機能の詳細については8 警告および警報を参照してください。
- モーター配線は、高周波電流を流すために、主電源、モーター電力、および制御線が異なる導管を通ることが重要です。金属導管あるいは個別シールド線を使用します。電力、モーター、コントロール配線の隔離を行わないと、機器の最適な性能が得られません。
- すべての周波数変換器は短絡および過剰電流保護を備えている必要があります。入力フェーズが保護のために必要です。図2.6を参照してください。工場で装備されない場合、フェーズはインストレーションの一部として設置作業

によって取り付けられます。最大フェーズ定格は10.3 フェーズ表を参照してください。

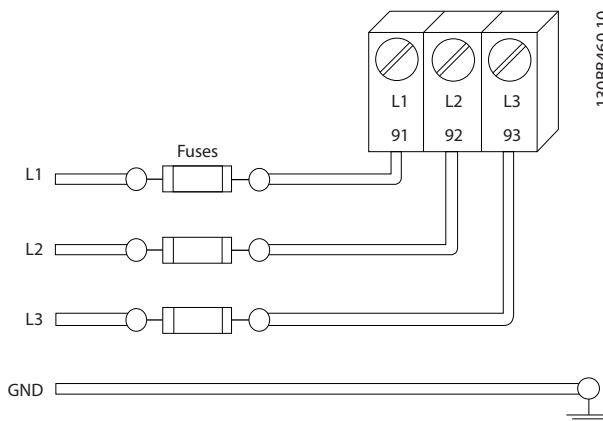


図 2.6 周波数変換器 ヒューズ

ケーブルの種類と定格

- すべてのケーブルが、ケーブル断面積と周囲温度の国内及び地域の規制に準拠していなければなりません。
- Danfoss は、電力系統の配線には、最小 75° C 定格の銅線を使用することを推奨しています。
- 推奨されるワイヤサイズについては10.1 電力依存仕様を参照してください。

2.4.2 アース（接地）条件

警告**接地に関する危険事項!**

オペレーターの安全のため、国内あるいは地域の電気法規さらには、本取扱い説明書に記載されている指示に従って、ドライブの接地周波数変換器を正しく行うことが重要です。接地電流は、3,5 mA より高くなります。接地周波数変換器を正しく行わない場合、死亡または重大な傷害を招くことがあります。

注記

国内及び地域の電気法規および規格基準に従った、機器に対する正しい接地（アース）を確実にすることは、ユーザーまたは認定された電気技師の責任です。

- 電気機器を正しく接地するために、地域や国内の電気法規を遵守してください。
- 機器を保護するための正しい接地では、3.5mA 以上の接地電流を確保しなければなりません。漏洩電流 (>3,5mA)を参照してください。
- 入力電力、モーター電力、およびコントロール線用に専用アース線が必要です。
- 正しい接地接続のために、機器に付いているクランプを利用してください。

- 1つの周波数変換器周波数変換器をディジーチェーン接続して、接地しないでください。
- 接地ワイヤ接続をできるだけ短くします。
- 電氣的ノイズを減らすために高品質撚り線の使用を推奨します。
- メーカーの配線条件に従ってください。

2.4.2.1 漏洩電流 (>3,5 mA)

国と地方の、漏洩電流 > 3,5 mA の設備の保護接地に関する規則を遵守してください。

周波数変換器技術は、高周波数が高電力で切り替わることを意味します。これは、接地接続、グラウンド接続において漏洩電流を生成します。出力電流末端における周波数変換器の不具合電流は、直流コンポーネントを含む場合があります。フィルターキャパシタを充電し、過渡接地電流を発生させます。接地漏洩電流は、RFI フィルター、シールドされたモーター・ケーブル、周波数変換器電力を含むさまざまなシステム構成に依存しています。

EN/IEC61800-5-1 (電力ドライブシステム製品基準) は、漏洩電流が 3,5mA を超えた場合に特別な注意を必要とします。接地は以下の手段のうちの1つによって補強される必要があります:

- 最低 10mm² の接地ワイヤ
- 寸法規則を遵守した2つの接地ワイヤ

詳しくは EN 60364-5-54 § 543.7 を参照してください。

RCD を使用

漏電遮断器 (ELCB) とも呼ばれる残留電流デバイス (RCD) が使用された場合、以下を遵守します。

交流および直流電流の検知能力を有するタイプ B の RCD のみを使用します。

過渡接地電流による不具合を防止する突入りレールによって RCD を使用します。

システム構成および環境的考慮に従った寸法 RCD

2.4.2.2 シールド・ケーブルを使用した接地

モーターと結線するためにアース (接地) クランプが用意されています (図 2.7 を参照)。

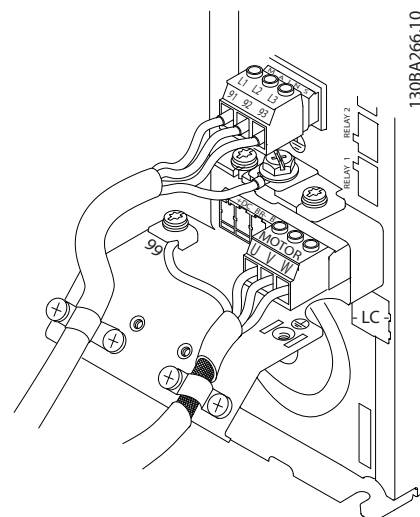


図 2.7 シールド・ケーブルによる接地

2.4.3 モーター接続



誘導電圧!

複数の周波数変換器からの出力モーター・ケーブルは別に配線します。出力モーター・ケーブルからの誘導電圧は、共に機器のキャパシタを充電します。これは機器がオフの場合、ロックアウトの場合でも同様です。出力ケーブルを別にせず動作させた場合、死亡または重大な傷害を招くことがあります。

- 最大ワイヤサイズについては、10.1 電力依存仕様を参照してください。
- ケーブル・サイズについては、国内および地域の電気法規を遵守してください。
- モーター配線ロックアウトまたはアクセスパネルは、IP21 およびそれ以上の (NEMA1/12) ユニットを基本に提供されます。
- 周波数変換器とモーターの間に力率修正用キャパシタを設置しないでください。
- 周波数変換器とモーターの間に始動あるいは極性変更機器を接続しないでください。
- 3相モーターを端子 96(U)、97(V)、98(W) に接続します。
- 設置に関する指示に従ってケーブルを接地します。
- 10.4.1 接続の締め付けトルクに記載されている内容に従って、端子を締めます。

- メーカーの配線条件に従ってください。

次の三つの図は、基本的な周波数変換器の図 2.8 主電源入力、モーター、およびアース接地を示しています grounding。 実際の構成は、ユニットの種類やオプション機器によって異なります。

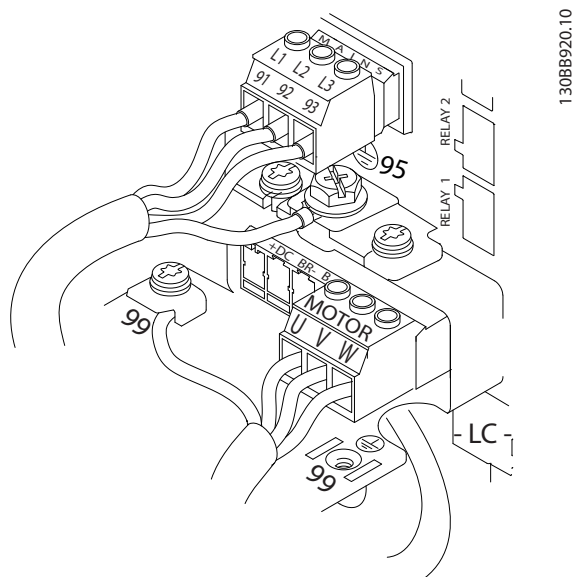


図 2.8 モーター、主電源、アース配線の例

2.4.4 交流主電源接続

- 周波数変換器の 入力電流に基づくサイズ配線最大ワイヤサイズは 10.1 電力依存 仕様を参照してください。
- ケーブル・サイズについては、国内および地域の電気法規を遵守してください。
- 3 相交流入力電力ワイヤを L1、L2、L3 に接続します (図 2.8 を参照してください)。
- 機器構成により、入力電力は主電源入力端子あるいは入力切断に接続されます。
- 2.4.2 アース (接地) 条件に記載された設置に関する指示に従ってケーブルを接地します。
- 周波数変換器は全て、接地基準電力ラインと同様、絶縁された入力ソースと接続されて使用されます。 絶縁された主電源 (IT 主電源またはフローティング・デルタ) あるいは、 接地されたレグ (接地デルタ) のある TT/TN-S 主電源である場合には、14-50 RFI フィルターをオフ (OFF) にすることを推奨します。 OFF の位置では、シャーシと中間回路間にある内部 RFI フィルター・キャパシターが切断され、中間回路の破損を防止するとともに、接地容量電流が減少します (IEC 61800-3 対応)。

2.4.5 コントロール配線

- コントロール配線は、周波数変換器の高電力部品から絶縁してください。
- 周波数変換器が サーミスターに接続されている場合、PELV 絶縁のために、オプションのサーミスターコントロール配線は強化されるか二重に絶縁される必要があります。 A 24 VDC 供給電圧をお勧めします。

2.4.5.1 アクセス

- ドライバーでアクセス・カバー・プレートを取り外します。 図 2.9 を参照
- あるいは、ネジを緩めてフロントカバーを取り外します。 図 2.10 を参照

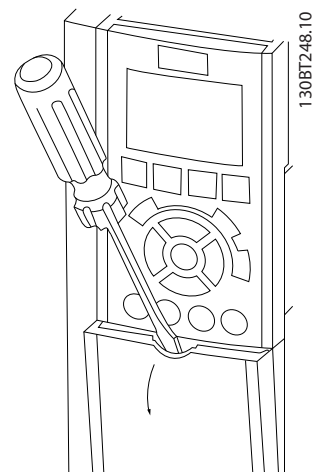


図 2.9 A2、A3、B3、B4、C3 および C4 エンクロージャーのコントロール配線アクセス

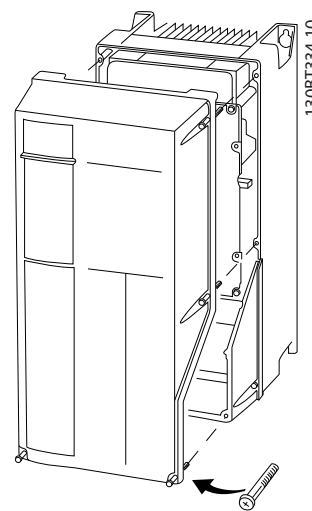


図 2.10 A4、A5、B1、B2、C1 および C2 エンクロージャーのコントロール配線アクセス

カバーを締める前に表 2.2 を参照してください。

フレーム	IP20	IP21	IP55	IP66
A4/A5	-	-	2	2
B1	-	*	2.2	2.2
B2	-	*	2.2	2.2
C1	-	*	2.2	2.2
C2	-	*	2.2	2.2

* 締めるねじがありません
- ありません

表 2.2 カバー締め付けトルク (Nm)

2.4.5.2 コントロール端末の種類

図 2.11 は取り外し可能な周波数変換器コネクタを示しています。 端末機能およびデフォルト設定は表 2.3 で要約されています。

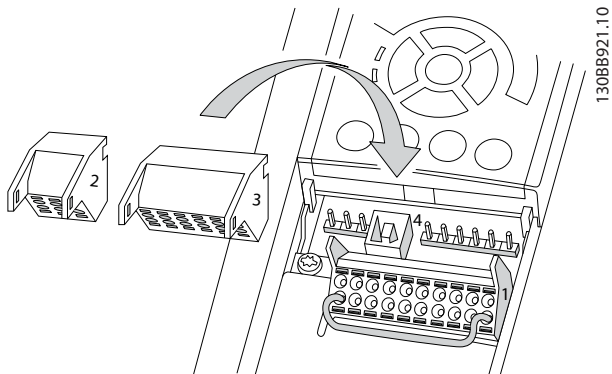


図 2.11 コントロール端子位置

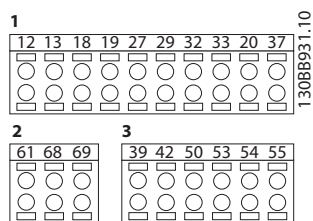


図 2.12 端末番号

- コネクタ 1 は、四つのプログラマブル・ デジタル入力端子、二つのプログラマブル・ 入出力デジタル端子、24VDC 端子供給電圧用端子、および 24VDC のユーザー供給 (オプション) 用共通端子などで構成されます。
- コネクタ 2 端子 (+)68 および (-)69 は、RS-485 シリアル通信接続用です。
- コネクタ 3 は、二つのアナログ入力、一つのアナログ出力、10VDC 供給電圧、および、入力と出力の共通端子で構成されています。
- コネクタ 4 は、USB ポートで MCT 10 セットアップ・ ソフトウェアと共に使用します。

- さらに、Form C リレー出力があり、周波数変換器の構成とサイズに応じて場所が変わります。
- ユニットと一緒に注文ができるいくつかのオプションでは、追加的な端末が提供されます。 機器のオプションとともに提供されたマニュアルを参照してください。

端末定格の詳細は、10.2 一般技術データを参照してください。

2

端末説明			
端子	パラメーター	デフォルト設定	詳細
デジタル入力/出力			
12, 13	-	+24V DC	24V DC 供給電圧。すべての 24V 負荷について、最高出力電流は全 200mA (FC 301 用 130mA)です。 デジタル入力および外部トランスデューサーに使用可能。
18	5-10	[8] スタート	デジタル入力
19	5-11	[10] 逆転	
32	5-14	[0] 操作なし	
33	5-15	[0] 操作なし	
27	5-12	[2] 逆フリーラン	デジタル入力又はデジタル出力として選択します。 デフォルト設定は入力機能です。
29	5-13	[14] ジョグ	
20	-		24V 供給についてデジタル入力および 0V ポテンシャル用共通。
37	-	安全トルクオフ (STO)	安全入力 STO に使用。
アナログ入力/出力			
39	-		アナログ出力用共通。
42	6-50	[0] 操作なし	プログラマブル・ アナログ出力。 アナログ信号は、最大 500Ω にて 0-20mA あるいは 4-20mA です。
50	-	+10V DC	10 VDC アナログ供給電圧。ポテンショメーターやサーミスターに通常使用される最大 15mA。
53	6-1	速度指令信号	アナログ入力 電圧または電流を選択可能。 A53 および A54 切り替え、mA または V を選択。
54	6-2	フィードバック	
55	-		アナログ入力用共通。

端末説明			
端子	パラメーター	デフォルト設定	詳細
シリアル通信			
61	-		ケーブル・シールド用の統合 RC フィルター。EMC に問題がある場合のシールド接続専用。
68 (+)	8-3		RS-485 インタフェース。コントロール・カード・スイッチが終端抵抗に提供されています。
69 (-)	8-3		
リレー			
01, 02, 03	5-40 [0]	[0] 操作なし	Form C リレー出力交流、直流電圧どちらでも利用でき、抵抗あるいは誘導負荷をかけることができます。
04, 05, 06	5-40 [1]	[0] 操作なし	

表 2.3 端末説明

2.4.5.3 コントロール端子への配線

コントロール端子コネクタは、図 2.11 に示すとおり、installation を容易にするために、周波数変換器から取り外すことができます。

1. 図 2.13 で示されるように、小型のドライバーを接点の上あるいは下側のスロットに挿入して、接点を開きます。
2. 剥き出しのコントロール・ワイヤを接点に挿入します。
3. ドライバーを抜いて、コントロール・ワイヤで接点を締めます。
4. 接点がしっかりと固定され、緩んでいないことを確認します。コントロール配線が緩むと、機器故障の原因となったり、操作の最適化の妨げとなったりします。

コントロール端子のワイヤサイズについては 10.1 電力依存仕様を参照してください。

典型的なコントロール配線の接続については 6 応用設定例を参照してください。

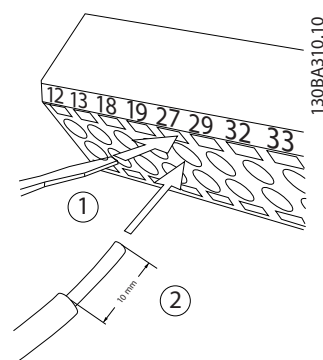


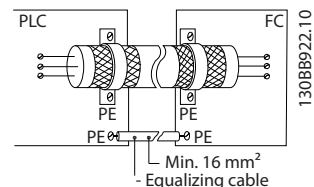
図 2.13 コントロール配線の接続

2.4.5.4 シールド・コントロール・ケーブルの使用

正しいシールド

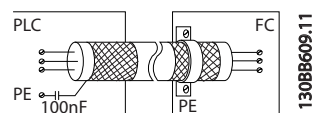
多くの場合において推奨される方法は、コントロールおよびシリアル通信ケーブルを両端でシールド・クランプにより固定し、可能な限り高い周波数ケーブルの接触を確保することです。

周波数変換器と PLC の間の接地電位が異なる場合には、システム全体を妨害する電気雑音が発生します。コントロール・ケーブルに隣接して等価ケーブルを設置すれば、この問題は解決できます。最小ケーブル断面積: 16 mm²



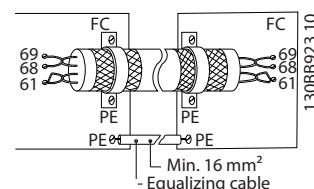
50/60 Hz 接地ループ

使用するコントロール・ケーブルが非常に長いと、接地ループが発生します。シールドの一端を 100nF のキャパシタを介して接地して、接地ループの問題を解決してください（ただし、リード線は短くしてください）。

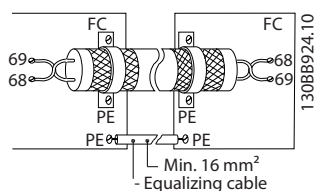


シリアル通信上の EMC ノイズを回避します

この端子は、内部の RC リンクを介して接地されています。導体間の干渉を低減するには、ツイストペア・ケーブルを使用してください。推奨される方法は、下記のとおりです。



また、端末 61 への接続は省略できます。



2.4.5.5 コントロール端子の機能

周波数変換器の機能は、コントロール入力信号の指示により動作します。

- 各端子は、機能のためにプログラムする必要があり、端子に関連付けられたパラメーターによってサポートされます。端子とそのパラメーターについては、表 2.3 をご覧ください。
- コントロール端子が、正しい機能を実現するためにプログラムされていることを確認することは重要です。パラメーターのアクセス詳細については 4 ユーザー・インターフェイスを、プログラムの詳細については 5 周波数変換 プログラミングについてを参照してください。
- デフォルトの端子プログラミングは、一般的な動作モードで周波数変換器がその機能を動作させることを意図しています。

2.4.5.6 ジャンパー端子 12 と 27

工場出荷時の programming 値を使用する際、周波数変換器の端子 12 (または 13) と端子 27 の間にジャンパー線を必要とする場合があります。

- デジタル入力端子 27 は、24VDC 外部インターロック・コマンドを受信できるよう設計されています。多くのアプリケーションでは、ユーザーは外部インターロック機器と端子 27 を配線します。
- インターロック・デバイスが使用されていない場合、コントロール端子 12 (推奨) または 13 と端子 27 にジャンパー線を接続します。これにより、端子 27 に内部 24V 信号が供給されます。
- 信号が存在しない場合、ユニットは動作しません。
- LCP の下部にある状態行に自動遠隔フリーラン、ユニットが動作可能状態になっていますが、端子 27 には入力信号がありません。
- 工場で設置されたオプション機器として端子 27 に配線されている場合、配線ははずさないで下さい。

2.4.5.7 端子 53 と 54 スイッチ

- アナログ入力端子 53 と 54 は、電圧 (-10 ~ 10 V) または 電流 (0/4-20 mA) 入力信号のどちらかを選択できます。
- スイッチ位置を変更する前に周波数変換器の電源を抜いてください。
- スイッチ A53 および A54 を設定して、信号タイプを選択します。U は電圧を選択し、I は電流を選択します。
- LCP をはずすと、スイッチにアクセスできます (図 2.14 参照)。ユニットに利用できるいくつかのオプションカードでは、これらのスイッチをカバーしており、スイッチ設定変更の場合は外す必要があります。オプションカードを外す前に、電力を必ず切ってください。
- 端末 53 デフォルトは 16-61 端末 53 スイッチ設定で設定された開ループにおける速度指令信号に関するものです。
- 端末 54 デフォルトは 16-63 端末 54 スイッチ設定で設定された閉ループにおけるフィードバック信号に関するものです。

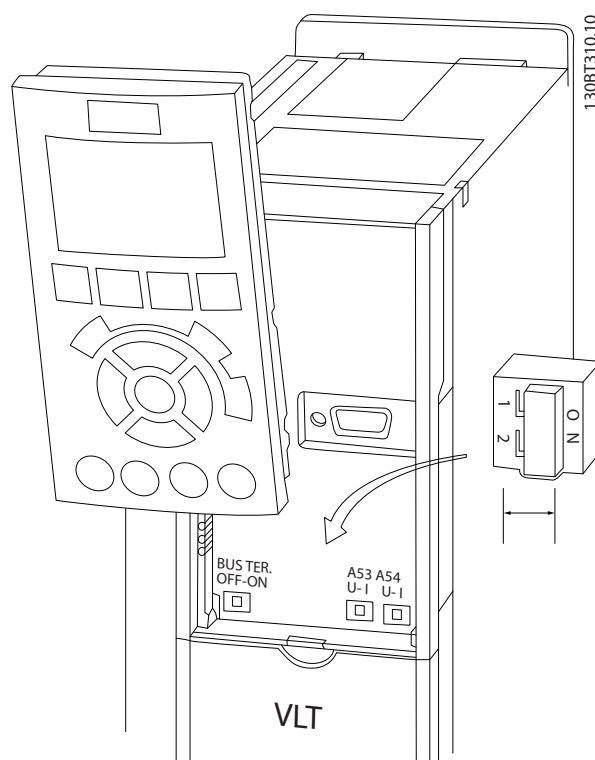


図 2.14 端子 53 と 54 スイッチおよびバス端末スイッチの位置

2.4.5.8 端末 37

端子 37 安全停止機能

FC 302 および FC 301 はコントロール端末 37 を通じてオプション安全停止機能が利用できます。安全停止は、

周波数変換器の出力ステージの電力半導体のコントロール電圧を無効化させ、一方で、モーター回転に必要な電圧の生成を阻止します。安全停止 (T37) が起動されると、周波数変換器は警報を発生し、ユニットをトリップさせ、モーターを停止させるためフリーランします。手動リスタートが必要です。安全停止機能は、緊急停止の状況で周波数変換器の停止に使用できます。通常の動作モードでは、安全停止が必要でない場合、周波数変換器の通常停止機能を代わりに使用します。自動再スタートが使用されている場合、ISO 12100-2 の第 5.3.2.5 項に従った要件を満たす必要があります。

責任条件

安全停止機能の設置および動作を行う作業員を確保することはユーザーの責任となります：

- 健康および安全/事故の防止に関する安全規則を読み、理解してください
- この説明およびデザインガイドに詳細が記載されている一般のおよび安全ガイドラインを理解してください。
- 特定のアプリケーションに適用される一般のおよび安全基準について正しい知識を持ってください。

ユーザーは次のように定義されます：インテグレーター、オペレーター、サービススタッフ、メンテナンススタッフ。

基準

端末 37 上の安全停止を使用する場合、ユーザーは関連する法、規則、ガイドラインを含むすべての安全規則を遵守しなければいけません。オプションの暗転停止機能は以下の基準を満たします。

- EN 954-1: 1996 カテゴリー 3
- IEC 60204-1: 2005 カテゴリー 0 - 制御されていない停止
- IEC 61508: 1998 SIL2
- IEC 61800-5-2: 2007 - 安全トルクオフ (STO) 機能
- IEC 62061: 2005 SIL CL2
- ISO 13849-1: 2006 カテゴリー 3 PL d
- ISO 14118: 2000 (EN 1037) - 予期しないスタートアップの防止

取扱い説明書の記載内容と指示だけでは、安全停止機能を正しく安全に使用するには不十分です。デザインガイドの関連情報および指示に従ってください。

予防措置

- 安全技術システムは、資格と経験のある作業員のみが設置および作業することができます。
- ユニットは IP54 キャビネットまたは同様の環境において設置しなければいけません。
- 端末 37 と外部安全デバイスの間のケーブルは、ISO 13849-2 表 D.4 に従って短絡保護される必要があります。

- 外部の力 (例えば吊り下げられた積荷) がモーター軸に影響を与える場合、追加措置 (例えば安全保持ブレーキ) が危険防止のために必要です

安全停止の設置と設定



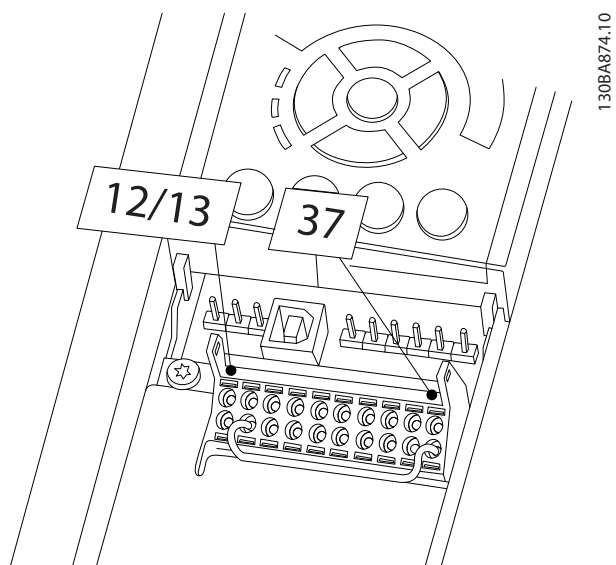
安全停止機能

安全停止機能は主電源電圧を周波数変換器 または付属回路から絶縁しません。周波数変換器またはモーターの電子部品について作業をする場合は、主電源電圧を絶縁し、マニュアルの安全性の項目で指定された時間だけ待機をしてください。ユニットから主電源供給を絶縁せず、指定された時間だけ待機をしなかった場合、死亡または重大な傷害につながる可能性があります。

- 安全トルクオフ機能を使用して周波数変換器を停止させないでください。動作する周波数変換器がこの機能を使用して停止した場合、ユニットはトリップしてフリーランにより停止します。これが可能でない場合、例えば危険を発生させる場合、周波数変換器および機械は、この機能を使用する前に適切な停止モードを使用して停止させる必要があります。アプリケーションによっては、機械的ブレーキが必要になります。
- 複数の IGBT 電力半導体の不具合の場合における、同期的および永久磁石モーター周波数変換器について：安全トルクオフ機能の起動にもかかわらず、周波数変換器システムはアライメント・トルクを発生させ、180/p 度でモーターシャフトを回転させます。p はポールペア数を意味します。
- この機能は、周波数変換器システム上または機械が影響を受ける領域で機械的作業を実施する場合に適しています。電気的安全は提供しません。この機能は、周波数変換器のスタートおよび/または停止のコントロールとして使用できません。

周波数変換器の安全設置を実施するためには、次の要件を満たす必要があります。

- コントロール端子 37 と 12 または 13 の間のジャンパー線を除去します。短絡を回避するためには、ジャンパーを切断/断線するのでは不十分です。(図 2.15 のジャンパーを参照してください。)
- 外部安全監視リレーを、安全機能無しで (安全デバイスに関する指示を遵守する必要があります) 端末 37 および端末 12 または 13 (24V DC) に接続します。安全監視リレーは、安全カテゴリ 3 (EN 954-1) / PL “d” (ISO 13849-1) を遵守する必要があります。



2

図 2.15 端末 12/13 (24 V) および 37 間のジャンパー

2

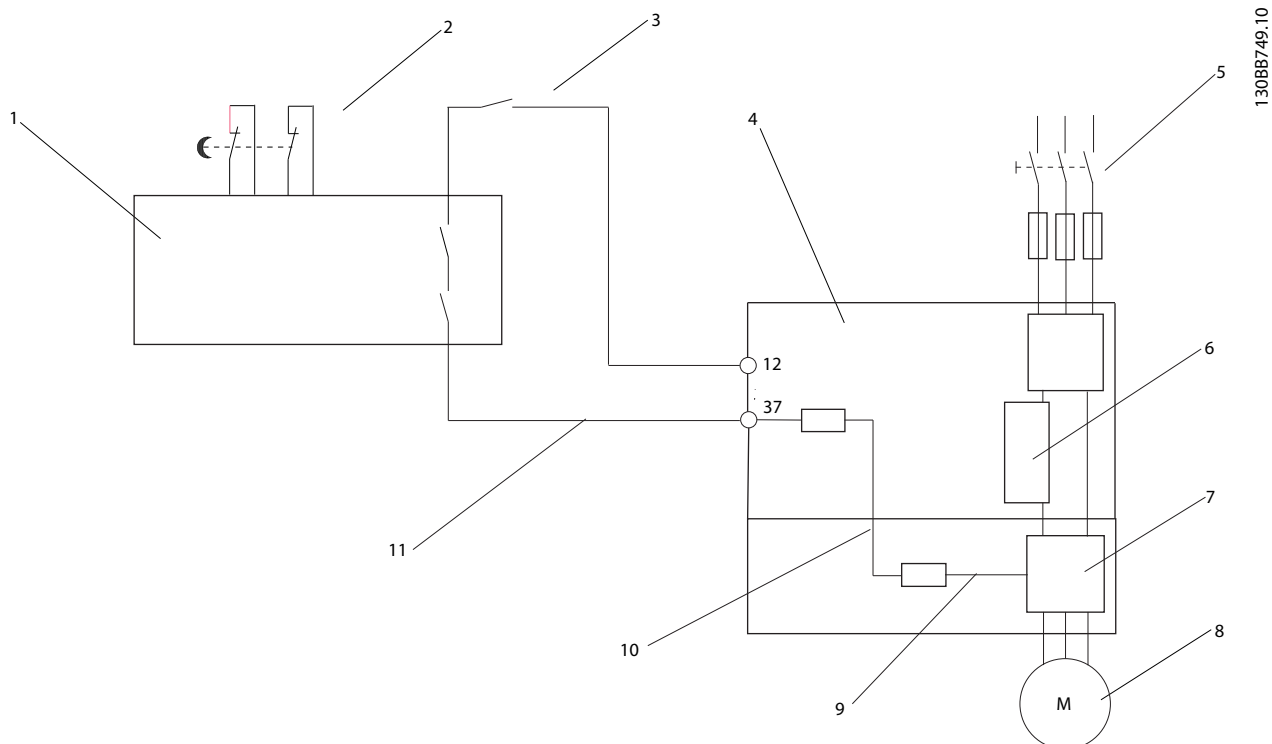


図 2.16 据付で安全カテゴリ 3 (EN 954-1) / PL “d” (ISO 13849-1) 付き停止カテゴリ 0 (EN 60204-1) を実現。

1	安全デバイス Cat. 3 (回路妨害デバイス、場合によってリリース入力あり)	7	インバーター
2	ドアコンタクト	8	モーター
3	接触器 (フリーラン)	9	5V DC
4	周波数変換器	10	安全チャンネル
5	主電源	11	短絡保護ケーブル (設置キャビネット内に無い場合)
6	コントロール・ボード		

安全停止の設定試験

設置後、最初の動作前に、安全停止を使用する設置の設定試験を行ってください。また、設置を変更するたびにこの試験を実行してください。

2.4.5.9 機械的ブレーキ・コントロール

巻き上げ/下げアプリケーションでは、電子機械的ブレーキをコントロールする必要があります。

- リレー出力、またはデジタル出力(端末 27 または 29) を使用してブレーキをコントロールしてください。
- 負荷が大き過ぎるなどの理由で、周波数変換器がモーターをサポートできない間、出力を閉じておいてください(電圧なし)。
- 電子機械的ブレーキを使用する用途では、パラメーター 5-4* に機械的ブレーキ・コントロール [32] を選択してください。
- モーター電流が 2-20 ブレーキ電流の解放にあらかじめ設定された値を超えるとブレーキが解除されます。
- 周波数変換器がストップ・コマンドを実行している場合にのみ、出力周波数が 2-21 ブレーキ速度の有効化 [RPM] または 2-22 ブレーキ作動速度 [Hz] に設定された周波数よりも低くなるとブレーキがかかります。

周波数変換器が警報モードか過電圧の状態にある場合には、機械的ブレーキが直ちに作動します。

垂直移動の場合、重要なのは全動作中は、負荷は完全安全モードで保持、停止および制御(昇降)する必要があります。周波数変換器は安全装置ではないため、関連する国内クレーン/リフト規制にしたがって、緊急時またはシステムの誤作動時に負荷を停止できるように、使用する安全装置(例. 速度スイッチ、緊急ブレーキ等)のタイプおよび数量を決定する必要があります。

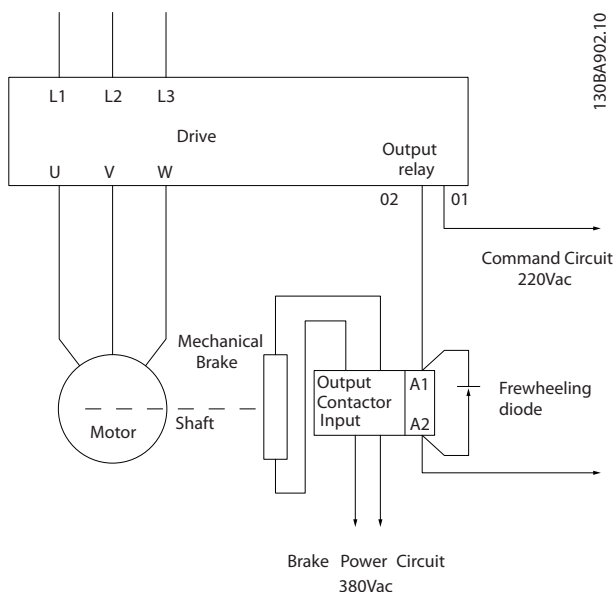


図 2.17 機械的ブレーキを周波数変換器に接続する

2.4.6 シリアル通信

RS-485 シリアル通信の配線を端子(+68 と (-)69 に接続します。

- シールドされたシリアル通信ケーブルを推奨します。
- 正しい接地については 2.4.2 アース(接地)条件を参照してください。

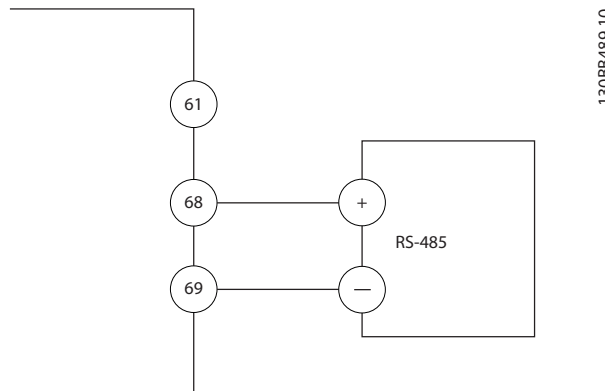


図 2.18 シリアル通信 配線図

基本的なシリアル通信については、以下を選択します。

1. 8-30 プロトコールのプロトコル形式。
 2. 8-31 アドレスの周波数変換器アドレス。
 3. 8-32 ボーレートのボーレート。
- 周波数変換器は、二つの通信プロトコルをサポートしています。モーターのメーカーの配線条件に従ってください。
Danfoss FC
Modbus RTU
 - 諸機能は、プロトコルソフトウェアと RS-485 接続、あるいは、パラメーター・グループ 8-** 通信とオプションを使用してプログラムできます。
 - 特定の通信プロトコルを選択することにより、様々なデフォルト・パラメーターを変更して、付加的なプロトコル別のパラメーターを設定すると共に、そのプロトコルの仕様に合わせることができます。
 - 付加的な通信プロトコルをサポートするために、周波数変換器へインストールできるオプションカードが用意されています。設置と動作説明については、オプションカードのドキュメントをご覧ください。

3 スタートアップ および 機能検査

3.1 事前スタート

3.1.1 安全検査



高電圧!

入出力の接続が正しく行われない場合、端子類に高電圧が加わる可能性があります。複数のモーターに対する複数の電力リード線が、誤った状態で同じ導管を通る場合、主電源入力から切り離されている時でも、漏洩電流が周波数変換器内のキャパシターに荷電される可能性があります。最初の起動時、電力部品に関する思い込みは持たないようにしてください。事前スタートの手順に従ってください。事前スタートの手順に従わない場合、怪我や機器の損傷を招くことがあります。

1. ユニットへの入力電力はオフにして、操作できないようロックアウトしてください。周波数変換器が、入力電力を遮断するための周波数変換器切断スイッチをオフにされていても安心しないでください。
2. 入力端子 L1 (91)、L2 (92)、および L3 (93) にて、相間、あるいは相と接地間に電圧がかかっていないことを検証します。
3. 出力端子 96 (U) 97 (V)、および 98 (W) にて、相間、あるいは相と接地間に電圧がかかっていないことを検証します。
4. U-V (96-97)、V-W (97-98)、W-U (98-96) の ohm 値を測定して、モーターの継続性を確認します。
5. モーターと同様、周波数変換器の接地 が正しく行われているかチェックします。
6. 周波数変換器の端子の接続が緩んでないか検査します。
7. 以下のモーター用名板のデータを記録します。電力、電圧、周波数、全負荷電流、および公称速度など。これらは、後でモーター用名板のデータをプログラムするのに必要となります。
8. 供給電圧が 周波数変換器 の電圧およびモーターと適合していることを確認します。

3.1.2 スタートアップ・チェックリスト

注意

ユニットへ電力を供給する前に、表 3.1 に記載されているように、設置全体を検査します。完了したときには、これらの項目をチェックしてください。

検査項目	詳細	<input checked="" type="checkbox"/>
補助機器	<ul style="list-style-type: none"> 周波数変換器の入力電力側やモーターの出力側に接続されている可能性のある、補助機器、切断装置、入力フューズ/回路ブレーカーなどを探します。動作可能な状態かどうかチェックし、あらゆる面でフル・スピードの動作ができるような状態を確保します。 使用されているセンサーの機能と設置状態をチェックし、周波数変換器へフィードバックします。 モーターに力率補正キャップがあれば、それはずします。 	
ケーブルルーティング（配線）	<ul style="list-style-type: none"> 高周波ノイズから隔離するために、入力電力、モーター配線、およびコントロール配線が分かれていること、あるいは、三つの金属導管に各々が通っていることを確認します。 	
コントロール配線	<ul style="list-style-type: none"> 破損や損傷のあるワイヤや不適切な接続をチェックします。 コントロール配線が電力とモーター配線から絶縁され、ノイズの干渉を受けていないか確認します。 必要に応じて、信号の電圧源をチェックします。 シールド・ケーブルやツイストペア・ケーブルの使用を推奨します。シールドが正しく終端されていることを確認します。 	
冷却用空きスペース	<ul style="list-style-type: none"> 上部と株の空きスペースを十分に確保し、適切な冷却空気の流れを維持します。 	
EMC 対策	<ul style="list-style-type: none"> 電磁環境適合性に合った、適切な設置がなされているかチェックします。 	
環境的な考慮	<ul style="list-style-type: none"> 動作時の最大周囲 温度については、機器のラベルを参照してください。 湿度は 5-95%で、結露なきこと。 	
フューズと遮断器	<ul style="list-style-type: none"> 適切なフューズと遮断器であることをチェックします。 全フューズはしっかりと挿入されて動作状態にあり、全遮断器がオープン位置にあることをチェックします。 	
接地	<ul style="list-style-type: none"> ユニットは、接地ワイヤを、そのシャーシから建物のアースへ接続する必要があります。 接地の接続が、しっかりと固定されて、酸化されていないことをチェックします。 導管への接地や金属表面へ取り付けられたバックパネルは、適切なアースではありません。 	
入力および出力電力配線	<ul style="list-style-type: none"> 接続が緩んでないかチェックします。 モーターと主電源が別々の導管またはシールドされたケーブルで接続されていることを確認します。 	
パネル内部	<ul style="list-style-type: none"> ユニット内部に、汚れ、金属片、湿気、および腐食がないか検査します。 	
スイッチ類	<ul style="list-style-type: none"> スイッチや切断設定が全て、正常な位置にあることを確保します。 	
振動	<ul style="list-style-type: none"> ユニットがしっかりと取り付けられていることを確認し、必要に応じて耐衝撃マウントを使用します。 ユニットにとって問題となる異常な振動がないか探します。 	

表 3.1 スタートアップ・チェックリスト

3.2 周波数変換器への電源供給

▲警告

高電圧!

交流主電源に接続されている限り、周波数変換器は高電圧を含んでいます。設置、スタートアップ、メンテナンスは、資格のある技術者が実施するようにしてください。そうでない人間が、設置、スタートアップ、メンテナンスを誤って行った場合、死亡事故や重大な傷害事故を招くことがあります。

▲警告

予期しないスタート!

周波数変換器が交流主電源に接続されている場合、モーターは思いがけなくスタートすることがあります。周波数変換器、モーター、あるいは運転機器は、動作できる状態になっている必要があります。周波数変換器が交流主電源に接続されているにもかかわらず動作準備ができていないことから生じる故障は、死亡や深刻な傷害、設備や所有物の損害を招くことがあります。

1. 入力電圧が3%以内でバランスを保っていることを確認します。そうでない場合、入力電圧の不均衡を補正してから作業を進めてください。電圧補正以降の手順を繰り返します。
2. オプション機器の配線がある場合、それが設置アプリケーションに合っていることを確保します。
3. 動作機器全てが、OFF位置であることを確保します。パネルのドアを閉め、またはカバーを取り付けます。
4. ユニットに電力を供給します。この時、絶対に周波数変換器をスタートしないでください。ユニットのスイッチがオフになっている場合、ON位置にして周波数変換器に電力を供給します。

注記

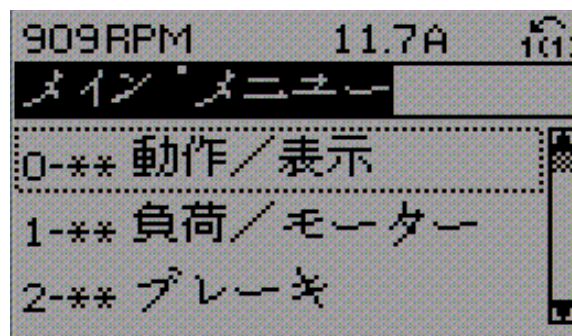
LCPの下部にある状態行自動遠隔フリーラン、ユニットが動作可能状態になっていますが、端子27には入力信号がありません。詳細は、図 2.15を参照してください。

3.3 基本動作プログラミング

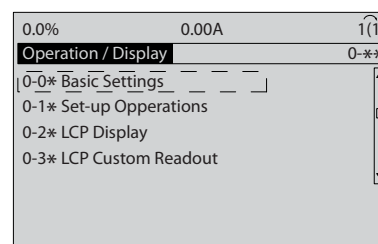
周波数変換器は、最大の性能を発揮するために、動作を開始するにあたって基本的な動作プログラミングが必要です。基本的な動作プログラミングでは、動作しているモーターに関するモーターネームプレート・データ、あるいは最小および最大のモーター速度などの入力が必要です。以下の手順に従ってデータを入力します。推奨のパラメーター設定はスタートアップとチェックアウトを目的としたものです。アプリケーション設定は異なる場合があります。LCPによるデータ入力の詳細説明は、4ユーザー・インターフェイスをご覧ください。

データは、電源をONにしてから入力する必要がありますが、周波数変換器が作動する前に行ってください。

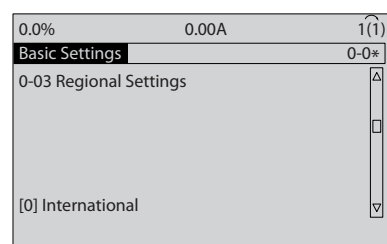
1. LCPの[Main Menu]を二回押します。
2. ナビゲーション・キーを使用して、0-0** Operation/Displayのパラメーター・グループへスクロールし、[OK]を押します。



3. ナビゲーション・キーを使用して、0-0* Basic Settingsのパラメーター・グループへスクロールし、[OK]を押します。



4. ナビゲーション・キーを使用して、0-03 地域設定へスクロールし、[OK]を押します。



5. ナビゲーション・キーを使用して、最適な International または North America を選択し、[OK]を押します。（これは、基本パラメーターのいくつかのデフォルト設定を変更します。完全なリストについては 5.4 国際/北米デフォルト・パラメーター設定をご覧ください。）
6. LCPの[Quick Menu]を押します。

7. ナビゲーション・キーを使用して、*Q2 Quick Setup* (クイック設定) のパラメーター・グループへスクロールし、[OK]を押します。



8. 言語を選択して、[OK]を押します。パラメーター 1-20/1-21 から 1-25 までのモーターデータを入力します。この情報は、モーター名板に表記されています。

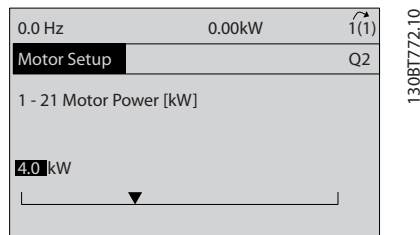
1-20 モーター電力[kW]または 1-21 モーター出力 [HP]

1-22 モーター電圧

1-23 モーター周波数

1-24 モーター電流

1-25 モーター公称速度



9. ジャンパー線がコントロール端子 12 と 27 の間に必要です。この場合、5-12 端末 27 デジタル入力はデフォルト設定として、そのままにします。そうでない場合、*No Operation* (操作なし) を選択します。オプションの Danfoss パイパスを装備した周波数変換器の場合、ジャンパー線は不要です。
10. 3-02 最低速度指令信号
11. 3-03 最大速度指令信号
12. 3-41 ランプ 1 立ち上がり時間
13. 3-42 ランプ 1 立ち下がり時間
14. 3-13 速度指令信号サイト. 手動 / 自動* のローカルリモートにリンクされています。

これにより、迅速なセットアップ手順が実現できます。[Status]を押して、動作画面に戻します。

3.4 自動モーター適合

自動モーター適合 (AMA) は、周波数変換器とモーターにおける適合性の最適化を図るために、モーターの電気的特性を測定するテスト手順です。

- 周波数変換器は、出力モーター電流を安定させるために、モーターの数学的モデルを構築します。この手順では、電力の入力相バランスも検査します。パラメーター 1-20 から 1-25 で入力されたデータとモーター特性が比較されます。
- これによりモーターが作動したり、モーターに悪影響を及ぼしたりすることはありません。
- モーターによっては、テストを完全なバージョンで実施できない場合があります。この場合、Enable reduced AMA (簡略 AMA を有効化) を選択します。
- 出力フィルターがモーターに接続されている場合、Enable reduced AMA (簡略 AMA を有効化) を選択します。
- 警告や警報が発生した場合、8 警告および警報をご覧ください。
- 最良の結果を得るため、この手順は冷たいモーターで実施します。

AMA の実施方法

- [Main Menu] を押してパラメーターへアクセスします。
- パラメーター・グループ 1-** Load and Motor (負荷とモーター) へスクロールします。
- [OK] を押します。
- パラメーター・グループ 1-2* モーターデータにスクロールします。
- [OK] を押します。
- スクロール先 1-29 自動モーター適合 (AMA)。
- [OK] を押します。
- Enable complete AMA (完全 AMA を有効化) を選択します。
- [OK] を押します。
- 画面上の指示に従います。
- テストが自動的に実施され、終了するとその指示があります。

3.5 モーター回転チェック

周波数変換器を作動する前に、モーターの回転をチェックしてください。

1. [Hands on]を押します。
2. 正の速度指令信号の設定には、[▶]を押してください。
3. 表示された速度がプラスになっていることを確認します。

1-06 Clockwise Direction が [0]* 名目(デフォルトは右回り)に設定されている場合:

- 4a. モーター・シャフトを時計回りに回転していることを確認します。
- 5a. LCP の方向矢印が右回りになっていることを確認します。

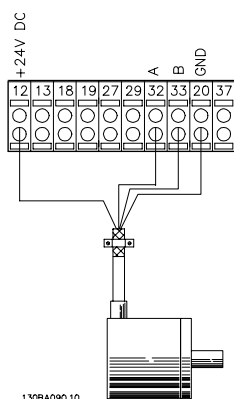
1-06 Clockwise Direction を [1]逆(左回り)に設定している場合:

- 4b. モーター・シャフトの回転が反時計回りとなっていることを確認します。
- 5b. LCP の方向矢印が左回りになっていることを確認します。

3.6 エンコーダーの回転を確認します。

エンコーダーフィードバックを使用している場合のみ、エンコーダー回転を確認します。デフォルトの開ループ制御でエンコーダー回転を確認します。

1. エンコーダー接続が配線図どおりになっていることを確認します。



注記

エンコーダー・オプションを別個に注文する場合は、オプション・マニュアルを参照してください。

2. 7-00 速度 PID フィードバック・ソース、に速度 PID フィードバック・ソースを入力します。
3. [Hand ON]を押します。

4. プラス速度基準([0]* 通常で 1-06 Clockwise Direction)については、[▶]を押します。
5. フィードバックがプラスになっていることを 16-57 Feedback [RPM] で確認します。

注記

フィードバックがマイナスの場合は、エンコーダー接続が間違っています!

3.7 ローカル・コントロール・テスト

▲注意

モーターのスタート!

モーター、システム、および付属機器が全て、スタートできる状態になっていることを確認します。どのような動作状態でも、安全な動作を行うことがユーザーの責任です。モーター、システム、および付属機器などがスタート状態になっていないにもかかわらず動作を開始した場合、怪我や機器の損傷を招くことがあります。

注記

LCP の ハンドオンキーは、周波数変換器に対する ローカル・スタートコマンドです。OFF キーは停止機能を提供します。

ローカル・モードでの動作時、LCP の矢印により、周波数変換器の速度出力を増減できます。左および右矢印キーは、数値ディスプレイ内のディスプレイ・カーソルを移動します。

1. [Hand ON]を押します。
2. [▲]を押すことにより、周波数変換器をフル・スピードに加速できます。カーソルを小数点の左へ移動することで、入力変更をより迅速に行えます。
3. 加速の問題は、どんなものでも記録してください。
4. [OFF]を押します。
5. 減速の問題は、どんなものでも記録してください。

加速の問題が生じた場合

- 警告や警報が発生した場合、8 警告および警報をご覧ください。
- モーター データが正しく入力されていることをチェックします。
- ランプ・アップ・タイムを 3-41 ランプ 1 立ち上がり時間で増加します。
- 4-18 電流制限で 電流制限
- 4-16 トルク制限モーター・モードでトルク制限を増加します。

減速の問題が発生した場合

- 警告や警報が発生した場合、8 警告および警報をご覧ください。
- モーター データが正しく入力されていることをチェックします。
- 3-42 ランプ 1 立ち下がり時間でランプダウン時間を増加します。
- 2-17 過電圧コントロールで過電圧コントロールを有効にします。

警報（トリップ）が出た後の周波数変換器のリセットについては 8.4 警報と警告の定義 f を参照してください。

注記

本章の 3.1 事前スタートから 3.7 ローカル・コントロール・テストまでには、周波数変換器への電力供給方法、基本プログラミング、セットアップ、および機能テストなどが記載されています。

3.8 システム・スタートアップ

この章における手順では、ユーザーが配線およびアプリケーションのプログラミングを完了することが必要です。6 応用設定例にはが参考になります。アプリケーション set-up は 1.2 補助的リソースに記載されています。ユーザーによるアプリケーション・セットアップが完了したら、以下の手順を推奨します。

▲注意

モーターのスタート!

モーター、システム、および付属機器が全て、スタートできる状態になっていることを確認します。どのような動作状態でも、安全な動作を行うことがユーザーの責任です。モーター、システム、および付属機器などがスタート状態になっていないにもかかわらず動作を開始した場合、怪我や機器の損傷を招くことがあります。

1. [Auto On]を押します。
2. 外部のコントロール機能が、周波数変換器へ正しく配線されていて、プログラミングが全て完了していることを確認します。
3. 外部の動作開始コマンドを適用します。
4. 速度範囲全体にわたって、速度指令値を調整します。
5. 外部の動作開始コマンドを除きます。
6. どんな問題でも記録してください。

警告や警報が発生した場合、8 警告および警報をご覧ください。

4 ユーザー・インターフェイス

4.1 ローカル・コントロール・パネル

ローカル・コントロール・パネル (LCP) は、ユニットの前面にディスプレイとキーパッドが一体化されています。LCP は、周波数変換器のユーザー・インターフェイスとして使用します。

LCP は、いくつかのユーザー機能を装備しています。

- ローカル・コントロールでのスタート、ストップ、および速度コントロール
- 動作データ、状態、警告、および注意などの表示
- 周波数変換器機能のプログラミング
- オート・リセットが動作しない場合、故障した後に周波数変換器を手動でリセット

オプションで数値 LCP (NLCP) も利用できます。NLCP は、LCP と同様の方法で操作できます。NLCP 使用の詳細については、プログラミング・ガイドをご覧ください。

注記

表示のコントラストを調整するには、[STATUS] (状態) キーおよび上下キーを押します。

4.1.1 LCP レイアウト

LCP は、機能上、四つのグループに分かれています(図 4.1 をご覧ください)。

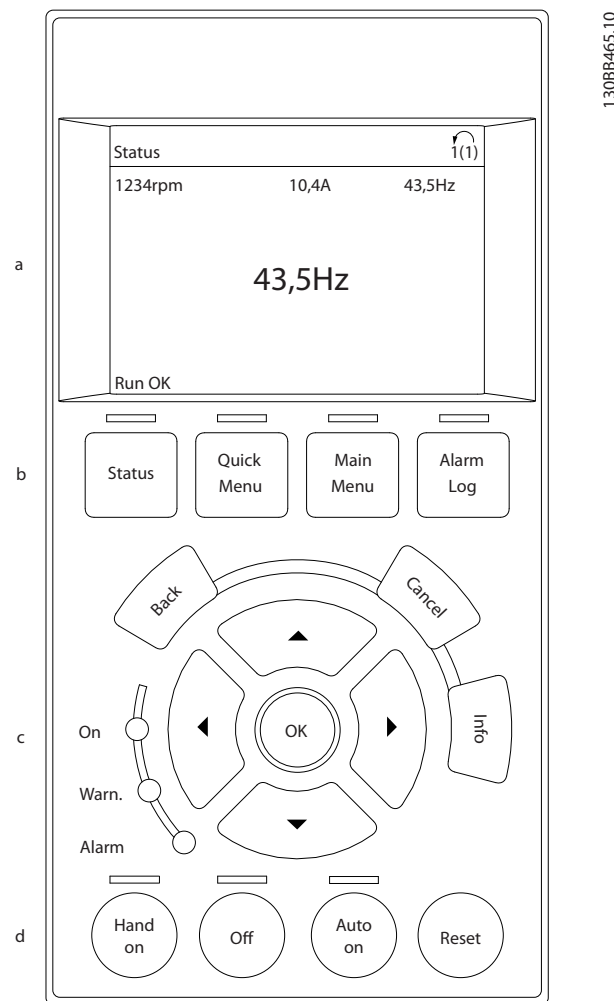


図 4.1 LCP

- ディスプレイ・エリア
- ディスプレイを変更して、状況、オプション、プログラミング、あるいはエラー・メッセージ履歴などを表示するためのディスプレイ・メニュー・キー。
- 機能プログラミング、ディスプレイ・カーソルの移動、あるいはローカル操作時の速度・コントロールなどを行うためのナビゲーション・キー。状況表示ランプも含まれます。
- 操作モード・キーとリセット。

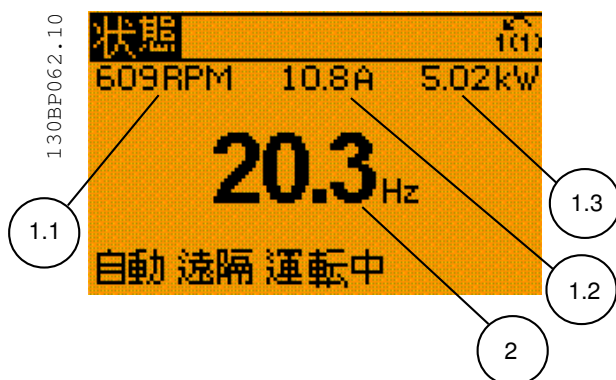
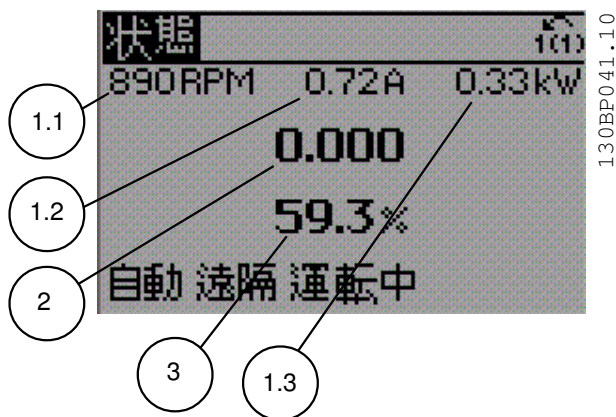
4.1.2 LCP 表示値の設定

ディスプレイ・エリアは、周波数変換器に主電源電圧、直流バス端子、あるいは外部の 24V 電源電圧が供給されると有効になります。

LCP に表示される情報は、ユーザーの用途に応じてカスタマイズ可能です。

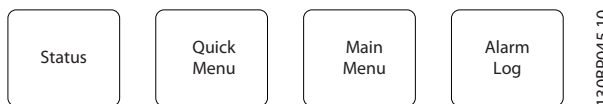
- ディスプレイに表示される読み出し値には、パラメーターが関連付けられています。
- オプションは、メインメニュー 0-2*で選択します。
- ディスプレイの下部に表示される周波数変換器の状態は、自動的に表示され、選択はできません。詳細は、7 状態メッセージを参照してください

表示	パラメーター番号	デフォルト設定
1.1	0-20	速度 [RPM]
1.2	0-21	モーター電流
1.3	0-22	電力 [KW]
2	0-23	周波数
3	0-24	基準 [%]



4.1.3 ディスプレイ・メニュー・キー

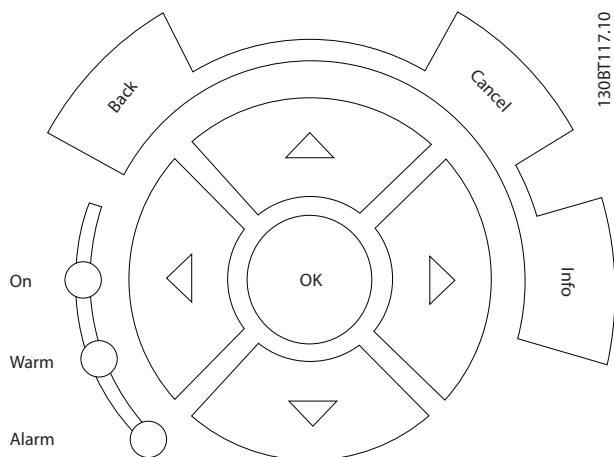
メニュー・キーは、メニュー・アクセス・パラメーターの設定、通常操作時の状況ディスプレイ・モードの変更、あるいは故障ログ・データの表示などに使用します。



キー	機能
状態	<p>押すと操作に関する情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動モードでは、押し続けると読み出し画面が切り替わります。 • 繰り返し押しして各状態表示をスクロールできます。 • [Status]を押しながら、[▲] または [▼]を押すとディスプレイの輝度を調整できます。 • ディスプレイの右上隅の記号は、モーターの回転方向と、その設定が有効であることを示します。これは、プログラムできません。
クイック・メニュー	<p>初期設定指示と多くの詳細なアプリケーション指示について、プログラムするためのパラメーターにアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 押すことにより、基本周波数コントローラ設定をプログラムするための連続指示に関する Q2 クイック設定にアクセスします。 • 機能セットアップ用に表示されるパラメーターに順次従います。
メイン・メニュー	<p>すべてのプログラミング・パラメーターにアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 二回押すと、トップレベルのインデックスへアクセスできます。 • 一回押すと、最後にアクセスした場所へ戻ります。 • 押し続けると、パラメーターへ直接アクセスできるパラメーター番号を入力できます。
警報ログ	<p>現在の警告のリスト、最後の 10 個の警報、およびメンテナンス・ログを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 警報モードへ入る前の周波数変換器の詳細については、ナビゲーション・キーを使用して警報番号を選択し、[OK]を押します。

4.1.4 ナビゲーション・キー

ナビゲーション・キーは、機能のプログラミングやディスプレイ・カーソルの移動に使用します。ナビゲーション・キーは、ローカル（手動）操作での速度コントロールにも使用できます。三つの周波数変換器状態表示ランプもこの三つのエリアにあります。



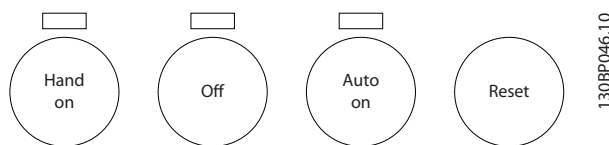
130BT117.10

キー	機能
Back	メニュー構成の 1 つ前のステップまたはリストに戻ります。
Cancel	表示が変更されない限り、最後に実行した変更やコマンドが取り消されます。
Info	押すと、表示されている機能の意味を表示します。
ナビゲーション・キー	四つのナビゲーション矢印キーを押して、メニュー内の項目間を移動します。
OK	パラメーター・グループへアクセスしたり、選択を有効にしたりするために使用します。

ランプ	表示	機能
緑色	オン	ON ランプは、周波数変換器が主電源電圧、直流バス端子、または外部 24 V 電源から電力が供給されるとアクティブになります。
黄色	WARN	警告の条件が満足されると、黄色の警告ランプが点灯し、表示エリアにテキストが表示されて問題を識別します。
赤色	ALARM	故障の状態により、赤色の警告ランプが点滅し、警告テキストが表示されます。

4.1.5 操作キー

操作キーは、コントロール・パネルの下部にあります。



130BP046.10

キー	機能
Hand On(手動オン)	押すと、ローカル・コントロールで周波数変換器をスタートします。 <ul style="list-style-type: none"> 周波数変換器の速度を制御するにはナビゲーション・キーを使用します。 コントロール入力やシリアル通信による外部停止信号は、ローカルの手動オンを重ね書きします。
Off	モーターを停止しますが、周波数変換器への電力は供給します。
Auto On	システムをリモート操作モードにします。 <ul style="list-style-type: none"> コントロール端子やシリアル通信による外部スタート・コマンドに対応します。 速度指令信号は外部ソースからのものです。
Reset	不具合がリセットされた後に、周波数変換器を手動でリセットします。

4.2 バックアップおよびパラメーター設定のコピー

プログラミング・データは、周波数変換器の内部に保持されます。

- データは、バックアップのため LCP メモリーにアップロードできます。
- LCP にデータが一旦保持されると、データは元の周波数変換器へダウンロードできます。
- または、LCP を他の周波数変換器に接続して、保持された設定をダウンロードすることにより、他の周波数変換器にダウンロードすることが可能です。（これにより、複数のユニットを同一設定で迅速にプログラムすることができます。）
- 工場出荷時設定にリストアするために周波数変換器を初期化しても、LCP メモリーに保存したデータは変更されません。



予期しないスタート!

周波数変換器が交流主電源に接続されている場合、モーターは思いがけなくスタートすることがあります。周波数変換器、モーター、あるいは運転機器は、動作できる状態になっている必要があります。周波数変換器が交流主電源に接続されているにもかかわらず動作準備ができていないことから生じる故障は、死亡や深刻な傷害、設備や所有物の損害を招くことがあります。

4.2.1 LCP へのデータアップロード

1. データのアップロードやダウンロードを行う前に、[OFF]を押してモーターを停止してください。
2. 0-50 LCP コピーへ進みます。
3. [OK] を押します。
4. LCP の ALL を選択します。
5. [OK] を押します。 プログレス・バーは、アップロードの状況を示します。
6. [Hand On] または [Auto On] を押して、通常動作に戻します。

4.2.2 LCP からデータをダウンロード

1. データのアップロードやダウンロードを行う前に、[OFF]を押してモーターを停止してください。
2. 0-50 LCP コピーへ進みます。
3. [OK] を押します。
4. LCP の ALL を選択します。
5. [OK] を押します。 プログレス・バーは、ダウンロードの状況を示します。
6. [Hand On] または [Auto On] を押して、通常動作に戻します。

4.3 デフォルト設定の回復

注意

初期化により、ユニットをデフォルト設定へ戻すことができます。プログラミング、モーターのデータ、ローカリゼーション、および監視記録の全ては、消去されます。LCPヘデータをアップロードすることにより、初期化前のバックアップができます。

周波数変換器のパラメーター設定をデフォルト設定に戻すには、周波数変換器を初期化します。初期化は、14-22 動作モードまたは手動で行えます。

- 14-22 動作モードを使用した初期化により、動作時間、シリアル通信選択、個別メニュー設定、不具合ログ、警報ログ、および、その他の監視機能などの周波数変換器データが変更されることはありません。
- 通常、14-22 動作モードの使用を推奨しています。
- 手動による初期化は、モーターに関する、プログラミング、ローカリゼーション、監視データを消去し、デフォルト設定に戻します。

4.3.1 推奨する初期化

1. [メインメニュー]を2回押すと、パラメータにアクセスします。
2. 14-22 動作モードにスクロールします。
3. [OK]を押します。
4. Initialisation (初期化)にスクロールします。
5. [OK]を押します。
6. ユニットの電源を切って、表示が消えるまで待ちます。
7. ユニットの電源を投入します。

スタートアップの間に、パラメーターがデフォルト設定に戻ります。この方法は、通常よりも少し時間がかかります。

8. アラーム 80 が表示されます。
9. [Reset]を押して動作モードに戻ります。

4.3.2 手動初期化

1. ユニットの電源を切って、表示が消えるまで待ちます。
2. [Status]、[Main Menu]、および[OK]を同時に押し続けながら、ユニットの電源を投入します。

スタートアップ時、パラメーターはデフォルト設定に戻ります。この方法は、通常よりも少し時間がかかります。

手動による初期化は、以下の周波数変換器情報をリセットしません。

- 15-00 動作時間
- 15-03 電源投入回数
- 15-04 過温度回数
- 15-05 過電圧回数

5 周波数変換 プログラミングについて

5.1 はじめに

周波数変換器は、そのアプリケーション機能を実現するために、パラメーターを使用してプログラムされます。パラメーターは、LCP上の[Quick Menu]または[Main Menu]のどちらかを押してアクセスできます。(LCPファンクション・キー使用の詳細については、4 ユーザー・インターフェイスをご覧ください。)パラメーターは、MCT 10 セットアップ・ソフトウェアを使用して、PCからアクセスすることも可能です(5.6.1 を使用したリモートプログラミングをご覧ください。)

[クイック・メニュー]は、スタートアップ(Q2-** クイック・セットアップ)の起動するために使用します。パラメーターによる入力データは、パラメーターで使用できるオプションを入力に従って変更できます。

メイン・メニューから、全パラメーターへアクセスでき、高度な周波数変換器アプリケーションを実現できます。

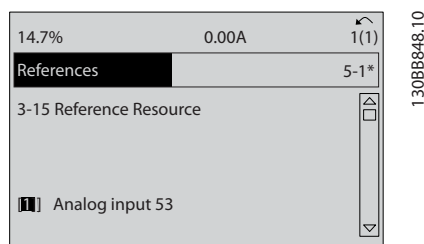
5.2 プログラミング例

ここでは、クイック・メニューを使用した周波数変換器のプログラミング例として、開ループの一般的なアプリケーションを紹介します。

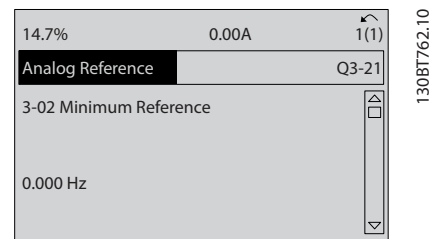
- この手順の中で、周波数変換器が入力端子 53 から 0-10 VDC アナログ コントロール信号を受けるようにプログラムされます。
- 周波数変換器は、これに対応するように、入力信号 (0-10VDC = 6-60Hz) へ比例した、6-60Hz 出力をモーターへ供給します。

[Quick Menu] を押し、ナビゲーション・キーを使用してタイトルへスクロールしたら以下のパラメーターを選択して、各動作の後に[OK]を押します。

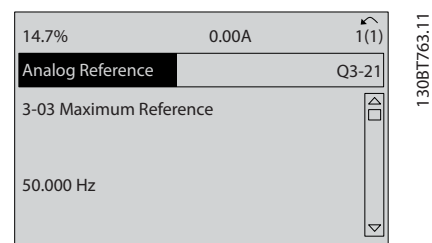
1. 3-15 速度指令信号リソース 1



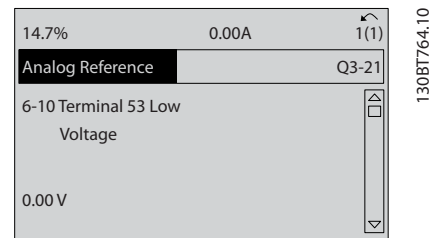
- 3-02 最低速度指令信号. 周波数変換器内部の最小速度指令信号を 0Hz に設定します。(これにより、周波数変換器の最小速度は 0Hz に設定されます。)



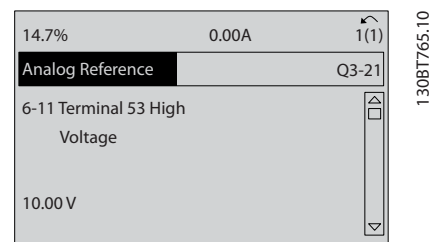
- 3-03 最大速度指令信号. 周波数変換器内部の最大速度指令信号を 60Hz に設定します。(これにより、周波数変換器の最大速度は 60Hz に設定されます。地域により 50/60Hz のいずれかとなります。)



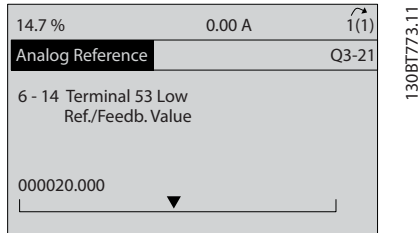
- 6-10 端末 53 低電圧. 端子 53 の最小 外部電圧 を 0V に設定します。(これにより、最小入力信号は 0 V に設定されます。)



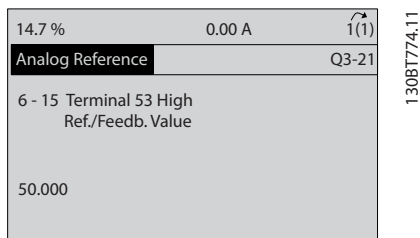
- 6-11 端末 53 高電圧. 端子 53 の最大外部電圧速度指令信号を 10 V に設定します。(これで、最大 入力信号が 10V に設定されます。)



6. 6-14 端末 53 低速信 / FB 値. 端子 53 の最小速度指令信号を 6Hz に設定します。(これは周波数変換器に対して、端子 53 (0V) で受ける最小電圧が 6Hz 出力に等しいことを指示します。)



7. 6-15 端末 53 高速信 / FB 値. 端子 53 の最大速度指令信号を 60Hz に設定します。(これは周波数変換器に対して、端子 53 (10V) で受ける最大電圧が 60Hz 出力に等しいことを指示します。)



0-10 V コントロール信号を供給する外部機器が周波数変換器の端子 53 に接続されることにより、システムは動作できる状態になります。最後の図で、ディスプレイの右側にあるスクロール・バーが最下部に位置している場合、設定手順が完了していることを意味しています。

図 5.1 は、この設定を実施するために使用される配線接続を示します。

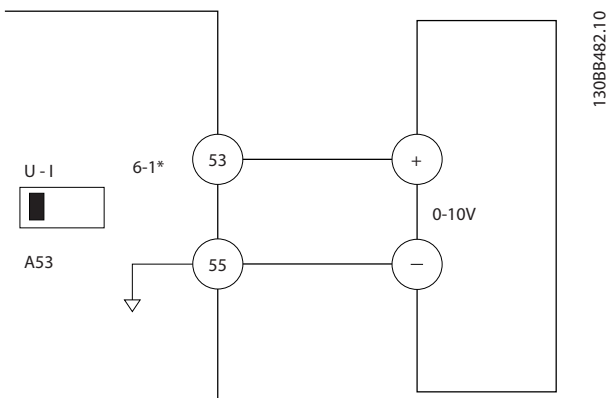


図 5.1 0-10V のコントロール信号を提供する外部デバイスの配線例 (左・周波数変換器、右・外部機器)

5.3 コントロール端末プログラム例

コントロール端子はプログラムできます。

- 各端子は、個別に実行するための機能を持っています。
- 端子に関連付けられたパラメーターにより機能を実施できます。
- 正しい機能周波数変換器を実現するために、コントロール端子に対して以下を実行しなければなりません。

正しい配線

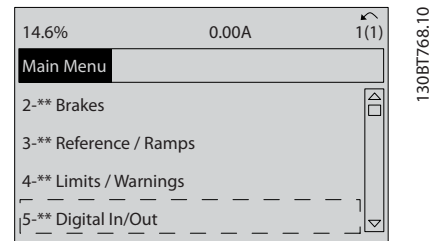
目的とする機能に合ったプログラミング

信号の受信

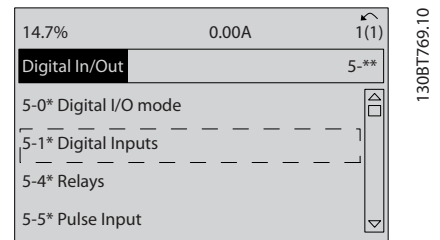
コントロール端子パラメーター番号とデフォルト設定については表 2.3 を参照してください。(デフォルト設定は、0-03 地域設定の選択を基に変更できます。)

下の例は、デフォルト設定を確認するための端子 18 へのアクセス方法を示します。

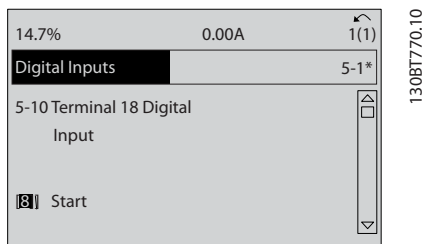
- [Main Menu] を二回押し、パラメーター・グループ 5-** Digital In/Out (デジタル入/出力) へスクロールして、[OK] を押します。



- パラメーター・グループ 5-1* デジタル入力へスクロールし、[OK] を押します。



- スクロール先 5-10 端末 18 デジタル入力。[OK]を押して、機能選択にアクセスします。スタートのデフォルト設定を示します。



5.4 国際/北米デフォルト・パラメーター設定

0-03 地域設定を [0] 国際 または [1] 北米に設定することにより、デフォルト設定のいくつかのパラメーターが変更されます。表 5.1 に影響を受けるパラメーターが記載されています

パラメーター	国際デフォルト・パラメーター値	北米デフォルト・パラメーター値
0-03 地域設定	国際	北米
1-20 モーター電力 [kW]	注記 1 を参照	注記 1 を参照
1-21 モーター出力 [HP]	注記 2 を参照	注記 2 を参照
1-22 モーター電圧	230V/400V/575V	208V/460V/575V
1-23 モーター周波数	50Hz	60Hz
3-03 最大速度指令信号	50Hz	60Hz
3-04 速度指令信号機能	合計	外部/プリセット
4-13 モーター速度上限 [RPM] 注記 3 および 5 を参照	1500RPM	1800RPM
4-14 モーター速度上限 [Hz] 注記 4 を参照	50Hz	60Hz
4-19 最高出力周波数	132Hz	120Hz
4-53 警告速度高	1500RPM	1800RPM
5-12 端末 27 デジタル入力	逆フリーラン	外部インターロック
5-40 機能リレー	動作なし	警報なし
6-15 端末 53 高速信 / FB 値	50	60
6-50 端末 42 出力	動作なし	速度 4-20mA

パラメーター	国際デフォルト・パラメーター値	北米デフォルト・パラメーター値
14-20 リセット・モード	手動リセット	無限自動リセット

表 5.1 国際/北米デフォルト・パラメーター設定

注記 1: 1-20 モーター電力 [kW] 0-03 地域設定 が [0] 国際に設定されている場合にのみ表示されます。

注記 2: 1-21 モーター出力 [HP] 0-03 地域設定が [1] 北米に設定されている場合にのみ表示されます。

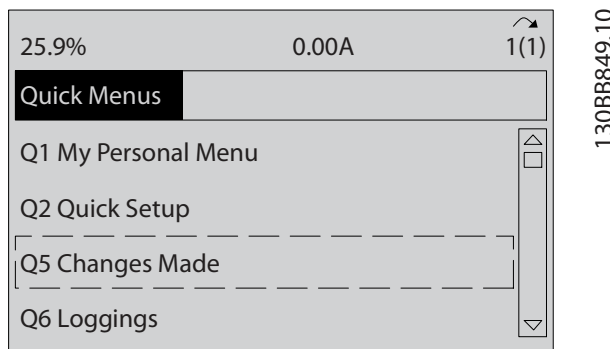
注記 3: このパラメーターは、0-02 モーター速度単位が [0] RPM に設定されている場合にのみ表示されます。

注記 4: このパラメーターは、0-02 モーター速度単位 が [1] Hz に設定されている場合にのみ表示されます。

注記 5 デフォルト値はモーター電極により異なります。4極モーターについて、国際的な初期値は 1500RPM で、2極モーターについては 3000RPM です。北米の対応値は、それぞれ 1800 および 3600RPM です。

デフォルト設定に対する変更は、保存され、パラメーターへ入力されるプログラミングと共に、クイック・メニューで表示することができます。

- [Quick Menu]を押します。
- Q5 変更済みへスクロールして[OK]を押します。



- Q5-2 ファクトリー設定以降を選択して、全てのプログラミング変更あるいは、Q5-1 最近の変更 10 件を表示します。



5.5 パラメーター・メニュー構造

アプリケーションに対する正しいプログラミングを実現するには、いくつかの関連パラメーターの機能設定が必要となります。これらのパラメーター設定は、周波数変換器を正しく動作する上で必要なシステム詳細を周波数変換器に提供します。システム詳細は、入力と出力信号の種類、プログラミング端子、最小および最大信号範囲、カスタム表示、自動リスタート、その他機能などの項目を含んでいます。

- 詳細なパラメータープログラミングと設定オプションについては LCP ディスプレイで確認して下さい。
- メニュー位置に関係なく、[Info]を押すと、機能に関する詳細情報を確認できます。
- [Main Menu] キーを押し続けることで、パラメーター番号を入力してパラメーターに直接アクセスできます。
- 共通アプリケーション設定の詳細は、6 応用設定例をご覧ください。

5.5.1 イン・メニュー構造

0-0*	動作表示	
0-01	言語	
0-02	モーター速度単位	
0-03	地域設定	
0-04	電源投入 (手動) 時の動作状況	
0-09	動作監視	
0-1*	設定動作	
0-10	スケッチアプセット	
0-11	設定の編集	
0-12	この設定のリンク先	
0-13	読み出し: リンクされた設定	
0-14	読み出し: 設定 / チャネルの編集	
0-2*	LCP 表示	
0-20	表示行 1, 1 小	
0-21	表示行 1, 2 小	
0-22	表示行 1, 3 小	
0-23	表示行 2 大	
0-24	表示行 3 大	
0-25	マイ, ハソナル, メニュー	
0-3*	LCP カスタム読み出し	
0-30	ユーザー定義読み出し単位	
0-31	ユーザー定義読み出しの最小値	
0-32	ユーザー定義読み出しの最大値	
0-37	ユーザー定義読み出し 1	
0-38	ユーザー定義読み出し 2	
0-39	ユーザー定義読み出し 3	
0-4*	LCP キーバッド	
0-40	LCP の [Hand on] (手動オン) キー	
0-41	LCP の [Off] (オフ) キー	
0-42	LCP の [Auto on] (自動オン) キー	
0-43	LCP の [Reset] キー	
0-44	LCP [Off/Reset] キー	
0-45	LCP [Drive Bypass] キー	
0-5*	コピー / 保存	
0-50	LCP コピー	
0-51	設定コピー	
0-6*	パスワード	
0-60	メイン, メニュー, パスワード	
0-61	パスワード, 無条件パスワード	
0-65	クイック, メニュー, パスワード	
0-66	パスワード, 無条件パスワード	
0-67	パスワード, パスワード, アクセス	
1-1*	負荷及びモーター	
1-00	一般設定	
1-01	構成モード	
1-02	モーター, コントロールの原則	
1-03	構成 MF ソース	
1-04	トルク特性	
1-05	通負荷モード	
1-06	ローカル, モード構成	
1-1*	モーター方向	
1-10	時計回り方向	
1-2*	Mo アー	

1-20	モーター電力 [kW]	
1-21	モーター出力 [HP]	
1-22	モーター電圧	
1-23	モーター周波数	
1-24	モーター電流	
1-25	モーター公称速度	
1-26	モーター制御定格トルク	
1-29	自動モーター適合 (AMA)	
1-3*	調整 Mo アー	
1-30	固定子抵抗 (Rs)	
1-31	回転抵抗 (Rr)	
1-33	固定子漏洩リアクタンス (Xl)	
1-34	回転子漏洩リアクタンス (X2)	
1-35	主電源リアクタンス (Xh)	
1-36	鉄損失抵抗 (Rfe)	
1-37	d 軸インダクタンス (Ld)	
1-39	モーター極数	
1-40	1000 RPM にて EMF に復活	
1-41	モーター角オフセット	
1-5*	負荷独立設定	
1-50	速度ゼロにおけるモーター磁化	
1-51	正常磁化最低速度 [RPM]	
1-52	正常磁化最低速度 [Hz]	
1-53	モデ, シフト周波数	
1-54	弱励磁における電圧減少	
1-55	U/f 特性 - 電圧	
1-56	U/f 特性 - 周波数	
1-58	75/75-ト検査/電流	
1-59	75/75-ト検査/周波数	
1-6*	負荷依存設定	
1-60	低速負荷補償	
1-61	高速負荷補償	
1-62	低速補償	
1-63	高速補償	
1-64	共振制動時間定数	
1-65	共振制動時間定数	
1-66	低速時の最低電流	
1-67	負荷タイプ	
1-68	最大慣性	
1-69	最小慣性	
1-7*	スタート調整	
1-71	スタート遅延	
1-72	スタート機能	
1-73	スタート速度 [RPM]	
1-74	スタート速度 [Hz]	
1-75	スタート速度 [RPM]	
1-76	スタート速度 [Hz]	
1-8*	停止調整	
1-80	停止時の機能	
1-81	停止時の機能 [RPM]	
1-82	停止時の機能 [Hz]	
1-83	正確な停止機能	
1-84	正確な停止速度補償遅延	
1-85	正確な停止速度補償遅延	
1-9*	モーター温度	
1-90	モーター外部保護	
1-91	モーター外部ファン	
1-93	サーミスタ, リソース	
1-94	ATEX ETR cur. lim, 原則	

3-48	減速時 7771 対 S7771 比 終了	
3-5*	ラン 2 タイプ	
3-50	ラン 2 タイプ	
3-51	ラン 2 立ち上がり時間	
3-52	ラン 2 立ち上がり時間	
3-55	加速時 7772 対 S7772 比 スタート	
3-56	減速時 7772 対 S7772 比 スタート	
3-57	減速時 7772 対 S7772 比 終了	
3-58	ラン 3 タイプ	
3-60	ラン 3 タイプ	
3-61	ラン 3 立ち上がり時間	
3-62	ラン 3 立ち上がり時間	
3-65	加速時 7773 対 S7773 比 スタート	
3-66	加速時 7773 対 S7773 比 終了	
3-67	減速時 7773 対 S7773 比 スタート	
3-68	減速時 7773 対 S7773 比 終了	
3-7*	ラン 4 タイプ	
3-70	ラン 4 タイプ	
3-71	ラン 4 立ち上がり時間	
3-72	ラン 4 立ち上がり時間	
3-75	加速時 7774 対 S7774 比 スタート	
3-76	加速時 7774 対 S7774 比 終了	
3-77	減速時 7774 対 S7774 比 スタート	
3-78	減速時 7774 対 S7774 比 終了	
3-8*	その他のラン	
3-80	ジョグ立ち上がり / 立ち下がり時間	
3-81	クイック停止ラン プタイム	
3-82	クイック停止ラン プタイム	
3-83	Q 停止 S-ramp 率減速 Start	
3-84	Q 停止 S-ramp 率減速 終了	
3-9*	デジタル電位マスター	
3-90	ステップ, サイズ	
3-91	ラン プタイム	
3-92	電力回復	
3-93	上限	
3-94	下限	
3-95	ラン プ遅延	
4-1*	制限 / 警告	
4-10	モーター速度方向 [RPM]	
4-11	モーター速度下限 [Hz]	
4-12	モーター速度上限 [RPM]	
4-13	モーター速度上限 [Hz]	
4-14	モーター速度上限 [RPM]	
4-16	トルク制限 モーター, モード	
4-17	トルク制限 エネルギー, モード	
4-18	電流制限	
4-2*	制限係数	
4-20	トルク制限係数 ソース	
4-21	速度制限係数 ソース	
4-3*	モーター速度監視	
4-30	モーター, フィードバック 損失機能	
4-31	モーター速度 [Hz]	
4-32	モーター速度 [RPM]	
4-34	追跡エラー機能	
4-35	追跡エラー	
4-36	追跡エラー	

32-08 絶対エンコンダナー、ケーブ長	33-02 ホームポジション	33-70 端末 X59/8 デジタル出力	34-70 MCO 警報メッセージ文 1
32-09 エンコンダナー監視	33-03 ホーム、モーションの速度	33-8* グローバル、パラメーター	34-71 MCO 警報メッセージ文 2
32-10 回転方向	33-04 ホーム、モーション中の動作	33-81 電源投入状況	35-** センサ入力オプション
32-11 U-サ、E-サ、I-サ、P-サ	33-10 同期化	33-82 ドライバ状態監視	35-0* 温度 X48/4 温度 ユニット
32-12 U-サ、E-サ、I-サ、P-サ	33-11 同期係数スレーブ	33-83 エラー後の動作	35-01 端末 X48/4 入力タイプ
32-13 エンコンダナー 2 制御	33-12 同期化用の位置オフセット	33-84 Esc 後の動作	35-02 端末 X48/7 温度 ユニット
32-14 エンコンダナー 2 ノード ID	33-13 位置同期化用の精度ウィンドウ	33-85 外部 24VDC によって供給された MCO	35-03 端末 X48/7 入力タイプ
32-15 エンコンダナー 2 CAN ガード	33-14 相対スレーブ速度制限	33-86 警報時端末状態	35-04 端末 X48/10 温度 ユニット
32-3* エンコンダナー 1	33-15 マスター用のマーカー番号	33-87 警報時端末状態	35-05 端末 X48/10 入力タイプ
32-30 インクリメンタル信号タイプ	33-16 スレーブ用のマーカー番号	33-9* MCO ポート設定	35-1* 温度 入力 X48/4
32-31 インクリメンタル分解能	33-17 マスター、マーカー距離	33-90 X62 MCO CAN ノード ID	35-14 端末 X48/4 時間定数 → 時定数
32-32 絶対プロトコール	33-18 スレーブ、マーカー距離	33-91 X62 MCO CAN ポート	35-15 端末 X48/4 温度 モニター
32-33 絶対分解能	33-19 マスター、マーカー、タイプ	33-94 X60 MCO RS485 シリアル端末	35-16 端末 X48/4 低温度 上限
32-35 絶対エンコンダナー、クロック周波数	33-20 スレーブ、マーカー、タイプ	33-95 X60 MCO RS485 シリアル、ポート	35-17 端末 X48/4 高温度 上限
32-36 絶対エンコンダナー、クロック発生	33-21 マスター、マーカー許容ウィンドウ	34-0* PCD 書き込みパラメーター	35-2* 温度 入力 X48/7
32-37 絶対エンコンダナー、ケーブ長	33-22 スレーブ、マーカー許容ウィンドウ	34-01 PCD 1 MCO から読み込み	35-24 端末 X48/7 時間定数 → 時定数
32-38 絶対エンコンダナー、ケーブ長	33-23 マーカー同期化用スター番号	34-02 PCD 2 MCO から読み込み	35-25 端末 X48/7 温度 モニター
32-39 エンコンダナー監視	33-24 不具合用のマーカー番号	34-03 PCD 3 MCO から読み込み	35-26 端末 X48/7 低温度 上限
32-40 エンコンダナー終端	33-25 準備完了のマーカー番号	34-04 PCD 4 MCO から読み込み	35-27 端末 X48/7 高温度 上限
32-43 エンコンダナー 1 制御	33-26 速度フィルター	34-05 PCD 5 MCO から読み込み	35-3* 温度 入力 X48/10
32-44 エンコンダナー 1 ノード ID	33-27 オフセット、フィルター時間	34-06 PCD 6 MCO から読み込み	35-34 端末 X48/10 時間定数 → 時定数
32-45 エンコンダナー 1 CAN ガード	33-28 マーカー、フィルター構成	34-07 PCD 7 MCO から読み込み	35-35 端末 X48/10 低温度 上限
32-5* FB ソース	33-29 カード使用/解除時間	34-08 PCD 8 MCO から読み込み	35-36 端末 X48/10 高温度 上限
32-50 ソース、スレーブ	33-30 最大マーカー修正	34-09 PCD 9 MCO から読み込み	35-4* アナログ入力 X48/2
32-51 MCO 302 最終意思	33-31 同期化タイプ	34-10 PCD 10 MCO から読み込み	35-42 端末 X48/2 低電流
32-52 ソース、マスター	33-32 フィード、フォワード速度適合	34-2* PCD 読み出しパラメーター	35-43 端末 X48/2 高電流
32-6* PID ??????	33-33 速度フィルター、ウィンドウ	34-21 PCD 1 MCO から読み出し	35-44 端末 X48/2 低指令信号/FB 値
32-60 比例率	33-34 スレーブ、マーカー、フィルタ時間	34-22 PCD 2 MCO から読み出し	35-45 端子 X48/2 高指令信号/FB 値
32-61 積分率	33-4* 制限取扱い	34-23 PCD 3 MCO から読み出し	35-46 端子 X48/2 時間定数 →
32-62 積分率	33-40 エンド制限スイッチでの動作	34-24 PCD 4 MCO から読み出し	
32-63 積分合計用に制限値	33-41 負プロトウエア、エンド制限	34-25 PCD 5 MCO から読み出し	
32-64 PID 帯域幅	33-42 正プロトウエア、エンド制限	34-26 PCD 6 MCO から読み出し	
32-65 速度フィード、フォワード	33-43 負 VIT/ICD 制限アプ/ド	34-27 PCD 7 MCO から読み出し	
32-66 加速フィード、フォワード	33-44 正 VIT/ICD 制限アプ/ド	34-28 PCD 8 MCO から読み出し	
32-67 最大許容位置エラー	33-45 目標ウィンドウでの時間	34-29 PCD 9 MCO から読み出し	
32-68 最大許容位置エラー	33-46 目標ウィンドウ制限値	34-30 PCD 10 MCO から読み出し	
32-69 PID 制御用のサンプリング時間	33-47 目標ウィンドウのサイズ	34-4* 入力&出力	
32-70 7.071413 I&L-9用/14用時間	33-5* I/O 構成	34-40 デジタル入力	
32-71 制御ウィンドウのサイズ(起動)	33-50 端末 X57/1 デジタル入力	34-41 デジタル出力	
32-72 制御ウィンドウのサイズ(非起動)	33-51 端末 X57/2 デジタル入力	34-5* プロセス、データ	
32-73 統合制限フィルター時間	33-52 端末 X57/3 デジタル入力	34-50 実際の位置	
32-8* 速度 & 加速	33-53 端末 X57/4 デジタル入力	34-51 コマンドされた位置	
32-80 最大速度(エンコンダナー)	33-54 端末 X57/5 デジタル入力	34-52 実際のマスター位置	
32-81 最短立ち上がり/立ち下り	33-55 端末 X57/6 デジタル入力	34-53 スレーブ、インデックス位置	
32-82 立ち上がり/立ち下りタイプ	33-56 端末 X57/7 デジタル入力	34-54 マスター、インデックス位置	
32-83 速度分解能	33-57 端末 X57/8 デジタル入力	34-55 曲線位置	
32-84 デフォルト速度	33-58 端末 X57/9 デジタル入力	34-56 トラック、エラー	
32-85 デフォルト加速	33-59 端末 X57/10 デジタル入力	34-57 同期エラー	
32-86 上限ジャークまで加速	33-60 端末 X59/1 デジタル入力	34-58 実際の速度	
32-87 下限ジャークまで加速	33-61 端末 X59/1 デジタル入力	34-59 実際のマスター速度	
32-88 上限ジャークまで減速	33-62 端末 X59/2 デジタル出力	34-60 同期状態	
32-89 下限ジャークまで減速	33-63 端末 X59/2 デジタル出力	34-61 軸状態	
32-9* 閉路	33-64 端末 X59/2 デジタル出力	34-62 プログラム状態	
32-90 デバックソース	33-65 端末 X59/3 デジタル出力	34-64 MCO 302 状態	
33-** MCO 高度設定	33-66 端末 X59/4 デジタル出力	34-65 MCO 302 コントロール	
33-0* ホーム、モーション	33-67 端末 X59/5 デジタル出力	34-7* 診断読み出し	
33-00 ホーム、ホーム	33-68 端末 X59/6 デジタル出力		
33-01 ホーム位置からの 0 点オフセット	33-69 端末 X59/7 デジタル出力		

5.6 MCT 10 セットアップ・ソフトウェア によるリモートプログラミング

Danfoss は、周波数変換器 プログラミングの開発、保持、および転送に利用できるソフトウェア・プログラムを持っています。MCT 10 セットアップ・ソフトウェアにより、ユーザーは PC を周波数変換器へ接続して、LCP を使用せずにプログラミングを実行できます。また、周波数変換器のプログラミングは、オフラインでも行え、単に周波数変換器へダウンロードするだけです。あるいは、周波数変換器 のプロファイルは全て、PC へロードでき、バックアップ保存や解析に利用できます。

5

USB コネクタや RS-485 端子が、周波数変換器への接続用として使用できます。

MCT 10 セットアップ・ソフトウェア は、www.VLT-software.com から無料でダウンロードできます。CD は、パーツ番号 130B1000 を要求して使用することもできます。ユーザー・マニュアルには、操作方法が詳細に記載されています。

6 応用設定例

6.1 はじめに

注記

工場出荷時のプログラミング値を使用する際、周波数変換器の端子 12 (または 13) と端子 27 の間にジャンパー線が必要とする場合があります。詳細は、2.4.1.1 ジャンパー端子 12 と 27 を参照してください。

このセクションに記載されている事例は、一般的なアプリケーションのためのクイック・リファレンスとして利用することを目的としています。

- パラメーター設定については、特に指定しなければ (0-03 地域設定で選択) 地域のデフォルト設定になります。
- 端子に関連付けられたパラメーターとその設定は、図の次に示されています。
- アナログ端子 A53 または A54 のスイッチ設定が必要な場所では、それらも示されています。

FC		パラメーター		
		機能	設定	
+24 V	12	130BB930.10	1-29 自動モーター適合 (AMA)	[1] 完全 AMA を有効化
+24 V	13		5-12 端末 27 デジタル入力	[0] 操作なし
D IN	18		* = 初期値	
D IN	19		注意/コメント: モーターによって、パラメーター・グループ 1~2* を設定してください。	
COM	20			
D IN	27			
D IN	29			
D IN	32			
D IN	33			
D IN	37			
+10 V	50			
A IN	53			
A IN	54			
COM	55			
A OUT	42			
COM	39			

6.2 アプリケーション例

FC		パラメーター		
		機能	設定	
+24 V	12	130BB929.10	1-29 自動モーター適合 (AMA)	[1] 完全 AMA を有効化
+24 V	13		5-12 端末 27 デジタル入力	[2]* 逆フリーラン
D IN	18		* = 初期値	
D IN	19		注意/コメント: モーターによって、パラメーター・グループ 1~2* を設定してください。	
COM	20			
D IN	27			
D IN	29			
D IN	32			
D IN	33			
D IN	37			
+10 V	50			
A IN	53			
A IN	54			
COM	55			
A OUT	42			
COM	39			

表 6.1 T27 を接続した AMA

表 6.2 T27 を接続していない AMA

FC		パラメーター		
		機能	設定	
+24 V	12	130BB926.10	6-10 端末 53 低電圧	0.07V*
+24 V	13		6-11 端末 53 高電圧	10V*
D IN	18		6-14 端末 53 低速信 / FB 値	ORPM
D IN	19		6-15 端末 53 高速信 / FB 値	1500RPM
COM	20		* = 初期値	
D IN	27		注意/コメント:	
D IN	29			
D IN	32			
D IN	33			
D IN	37			
+10 V	50			
A IN	53			
A IN	54			
COM	55			
A OUT	42			
COM	39			

表 6.3 アナログ速度指令信号 (電圧)

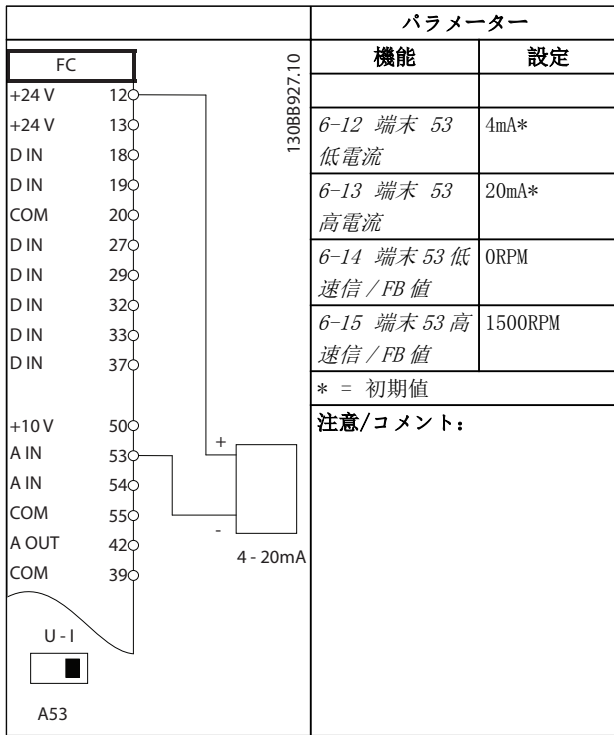


表 6.4 アナログ速度指令信号（電流）

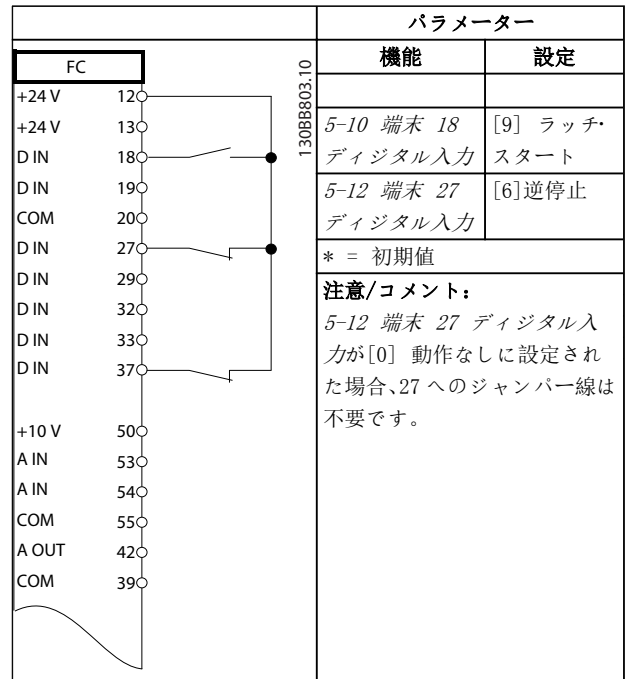


表 6.6 パルス・スタート/ストップ

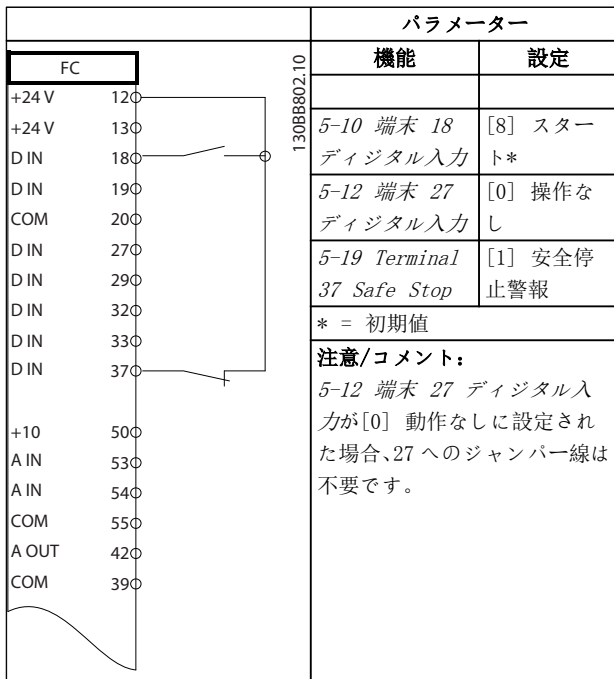
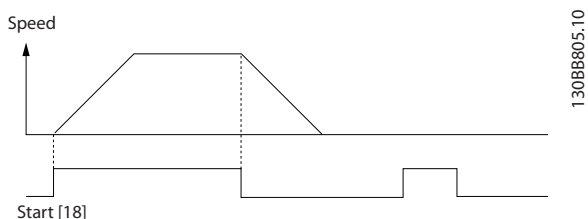
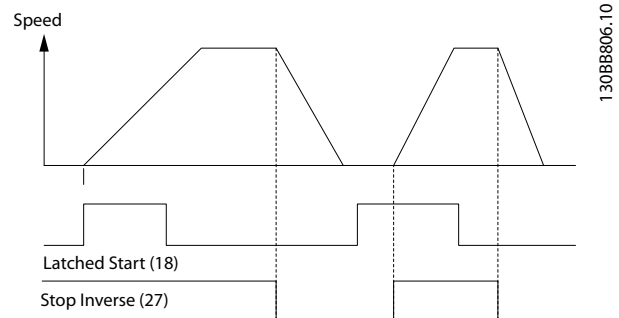


表 6.5 安全停止付きスタート/停止コマンド



		パラメーター	
		機能	設定
		5-10 端末 18 デジタル入力	[8] スタート
		5-11 端末 19 デジタル入力	[10] 逆転*
		5-12 端末 27 デジタル入力	[0] 操作なし
		5-14 端末 32 デジタル入力	[16] プレセット参照ビット 0
		5-15 端末 33 デジタル入力	[17] プレセット参照ビット 1
		3-10 プリセット速度指令信号	
		プリセット速度指令信号 0	25%
		プリセット速度指令信号 1	50%
		プリセット速度指令信号 2	75%
		プリセット速度指令信号 3	100%
		* = 初期値	
		注意/コメント:	

表 6.7 逆転および4プリセット速度付きスタート/停止

		パラメーター	
		機能	設定
		5-11 端末 19 デジタル入力	[1] リセット
		* = 初期値	
		注意/コメント:	

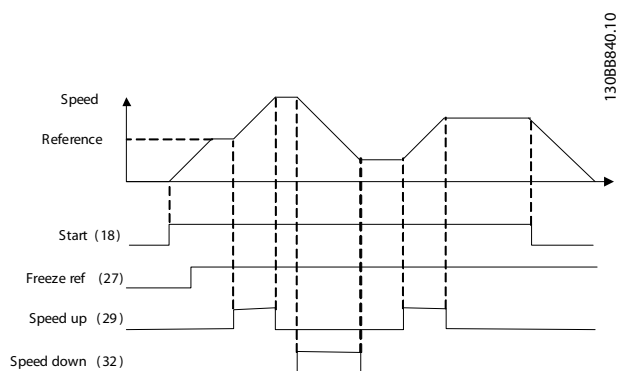
表 6.8 外部警報リセット

		パラメーター	
		機能	設定
		6-10 端末 53 低電圧	0.07V*
		6-11 端末 53 高電圧	10V*
		6-14 端末 53 低速 / FB 値	0RPM
		6-15 端末 53 高速 / FB 値	1500RPM
		* = 初期値	
		注意/コメント:	

表 6.9 速度指令信号 (手動ポテンショメーターを使用)

		パラメーター	
		機能	設定
		5-10 端末 18 デジタル入力	[8] スタート*
		5-12 端末 27 デジタル入力	[19] 速度指令信号凍結
		5-13 端末 29 デジタル入力	[21] 加速
		5-14 端末 32 デジタル入力	[22] 減速
		* = 初期値	
		注意/コメント:	

表 6.10 加速 / 減速



130BB840.10

		パラメーター	
		機能	設定
FC			
+24 V	120		
+24 V	130		
D IN	180	8-30 プロトコール	FC*
D IN	190	8-31 アドレス	1*
COM	200	8-32 ボーレート	9600*
D IN	270	* = 初期値	
D IN	290	注意/コメント: プロトコル、アドレス、ボーレートを上記のパラメーターから選択します。	
D IN	320		
D IN	330		
D IN	370		
+10 V	500		
A IN	530		
A IN	540		
COM	550		
A OUT	420		
COM	390		
	010		
	020		
	030		
	040		
	050		
	060		
	610		
	680		
	690		

表 6.11 RS-485 ネットワーク接続

注意

サーミスターは、PELV 絶縁条件を満足させるために、強化あるいは二重絶縁を使用する必要があります。

		パラメーター	
		機能	設定
FC			
+24 V	120		
+24 V	130		
D IN	180	I-90 モーター熱保護	[2] サーミスターリッ プ
D IN	190		
COM	200		
D IN	270	I-93 サーミスター・ソース	[1] アナログ入力 53
D IN	290		
D IN	320	* = 初期値	
D IN	330	注意/コメント: 警告のみが必要な場合は、I-90 モーター熱保護を [1] サーミスター警告に設定する必要があります。	
D IN	370		
+10 V	500		
A IN	530		
A IN	540		
COM	550		
A OUT	420		
COM	390		

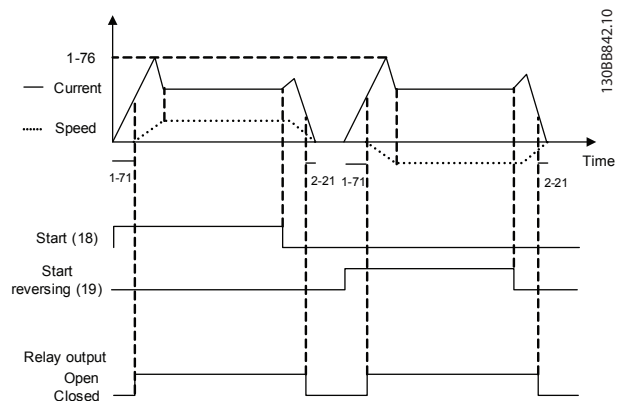
表 6.12 モーター・サーミスター

		パラメーター	
FC		機能	設定
+24 V	12	130B839.10	4-30 モータ ー・フィードバ ック損失機能
+24 V	13		[1] 警告
D IN	18		4-31 モータFB 速度エラー
D IN	19		100RPM
COM	20		4-32 モータFB 損失タイムアウト
D IN	27		5 秒
D IN	29		7-00 速度 PID フィードバッ ク・ソース
D IN	32		[2] MCB 102
D IN	33		17-11 分解能 (PPR)
D IN	37		1024*
+10 V	50		13-00 SL コン トローラー・モ ード
A IN	53		[1] 0n
A IN	54		13-01 イベント をスタート
COM	55	[19] 警告	
A OUT	42	13-02 イベント を停止	
COM	39	[44] リセッ ト・キー	
RI	01	13-10 コンパレ ーター・オベラ ンド	
RI	02	[21] 警告番 号	
RI	03	[1] ≈*	
R2	04	13-11 コンパレ ーター演算子	
R2	05	13-12 コンパレ ーター値	
R2	06	90	
		13-51 SL コン トローラー・イ ベント	
		[22] コンパ レーター 0	
		13-52 SL コン トローラー・ア クション	
		[32] デジ タル出 A 低 設定	
		5-40 機能リレ ー	
		[80] SL デ ジタル出力 A	
		* = 初期値	
		注意/コメント: フィードバックモーターの制 限值を超えた場合、警告 90 が 発行されます。 SLC では、警 告 90 をモニタし、警告 90 が正 になる場合、リレー 1 が起動し ます。 次に、外部装置が修理が必要で ることを表示します。 フィー ドバックエラーが 5 秒以内に 再び制限値を超えた場合、ドラ イブが継続し、警告は消えま す。 ただ、リレー 1 は LCP で [Reset]に（リセット）なるま で、起動します。	

表 6.13 SLC を使用してリレー設定

		パラメーター	
FC		機能	設定
+24 V	12	130B841.10	5-40 機能リレ ー
+24 V	13		[32] 機械的 ブレコント
D IN	18		5-10 端末 18 デジタル入力
D IN	19		[8] スター ト*
COM	20		5-11 端末 19 デジタル入力
D IN	27		[11] 逆転ス タート
D IN	29		1-71 スタート 遅延
D IN	32		0.2
D IN	33		1-72 スタート 機能
D IN	37		[5] VVC+/ 磁束時計回 り
+10 V	50		1-76 スタート 電流
A IN	53		Im、n
A IN	54		2-20 ブレーキ 電流の解放
COM	55	用途別	
A OUT	42	2-21 ブレーキ 速度の有効化	
COM	39	モーターの 名目スリッ プ半分	
RI	01	* = 初期値	
RI	02	注意/コメント:	
RI	03		
R2	04		
R2	05		
R2	06		

表 6.14 機械的ブレーキ・コントロール



7 状態メッセージ

7.1 状態ディスプレイ

When the 周波数変換器 が 状態モードにある場合、状態メッセージが 周波数変換器 内で自动生成され、ディスプレイの下部に表示されます (図 7.1を参照)

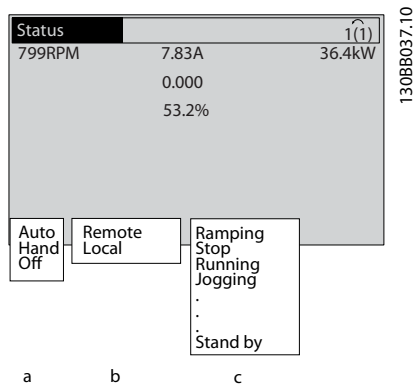


図 7.1 状態ディスプレイ

- 状態メッセージ行に表示されている最初の単語は、停止/スタート・ コマンドがどこから発行されているかを示しています。
- 状態メッセージ行に表示されている二番目の単語は、速度コントロールがどこから発行されているかを示しています。
- 状態ラインの最後の部分には、現在の 周波数変換器 の状態が表示されます。これらは、現在の 周波数変換器 の動作モードを示します。

注記

自動/リモートモードでは、周波数変換器 は 機能を実行するために外部コマンド を必要とします。

7.2 状態メッセージ定義表

次の3つの表は、表示される状態メッセージの意味を示します。

動作モード	
Off	周波数変換器は、[Auto On] または [Hand On]を押すまで、どんなコントロール信号にも反応しません。
Auto On	周波数変換器はコントロール端子および/またはシリアル通信で制御されます。
Hand On(手動オン)	周波数変換器は LCP のナビゲーション・キーによって制御できます。 コントロール端子に適用される停止コマンド、リセット、逆転、直流ブレーキ、その他の信号は、ローカル・コントロールを重ね書きします。

速度指令信号サイト	
Remote (遠隔)	速度指令信号は、外部信号、シリアル通信、あるいは内部のプリセット速度指令信号によって与えられます。
Local (ローカル)	周波数変換器は、[Hand On]コントロールまたは、LCP からの速度指令信号値を使用します。

動作状態	
交流 Brake (交流ブレーキ)	2-10 ブレーキ機能で交流ブレーキが選択されました。 交流ブレーキが、制御によりスローダウンを行うために、モーターを過励磁します。
AMA finish OK (AMA 完了 OK)	自動モーター適合化 (AMA) は成功しました。
AMA ready (AMA 準備完了)	AMA のスタート準備ができています。 スタートには [Hand On]を押してください。
AMA running (AMA 実行中)	AMA プロセスが進行中です。
Braking (ブレーキ)	ブレーキ・チョッパーが作動中です。 発生エネルギーがブレーキ抵抗器により吸収されます。
Braking max. (最高ブレーキ)	ブレーキ・チョッパーが作動中です。 2-12 ブレーキ電力制限 (kW)で定義されているブレーキ抵抗器の電力制限値に達していません。
Coast (フリーラン)	<ul style="list-style-type: none"> フリーラン反転がデジタル入力の機能として選択されました (パラメーター・グループ 5-1*)。 対応する端子は接続されていません。 フリーランはシリアル通信により起動されます。

	動作状態
Ctrl. Ramp-down (ランプ・ダウン)	<p>コントロール・ランプ・ダウンが 14-10 主電源異常で選択されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主電源の不具合により、主電源電圧が 14-11 主電源不具合時の主電源電圧の設定値より低くなっています。 周波数変換器はコントロール・ランプ・ダウンを使用してモーターをランプ・ダウンします。
Current High (電流高)	周波数変換器出力電流は、4-51 警告電流高で設定された制限値を超えています。
Current Low (電流低)	周波数変換器出力電流は、4-52 警告速度低で設定された制限値より低くなっています。
DC Hold (直流保留)	直流保留が 1-80 停止時の機能で選択され、停止コマンドが有効になっています。モーターは、2-00 直流保留 / 予加熱電流で設定された DC 電流により停止状態になっています。
DC Stop (直流停止)	<p>モーターは、指定時間 (2-02 直流ブレーキ時間) の間、直流電流 (2-01 直流ブレーキ電流) により停止状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 直流ブレーキが 2-03 直流ブレーキ作動速度 [RPM] により起動され、停止コマンドが有効になります。 直流ブレーキ (反転) が、デジタル入力の機能として選択されます (parameter group 5-1*)。対応する端子が有効ではありません。 直流ブレーキがシリアル通信経由で起動されます。
フィードバック高	有効な全フィードバックの合計が、4-57 高フィードバック信号警告で設定された制限値を上回っています。
Feedback low (フィードバック低)	有効な全フィードバックの合計が、4-56 低フィードバック信号警告で設定された制限値を下回っています。
出力凍結	<p>遠隔速信が有効になっていて、現在の速度を保持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力凍結が、デジタル入力の機能として選択されました (グループ 5-1*)。対応する端子がアクティブです。速度コントロールは、端子機能の減速と加速によってのみ可能です。 ランプ保留はシリアル通信経由で有効にされます。
Freeze output request (出力凍結要求)	出力凍結コマンドが与えられても、モーターは 運転許可信号を受け取るまで停止状態のままです。
Freeze ref. (凍結速度指令信号)	凍結速度指令信号が、デジタル入力の機能として選択されました (パラメーター・グループ 5-1*)。対応する端子がアクティブです。周波数変換器は実際の速度指令信号を保存します。速度指令信号の変更は現在、端子機能の減速と加速によって可能です。

	動作状態
Jog request (ジョグ要求)	ジョグコマンドが与えられても、Run permissive (許容運転) 信号がデジタル入力を介して受け取られるまで、モーターは停止状態のままです。
Jogging (ジョグ)	<p>モーターは 3-19 ジョグ速度 [RPM] のプログラムに従って動いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジョグが、デジタル入力の機能として選択されました (パラメーター・グループ 5-1*)。対応する端子 (例: 端子 29) はアクティブです。 ジョグ機能はシリアル通信経由でアクティブにされます。 ジョブ機能は、監視機能へのリアクションとして選択されました (例: 信号なし)。監視機能はアクティブです。
Motor check (モーター確認)	1-80 停止時の機能で、Motor Check (モーター確認) が選択されました。停止コマンドがアクティブです。モーターが周波数変換器へ接続されていることを確認するため、パラメーター・テスト電流をモーターに供給します。
OVC control (OVC コントロール)	過電圧 コントロールは 2-17 過電圧コントロールで起動されました。接続モーターは、周波数変換器に発生エネルギーを供給しています。過電圧コントロールは V/Hz 比を調整して、制御モードによりモーターを運転し、周波数変換器のトリップを防ぎます。
PowerUnit Off (電力ユニットオフ)	(外部 24V 電源を装備した周波数変換器のみに対応) 周波数変換器に対する主電源の供給が停止されますが、コントロール・カードには外部 24V が供給されます。
Protection md (保護モード)	<p>火災モードはアクティブです。ユニットは危険な状態を検出しました (過電流または過電圧)。</p> <ul style="list-style-type: none"> トリップを防ぐため、スイッチ周波数は 4 kHz まで下げられます。 可能な場合、保護モードは約 10 秒後に終了します。 保護モードは、14-26 Inv 不具合時トリップ遅延で制限できます。
QStop (クイック停止)	<p>モーターは 3-81 クイック停止ランプ時間を使用して減速されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> クイック停止反転が、デジタル入力の機能として選択されました (パラメーター・グループ 5-1*)。対応する端子が有効ではありません。 クイック停止は、シリアル通信ポートを介してアクティブにされました。
Ramping (ランプ)	モーターは、アクティブなランプ・アップ/ダウンを使用して加速または減速されます。速度指令信号で、制限値や停止状態に達していません。

	動作状態
Ref. high(速度指令高)	アクティブな速度指令信号の合計は、4-55 高警告速度指令信号で設定された速度指令信号の制限値を上回っています。
Ref. low(速度指令低)	アクティブな速度指令信号の合計は、4-54 低警告速度指令信号で設定された速度指令信号の制限値を下回っています。
Run on ref.(速度指令信号による稼働)	周波数変換器は、速度指令信号範囲で動作しています。フィードバック値は設定値に一致しています。
Run request(稼働要求)	スタート・コマンドが与えられても、モーターは Run permissive signal(許容運転信号)がデジタル入力を介して受け取るまで停止されます。
運転中	モーターは周波数変換器によって駆動されません。
Speed high(速度高)	モーター速度は 4-53 警告速度高で設定された値を上回っています。
Speed low(速度低)	モーター速度は 4-52 警告速度低で設定された値を下回っています。
Standby(スタンバイ)	自動オン・モードでは、周波数変換器はデジタル入力またはシリアル通信からのスタート信号により、モーターをスタートさせます。
Start delay(スタート遅延)	I-71 スタート遅延では、遅延開始時間が設定されました。スタート・コマンドが起動され、スタート遅延時間が過ぎるとモーターがスタートします。
Start fwd/rev(順転/反転スタート)	順転スタートと反転スタートが、二つのデジタル入力の機能として選択されました(パラメーター・グループ 5-1")。モーターは、どの対応する端子がアクティブになっているかにより、順転または逆転を開始します。
停止	周波数変換器は、LCP、デジタル入力、あるいはシリアル通信から停止コマンドを受け取りました。
トリップ	警報が発生し、モーターが停止します。警報の原因がクリアされると、周波数変換器は、[Reset] キーを押すか、コントロール端子またはシリアル通信によるリモート制御により、リセットできます。
Trip lock(トリップ・ロック)	警報が発生し、モーターが停止します。警報の原因がクリアされたら、周波数変換器の電源を切つてすぐに入れ直す必要があります。周波数変換器は、[Reset] キーを押すか、コントロール端子またはシリアル通信によるリモート制御により、リセットできます。

8 警告および警報

8.1 システム監視

周波数変換器は、入力電源、出力、モーター力率、さらには、他のシステム・パフォーマンス・インジケータの状態を監視します。警告や警報は、必ずしも周波数変換器自体の内部で発生した問題を示しているとは限りません。多くの場合、周波数変換器の内部ロジックにより監視される、入力電圧、モーター負荷や温度、外部信号、あるいは、他のエリアなどに関する不具合を示しています。このような周波数変換器外部のエリアを、警報や警告に従ってかならず調査してください。

8.2 警告と警報の種類

警告

警告は、警報状態が差し迫っている場合、あるいは異常な動作状態が存在しており周波数変換器が警報を発行しそうな場合に、発行されます。その状態が取り除かれると、警告は自動的にクリアされます。

警報

トリップ

警報は、周波数変換器がトリップした場合に発行されます。このことは、周波数変換器やシステムが損傷するのを防ぐために周波数変換器が動作をサスペンドされることを意味します。モーターはフリーランして停止します。このモード周波数変換器ロジックでは周波数変換器状態の運転およびモニタを継続します。不具合が解消されると周波数変換器周波数変換器はリセットできます。その後、周波数変換器は再び動作開始できる状態になります。

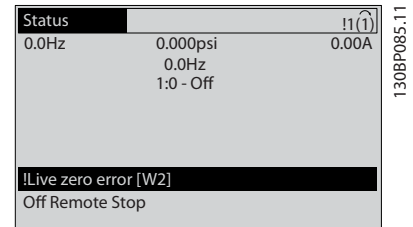
トリップは、以下の4つの方法でリセットできます。

- LCP上で[RESET]を押します。
- デジタル・リセット入力コマンド
- シリアル通信リセット入力コマンド
- 自動リセット

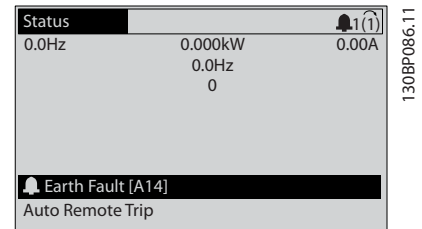
トリップ・ロック

周波数変換器のトリップロックを引き起こす警報には、入力電力のサイクルが必要です。モーターはフリーランして停止します。この周波数変換器ロジックでは周波数変換器の運転とモニタを継続します。周波数変換器への入力電力を停止させ、不具合の原因を修正し、電力を復帰させます。この動作により、周波数変換器は上述のトリップ状態になり、四つのいずれかの方法でリセットできます。

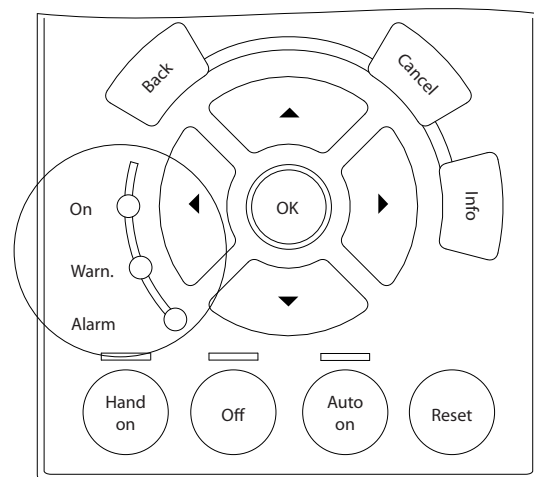
8.3 警報と警告の表示



警報またはトリップ・ロック警報は、警報番号と共に、ディスプレイ上でフラッシュします。



周波数変換器ディスプレイ上のテキストと警報コードに加えて、状態表示ランプが作動します。



	警告 LED	警報 LED
警告	オン	オフ
警報	オフ	オン (フラッシュ)
トリップ・ロック	オン	オン (フラッシュ)

8.4 警報と警告の定義

は、警告が警報の前に出されたかどうか、警報がユニットをトリップまたはトリップロックしたかどうかを定義します。

No.	詳細	警告	警報/トリップ	警報/トリップ・ロック	パラメーター 速度指令信号
1	10 ボルト低	X			
2	ライブ・ゼロ	(X)	(X)		6-01 ライブ・ゼロ・タイムアウト機能
3	モーターなし	(X)			1-80 停止時の機能
4	主電源相損失	(X)	(X)	(X)	14-12 主電源アンバランス時の機能
5	直流リンク電圧高	X			
6	直流リンク電圧低	X			
7	直流過電圧	X	X		
8	直流電圧低下	X	X		
9	インバーター過負荷	X	X		
10	モーター ETR 過剰温度	(X)	(X)		1-90 モーター熱保護
11	モーター・サーミスター過剰温度	(X)	(X)		1-90 モーター熱保護
12	トルク制限	X	X		
13	過電流	X	X	X	
14	地絡	X	X	X	
15	ハードウェア不整合		X	X	
16	短絡		X	X	
17	コントロール・メッセージ文タイムアウト	(X)	(X)		8-04 コント Mss 文タイム
20	温度 入力エラー				
21	パラメータ				
22	機械的巻上げ ブレーキ	(X)	(X)		パラメーター・グループ 2-2*
23	内部ファン	X			
24	外部ファン	X			
25	ブレーキ抵抗器短絡	X			
26	ブレーキ抵抗器電力制限	(X)	(X)		2-13 ブレーキ電力監視
27	ブレーキ・チョッパー短絡	X	X		
28	ブレーキ確認	(X)	(X)		2-15 ブレーキ確認
29	ヒートシンク温度	X	X	X	
30	モーター相 U 損失	(X)	(X)	(X)	4-58 モーター相機能がありません。
31	モーター相 V 損失	(X)	(X)	(X)	4-58 モーター相機能がありません。
32	モーター相 W 損失	(X)	(X)	(X)	4-58 モーター相機能がありません。
33	突入不具合		X	X	
34	フィールドバス 通信不具合	X	X		
35	オプション不具合				
36	主電源異常	X	X		
37	相アンバランス		X		
38	内部不具合		X	X	
39	ヒートシンクセンサ		X	X	
40	デジタル出力端末 27 の過負荷	(X)			5-00 デジタル I / 0 モード, 5-01 端末 27 モード

No.	詳細	警告	警報/トリップ	警報/トリップ・ロック	パラメーター 速度指令信号
41	デジタル出力端末 29 の過負荷	(X)			5-00 デジタル I / 0 モード, 5-02 端末 29 モード
42	過負荷 X30/6-7	(X)			
43	拡張 供給 Op				
45	地絡 2	X	X	X	
46	電力カードの供給		X	X	
47	24 V 電源低	X	X	X	
48	1.8 V 電源低		X	X	
49	速度制限	X			
50	AMA 校正に失敗しました。		X		
51	AMA U _{nom} および I _{nom} を確認		X		
52	AMA 低 I _{nom}		X		
53	AMA モーター過大		X		
54	AMA モーター過小		X		
55	AMA パラメーターが範囲外です		X		
56	AMA がユーザーに妨害されています		X		
57	AMA タイムアウト		X		
58	AMA 内部不良	X	X		
59	電流制限	X			
61	ファクトリリセット	(X)	(X)		4-30 モーター・フィー ドバック損失機能
62	上限時の出力周波数	X			
63	機械的ブレーキ低		(X)		2-20 ブレーキ電流の 解放
64	電圧制限	X			
65	コントロール・ボード過温度	X	X	X	
66	ヒートシンク温度低	X			
67	オプション 構成が変更されました		X		
68	安全停止	(X)	(X) ¹⁾		5-19 Terminal 37 Safe Stop
69	電力 カード温度		X	X	
70	不正な FC 構成			X	
71	PTC 1 安全停止				
72	危険な異常				
73	安停自リスタート	(X)	(X)		5-19 Terminal 37 Safe Stop
74	PTCサニスタ			X	
75	規定外プロファイル選択		X		
76	電源工外設定	X			
77	低電力モード	X			14-59 Actual Number of Inverter Units
78	追跡エラー	(X)	(X)		4-34 追跡エラー機能
79	違法 PS 構成		X	X	
80	ドライブが デフォルト値に初期化されました		X		
81	CSIV コラプト		X		
82	CSIV P エラー		X		
83	規定外オプション組合せ			X	
84	安全オプションなし		X		
88	オプション検出			X	
89	機械ブレーキスライド	X			

No.	詳細	警告	警報/トリップ	警報/トリップ・ロック	パラメーター 速度指令信号
90	フィードバック監視	(X)	(X)		17-61 フィードバック 信号監視
91	アナログ 入力 54 の設定が間違っています			X	S202
163	ATEX ETR cur.lim. 警告	X			
164	ATEX ETR cur.lim. 警報		X		
165	ATEX ETR freq.lim. 警告	X			
166	ATEX ETR freq.lim. 警報		X		
243	ブレーキ IGBT	X	X	X	
244	ヒートシンク温度	X	X	X	
245	ヒートシンクセンサ		X	X	
246	電力カード 供給			X	
247	電力カード 温度		X	X	
248	違法 PS 構成			X	
249	整流器低温度	X			
250	新規スベア部品			X	
251	新規タイコト		X	X	

表 8.1 警報/警告コード一覧

(X) パラメーター依存

1) 14-20 リセット・モードを通じて自動設定は行うことができません

8.4.1 不具合メッセージ

下記の警告/警報情報は、警告/警報状態を定義し、その状態について考えられる原因を提供し、修正方法またはトラブルシューティング手順を詳述します。

WARNING 1, 10 ボルト低

コントロール・カード電圧は、端末 50 から 10 V 下回ります。

10 V 電源が過負荷になっているので、端末 50 から負荷の一部を取り除いてください。最大 15 mA または最小 590 Ω。

この状態は、接続されたポテンシオメーターにおけるショート、あるいはポテンシオメーターの不適切な配線によって生じます。

トラブルシューティング

端末 50 から配線を取り外します。警告がクリアの場合、問題は顧客の配線にあります。警告がクリアではない場合、コントロール・カードを交換します。

警告 / 警報 2, ライブ・ゼロ

この警告あるいは警報は、6-01 ライブ・ゼロ・タイムアウト機能においてユーザーによりプログラムされた場合にのみ表示されます。アナログ入力の 1 つにおけるシグナルは、入力のためにプログラムされた最小値の 50%を

下回ります。この状態は、破損した配線、あるいはシグナルを送る装置の故障によって発生します。

トラブルシューティング

全てのアナログ入力端末上の接続を確認します。端末 55 共通、シグナルのためのコントロールカード端末 53 と 54。端末 10 共通、シグナルのための MCB 101 端末 11 と 12。端末 2、4、6 共通、シグナルのための MCB 109 端末 1、3、5。

周波数変換器 プログラム とスイッチ設定がアナログ・シグナル・タイプと一致することを確認します。

入力端末シグナルテストを実行します。

警告/警報 3, モーターなし

周波数変換器の出力にモーターが接続されていません。

警告 / 警報 4, 主電源相損失

相が電源側で損失しているか、あるいは主電源電圧アンバランスが高すぎます。このメッセージは周波数変換器の入力整流器に不具合が生じたときにも表示されます。オプションは、14-12 主電源アンバランス時の機能においてプログラムされます。

トラブルシューティング

への供給電圧 と周波数変換器への供給電流をチェックして下さい。

WARNING 5, 直流リンク電圧高

中間回路電圧(直流)が過電圧警告制限を超えています。制限は、周波数変換器電圧定格に依存します。これで周波数変換器がまだアクティブです。

WARNING 6, 直流リンク電圧低

中間回路電圧(DC)が低電圧警告制限より低くなっています。制限は、周波数変換器電圧定格に依存します。これで周波数変換器がまだアクティブです。

警告 / 警報 7, 直流過電圧

中間回路電圧が制限を超えると、周波数変換器はしばらくしてトリップします。

トラブルシューティング

- ブレーキ抵抗器を接続する
- ランプ時間を延長する
- 立ち下りタイプを変更します
- 機能を起動する 2-10 ブレーキ機能
- 増加 14-26 Inv 不具合時トリップ遅延

警告 / 警報 8, 直流電圧低下

中間回路電圧(直流)が電圧制限を下回る場合には、24 VDC バックアップ電源が接続されているかどうか周波数変換器によって確認されます。24 VDC バックアップ電源が接続されていない場合には、周波数変換器が決められた時間遅延の後にトリップします。時間遅延はユニットサイズによって異なります。

トラブルシューティング

- 供給電圧が周波数変換器電圧と一致しているかを確認します。
- 入力電圧テストを実施します。
- ソフトチャージと整流器回路テストを実施します

警告 / 警報 9, インバーター過剰負荷

過負荷(長時間の過剰電流)のために周波数変換器が切断しようとしています。電子サーマル・インバータ保護用カウンターは 98% で警告を発し、100% で警報を発しながらトリップします。周波数変換器は、カウンターが 90% 未満になるまでリセットリセットできません。不具合とは、周波数変換器があまりにも長時間 100% 以上の過負荷であることです。

トラブルシューティング

- LCP に示された出力電流を周波数変換器定格電流と比較します。
- LCP 上に表示される出力電流と、測定モーター電流を比較します。
- LCP 上のサーマルドライブ負荷を表示し、数値を監視します。周波数変換器継続電流定格を超えて動作するときは、カウンターが増加します。周波数変換器継続電流定格よりも下で動作するときは、カウンターが減少します。

高いスイッチ周波数が必要な場合は、デザインガイドにおける定格値の低減に関する項目を参照してください。

警告 / 警報 10, モーター過負荷温度

電子サーマル・インバータ保護(ETR)によってモーターが過熱しています。カウンターが 1-90 モーター熱保護の 100% に到達した場合に、周波数変換器が警告または警報を出すよう、選択をします。モーターに長時間 100% を超える過負荷を掛けると不具合が発生します。

トラブルシューティング

- モーターが過熱されていないか確認します。
- モーターが機械的に過負荷であるか確認します。
- 1-24 モーター電流で設定されたモーター電流が正しいことを確認します。
- パラメーター 1-20 から 1-25 におけるモーターデータは正しく設定されていることを確認します。
- 外部ファンが使用されている場合、1-91 モーター外部ファンでそれが選択されているか確認します。
- 1-29 自動モーター適合(AMA)において AMA を動作させることにより、周波数変換器をモーターに対してより正確に調整でき、熱負荷を減少させることができます。

警告 / 警報 11, モーター・サーミスター加熱

サーミスター接続が切断されている可能性があります。周波数変換器が 1-90 モーター熱保護で警告または警報を出すよう、選択をします。

トラブルシューティング

- モーターが過熱されていないか確認します。
- モーターが機械的に過負荷であるか確認します。
- 端末 53 または 54 を使用する場合、サーミスターが端末 53 または 54 (アナログ電圧入力) と端末 50 (+ 10 V 電源) との間で正しく接続されていること、および 53 または 54 の端末スイッチが電圧に設定されていることを確認してください。1-93 サーミスター・ソースが端末 53 または 54 を選択していることを確認します。
- デジタル入力 18 または 19 を使用する場合、サーミスターが端末 18 または 19 (デジタル入力 PNP のみ) と端末 50 の間で正しく接続されていることを確認してください。1-93 サーミスター・ソースが端末 18 または 19 を選択しているか確認します。

警告 / 警報 12, トルク制限

トルクが、4-16 トルク制限モーター・モードの値または 4-17 トルク制限ジェネレーター・モードの値を超えています。14-25 トルク制限時のトリップ遅延は、これを、警告のみの状態から、警報を伴う警告に変更するために使用することができます。

トラブルシューティング

モータートルク制限をランプアップ中に超過した場合、ランプアップ時間を延長します。

ジェネレータートルク制限をランプダウン中に超過した場合、ランプダウン時間を延長します。

トルク制限が動作中に発生した場合、トルク制限を増加させることがあります。システムがより高いトルクで安全に動作するようにしてください。

モーターの電流引き込みが過剰でないか、アプリケーションを確認します。

警告 / 警報 13, 過電流

インバーターのピーク電流制限（定格電流の約 200%）を超えています。警告は約 1.5 秒続きます。その後、周波数変換器がトリップし警報が発せられます。この不具合は、衝撃負荷、あるいは高度な慣性負荷を伴う高速度加速によって発生することがあります。拡張機械的ブレーキ・コントロールが選択されている場合には、トリップを外部からリセットできます。

トラブルシューティング

電力を切り、モーター・シャフトが回転可能か確認します。

モーターサイズが周波数変換器と一致するか確認します。

パラメーター 1-20 から 1-25 におけるモーターデータは正しく設定されているか確認します。

ALARM 14, アース（接地）不具合

周波数変換器とモーター間のケーブルまたはモーター自体に、出力相から接地への電流があります。

トラブルシューティング

周波数変換器の電源を切り、地絡を取修理してください。

モーターリードと絶縁抵抗計を有するモーターの接地に対する抵抗を測定し、モーターの地絡を確認します。

ALARM 15, ハードウェア不整合

取り付けられたオプションが現在のコントロール・ボードハードウェアまたはソフトウェアによって動作できません。

パラメーターに従った値を記録し、Danfoss サプライヤーに問い合わせます：

15-40 FC タイプ

15-41 電力セクション

15-42 電圧

15-43 ソフトウェア・バージョン

15-45 実際タイプ・コード文字列

15-49 SW ID コントロール・カード

15-50 SW ID 電力カード

15-60 オプション実装済み

15-61 Opt SW バージョン

ALARM 16, 短絡

モーターまたはモーター配線に短絡があります。

周波数変換器の電源を切り、短絡を修理してください。

警告 / 警報 17, コントロール・メッセージ文タイムアウト

周波数変換器への通信がありません。

この警告は、8-04 コントロール・タイムアウト機能が [0] オフに設定されていない場合にのみアクティブになります。

8-04 コントロール・タイムアウト機能が「停止してトリップ」に設定されている場合は、警告が表示され、停止するまで周波数変換器 ランプダウンしてから、警報を表示します。

トラブルシューティング

シリアル通信ケーブル上の接続を確認します。

増加 8-03 コントロール・タイムアウト時間
通信設備の動作を確認します。

EMC 要件に基づき i 据付が適切かを確認します。

警告/警報 20, 温度入力エラー

温度センサーが接続されていません。

警告/警報 21, パラメーター・エラー

パラメーターが範囲外です。パラメーター番号が LCP に報告されていません。のパラメーターは有効な値に設定してください。

警報/警報 22, 巻き上げ機械的ブレーキ:

報告値が種類を示します。0 = タイムアウトまでにトルク参照値に達しませんでした。1 = タイムアウトまでにブレーキフィードバックがありませんでした。

WARNING 23, 内部ファン不具合:

ファン警告機能は、ファンが運転しているか確認します。ファン警告は、14-53 ファン・モニターで無効にできません。

トラブルシューティング

ファン動作が適切か確認します。

周波数変換器への電力をサイクルし、ファンがスタートアップ時に一時的に動作することを確認します。

ヒートシンクとコントロールカード上のセンサーを確認します。

WARNING 24, 外部ファン不具合:

ファン警告機能は、ファンが運転しているか確認します。ファン警告は、14-53 ファン・モニターで無効にできません。

トラブルシューティング

ファン動作が適切か確認します。

周波数変換器への電力をサイクルし、ファンがスタートアップ時に一時的に動作することを確認します。

ヒートシンクとコントロールカード上のセンサーを確認します。

WARNING 25, ブレーキ抵抗器短絡

ブレーキ抵抗器は動作中監視されています。短絡した場合には、ブレーキ機能が無効化され、警告が表示されます。周波数変換器は引き続き動作しますが、ブレーキ機能は動作しません。周波数変換器への電力を停止させ、ブレーキ抵抗器を交換して下さい(2-15 ブレーキ確認を参照して下さい)。

警告 / 警報 26, ブレーキ抵抗器電力制限

ブレーキ抵抗器に伝送される電力が、動作時間の最終 120 秒における平均値として計算されます。計算は、2-16 交流ブレーキ最大電流において設定された中間回路電圧とブレーキ抵抗値を基本とします。損失されたブレーキングがブレーキ抵抗電力の 90% より高くなると警告がアクティブになります。2-13 ブレーキ電力監視においてトリップ [2] が選択されている場合、損失ブレーキ電力が 100% より大きいと、周波数変換器はトリップします。

警告 / 警報 27, ブレーキ・チョッパー不具合

動作中はブレーキ抵抗器が監視され、短絡すると、ブレーキ機能が無効化され、警告が表示されます。周波数変換器は引き続き動作可能ですが、ブレーキ・トランジスタが短絡しているため、ブレーキ抵抗器が非アクティブである場合でも、そのブレーキ抵抗器に多量の電力が伝達されません。

周波数変換器の電源を切り、ブレーキ抵抗器を取り外してください。

警告 / 警報 28, ブレーキ確認失敗

ブレーキ抵抗器が接続されていないか、動作していません。

チェック 2-15 ブレーキ確認。

ALARM 29, ヒートシンク温度

ヒートシンクの最大温度を超えました。温度の不具合は、温度がリセット・ヒートシンク温度以下になるまで、リセットされません。トリップおよびリセットのポイントは、周波数変換器電力サイズに基づきます。

トラブルシューティング

以下の条件を確認します。

周囲温度が高すぎる。

モーター・ケーブルが長すぎる。

周波数変換器の上下の通気スペースが不正です。

周波数変換器の周囲の通気が遮られています。

ヒートシンクファンの損傷。

ヒートシンクの汚れ。

ALARM 30, モーター相 U 損失

周波数変換器とモーター間のモーター相 U が損失しています。

周波数変換器への電力を停止し、モーター U 相を確認して下さい。

ALARM 31, モーター相 V 損失

周波数変換器とモーター間のモーター相 V が損失しています。

周波数変換器の電力を切り、モーター V 相を確認して下さい。

ALARM 32, モーター相 W 損失

周波数変換器とモーター間のモーター相 W が損失しています。

周波数変換器の電力を切り、モーター W 相を確認して下さい。

ALARM 33, 突入不具合

短期間のうちに多数の電源投入が行われました。ユニットを動作温度まで冷却させます。

警告 / 警報 34, 通信不良

および通信オプションカード間の通信が動作していません。

警報/警告 35, オプション不具合

オプション警報を受信します。警報はオプション別です。もっとも考えられる原因は出力アップか、または通信不良です。

警告 / 警報 36, 主電源異常

この警告 / 警報は、周波数変換器への供給電圧が失われ、14-10 主電源異常が [0] 機能無しに設定されていない場合にのみアクティブになります。周波数変換器へのフューズと、ユニットへの主電源電力を確認します。

警報 37, 相不均衡

電源ユニット間に、電流の不均衡があります

ALARM 38, 内部不具合

内部的な不具合が発生した場合、下記の表で定義されたコード番号が表示されます。

トラブルシューティング

周波数変換器に電源をサイクルします。

オプションが正しく設置されていることを確認します。

接続が緩んでいたり、失われているか確認します。

Danfoss 代理店またはサービス部門に連絡することが必要な場合もあります。問題解決の指示を受けるため、コード番号を確認してください。

No.	テキスト
0	リアルタイムデータを初期化できません。Danfoss 代理店または Danfoss サービス部門にお問い合わせください。
256-258	電源 EEPROM データに欠陥があるか、古すぎます
512-519	内部不具合。Danfoss 代理店または Danfoss サービス部門にお問い合わせください。
783	パラメーター値が上下限の範囲外です
1024-1284	内部不具合。Danfoss の代理店または Danfoss のサービス部門にお問い合わせください。
1299	スロット A の オプション SW が古すぎます
1300	スロット B の オプション SW が古すぎます
1302	スロット C1 の オプション SW が古すぎます
1315	スロット A の オプション SW はサポートされていません (使用が許されていません)

No.	テキスト
1316	スロット B の オプション SW はサポートされていません（使用が許されていません）
1318	スロット C1 の オプション SW はサポートされていません（使用が許されていません）
1379-2819	内部不具合。 Danfoss 代理店または Danfoss サービス部門にお問い合わせください。
2820	LCP スタック・オーバーフロー
2821	シリアル・ポート・オーバーフロー
2822	USB ポート・オーバーフロー
3072-5122	パラメーター値がその限度外です
5123	スロット A のオプション: コントロール・ボードのハードウェアと互換性のないハードウェア
5124	スロット B のオプション: コントロール・ボードのハードウェアと互換性のないハードウェア
5125	スロット C0 のオプション: コントロール・ボードのハードウェアと互換性のないハードウェア
5126	スロット C1 のオプション: コントロール・ボードのハードウェアと互換性のないハードウェア
5376-6231	内部不具合。 Danfoss 代理店または Danfoss サービス部門にお問い合わせください。

ALARM 39, ヒートシンクセンサ

ヒートシンク温度センサーから何らのフィードバックもありません。

IGBT サーマルセンサーからのシグナルは、電力カード上で利用できません。問題は、電力カード上、ゲートドライブカード、あるいは、電力カードとゲートドライブカード間のリボンケーブルの可能性にあります。

WARNING 40, デジタル出力端末 27 の過負荷

端末 27 に接続されている負荷を確認するか、短絡接続を取り除いてください。チェック 5-00 デジタル I / O モード および 5-01 端末 27 モード。

WARNING 41, デジタル出力端末 29 の過負荷

端末 29 に接続されている負荷を確認するか、短絡接続を取り除いてください。チェック 5-00 デジタル I / O モード および 5-02 端末 29 モード。

WARNING 42, X30/6 におけるデジタル出力の過負荷、または X30/7 におけるデジタル出力の過負荷

X30/6 については、X30/6 に接続されている負荷を確認するか、短絡接続を取り除いてください。チェック 5-32 端末 X30/6 デジ出(MCB 101)を確認します。

X30/7 については、X30/7 に接続されている負荷を確認するか、短絡接続を取り除いてください。チェック 5-33 端末 X30/7 デジ出(MCB 101)を確認します。

ALARM 43, 外部供給

MCB 113 外部 リレーオプションは、外部 24V DC なしで取り付けます。外部 24V DC 電源に接続するか、または 14-80 Option Supplied by External 24VDC [0] から外部電源は使用していないことを確認します。14-80 Option Supplied by External 24VDC の変更には、電源サイクルが必要でです。

ALARM 45, アース不具合 2

スタートアップ時の地絡。

トラブルシューティング

接地が適切か、接続が緩んでないか確認します。
ワイヤサイズが適切か確認します。

短絡または漏洩電流が生じていないかモーター・ケーブルを確認します。

ALARM 46, 電力カードの供給

電力カードの供給が、レンジ外です。

電力カード上のスイッチモード電力供給 (SMPS) によって生成される電力供給には 3 つあります: 24 V、5V、+/- 18V。24 V、5 V、+/- 18 V。MCB 107 オプションを伴う 24 VDC によって電力が供給されたとき、24 V および 5 V の電源のみが監視されます。3 つの相による電源により供給されたとき、すべての 3 つの供給が監視されます。

トラブルシューティング

電力カードの不良を確認します。

コントロールカードの不良を確認します。

オプションカードの不良を確認します。

24 VDC 電源供給が使用されている場合、適切な電源供給が行われているか確認します。

WARNING 47, 24V 電源低

24 V DC がコントロール・カード上で測定されます。外部 24V DC バックアップ電源が過負荷である可能性があります。過負荷でない場合は、Danfoss 代理店にお問い合わせ下さい。

WARNING 48, 1.8V 電源低

コントロール・カード上で使用される 1.8V DC 電流は、許容可能な制限外にあります。電力供給は、コントロール・カード上で測定されます。コントロールカードの不良を確認します。オプションカードが存在する場合、過電圧状態を確認します。

WARNING 49, 速度制限

速度が、4-11 モーター速度下限 [RPM] および 4-13 モーター速度上限 [RPM] で指定された範囲内がないとき、周波数変換器は警報を表示します。速度が、1-86 トリップ速度ロー [RPM] における指定制限を下回る時（開始または停止の場合を除く）、周波数変換器がトリップします。

警報 50, AMA 較正失敗

Danfoss 代理店または Danfoss サービス部門にお問い合わせください。

警報 51, AMA 確認 U_{nom} および I_{nom}

モーター電圧、モーター電流、およびモーター電力の設定が不正です。パラメーター 1-20 から 1-25 の設定を確認します。

警報 52, AMA low I_{nom}

モーター電流が低すぎます。4-18 電流制限の設定を確認します。

警報 53, AMA モーター過大

モーターは AMA を動作させるには大きすぎます。

警報 54, AMA モーター過小

AMA を実行するには、モーターが小さすぎます。

警報 55, AMA パラメーター範囲外

モーターのパラメーター値は、許容範囲の外にあります。AMA は動作しません。

警報 56, AMA がユーザーによって中断

AMA がユーザーによって中断されました。

警報 57, AMA タイムアウト

AMA の再起動を再度試みます。再起動を繰り返すとモーターが加熱する場合があります。

警報 58, AMA 内部不具合

Danfoss の代理店にお問い合わせ下さい。

WARNING 59, 電流制限

電流が 4-18 電流制限の値を上回っています。パラメーター 1-20 から 1-25 におけるモーターデータは正しく設定されていることを確認します。電流制限を増加させる可能性があります。システムがより高いリミットにおいて安全に動作可能か確認します。

ALARM 60, 外部インターロック

デジタル入力信号が、周波数変換器の外部における不具合状態を示しています。外部インターロックが周波数変換器にトリップの指示を出しました。外部不具合状態をクリアにします。通常動作を再開するには 24V DC を外部インターロックにプログラムされた端子に適用します。周波数変換器をリセットします。

警告/警報 61, フィードバックエラー

計算された速度とフィードバックデバイスからの測定速度間のエラー。この機能、警告/アラーム/停止の設定は、4-30 モーター・フィードバック損失機能です。承認されたエラー設定は 4-31 モーター FB 速度エラー、エラー発生が容認された時間の設定は 4-32 モーター FB 損失タイムアウトです。コミッシュニング手続き中、機能は有効である可能性があります。

WARNING 62, 上限時の出力周波数

出力周波数が 4-19 最高出力周波数で設定された値に達しました。原因を判断するため、アプリケーションを確認します。場合によって出力周波数リミットを増加させます。システムがより高い出力周波数においても安全に動作するようにします。出力がリミット以下に減少したとき、警告はクリアになります。

警報 63, 機械的ブレーキ低

実際のモーター電流が「スタート遅延」時間中に「ブレーキ解除」電流値を超えませんでした。

警告 / 警報 65, コントロール・カード過温度

コントロールカードの切断温度は 80° C です。

トラブルシューティング

周囲動作温度が制限内であることを確認してください。

フィルターの詰まりを確認します。

ファンの動作を確認します。

コントロール・カードを確認します。

WARNING 66, ヒートシンク温度低

周波数変換器が定温すぎるため作動しません。この警告は、IGBT モジュールにおける温度センサーを基本としています。ユニット周囲温度を上昇させます。さらに、2-00 直流保留 / 予加熱電流を 5% および 1-80 停止時の機能に設定することで、モーターが停止するたびに少量の電流が周波数変換器に供給されます。

ALARM 67, オプション モジュール 構成が変更されました

最後の電源切断後に 1 つあるいはそれ以上のオプションが追加または取り外されました。構成の変更が意図的なもので、周波数変換器をリセットしたことを確認してください。

ALARM 68, 安全停止 Act

端末 37 上の 24 V DC の信号損失が周波数変換器のトリップを発生させました。通常動作を再開するには 24V DC を端末 37 に供給し、周波数変換器をリセットしてください。

ALARM 69, 電源カード温度電源カード温度

電力カード上の温度センサーは、温度が高すぎるか、低すぎます。

トラブルシューティング

周囲動作温度が制限内であることを確認してください。

フィルターの詰まりを確認します。

ファンの動作を確認します。

電力カードを確認します。

警報 70, 不正な FC 構成

コントロール・カードと電力カードに互換性がありません。ネームプレート上のユニット・タイプコードと、カードのパーツ番号を代理店に伝えて、互換性を確認してください。

警報 71, PTC 1 安全停止

安全停止を、MCB 112 PTC サーミスター・カードから起動させます。(モーター加熱) 通常の動作は、MCB 112 が T-37 に 24 V の直流を印加した時と(モーターの温度が許容レベルに到達した時)、と MCB 112 からのデジタル入力を無効にした時に再開されます。これが起こると、バス、デジタル I/O を介して、あるいは [RESET] (再設定) を押すことで、再設定信号が送信されます。

警報 72, 危険な異常

トリップ・ロックによる安全停止。危険な異常の警報は、安全停止コマンドの組み合わせが予期されていない場合に出されます。これは、MCB 112VLT PTC サーミスター・カードが X44/10 を起動させる一方で、安全装置が何らかの理由で起動しない場合です。さらに、MCB 112 が、安全装置を使用する唯一のデバイスである場合は (5-19 Terminal 37 Safe Stop) において [4] または [5] の選択によって指定されます)、X44/10 を起動しない状態での安全措置の起動が、予期されない組み合わせになります。以下の表が、警報 72 を導く予期しない組み合わせをまとめたものです。選択 2 または 3 において X44/10 が起動した場合は、この信号が無視されることに

注意してください！ しかしながら、MCB 112 は安全停止を起動させることも可能です。

警告 73、安全停止自動リスタート

安全停止 自動再スタートが有効であるとき、モーターは不具合が解消されるとスタートします。

警報 74、PTC サーミスター

ATEX オプションに関連した警報。 PTC が作動していません。

警報 75、PTC

パラメーター値は、モーター運転中は調整できません。 MCO プロファイルを例として、8-10 コント Mss 文タイププロブに記入する前に、モーターを停止します。

警告 76、電力ユニット設定

電力ユニットの要求された数が、アクティブな電力ユニットの検知数と一致しません。

トラブルシューティング：

F-フレーム・モジュールを交換するとき、モジュール電力カードにおける電力特定データが残りの周波数変換器と一致しないときに、これが発生します。 交換部品と、電力カードの部品番号が正しいことを確認してください。

77 WARNING, 低電力モード

この警告は、周波数変換器が低電力モードで動作していることを示します（つまり、許容されたインバーターセクション数を下回る数）。 この警告は、周波数変換器が少ない数のインバーターと動作するように設定され、それが継続するときに、電力サイクル上で生成されます。

警報 78、追跡エラー

設定値と実際の値の偏差が、4-35 追跡エラーで設定されている値を超えています。 4-34 追跡エラー機能で機能を無効にするか、4-34 追跡エラー機能で警報/警告を選択します。 負荷とモーター周辺の機構を調査し、モーター・エンコーダー・周波数変換器間のフィードバック接続を確認します。 4-30 モーター・フィードバック損失機能においてモーター・フィードバック機能を選択します。 4-35 追跡エラー および 4-37 追跡エラーランピングにおいてトラッキング・エラーバンドを調整します。

ALARM 79、違法電力セクション構成

スケーリングカードが不正なパーツ数、あるいは取り付けられていません。 また、電力カード上の MK102 コネクタの取り付けがされていません。

警報 80、ドライブ をデフォルト値に初期化

パラメーターは、手動リセット後、デフォルト値に初期化されます。 警報をクリアするため、ユニットをリセットします。

警報 81、CSIV コラプト

CSIV ファイルにシンタックスエラーがあります。

警報 82、CSIV パラメーターエラー

CSIV がパラメーターの開始に失敗。

警報 83、違法オプション組合せ

取り付けられたオプションは、共有動作するようにサポートされていません。

警報 84、安全オプションなし

安全オプションは、一般リセットを適用しないで、削除されました。 安全オプションを再接続します。

警報 88、オプション検知

オプションレイアウトの変更が検知されました。 14-89 Option Detection が [0] 停止構成に設定され、オプションレイアウトが何らかの理由によって変更された場合に、この警報が発生します。 変更が受け入れられる前に、14-89 Option Detection においてオプションレイアウトが有効化される必要があります。 構成の変更が受け入れられなかった場合、オプション構成が再設定/修正されたときに警報 88（トリップロック）をリセットすることのみ可能です。

警告 89、機械ブレーキスライド

ホストブレーキモニタは、モーター速度 > 10rpm を検出しました。

警報 90、フィードバックモニター

エンコーダー・オプションへの接続を確認し、最後には MCB 102 または MCB 103 を取替えます。

警報 91、アナログ入力 54 の設定誤り

KTY センサーがアナログ入力端末 54 に接続されている場合には、スイッチ S202 を OFF 位置（電圧入力）に設定する必要があります。

ALARM 92、フローなし

フロー不存在の状態がシステム内で検知されました。 22-23 無流量機能が警報に設定されました。 不具合が修正された後で、システムのトラブルシューティングを行い、周波数変換器をリセットします。

ALARM 93、ドライ・ポンプ

システムにおけるフロー不存在状態で、周波数変換器が高速で動作しているときは、ドライ・ポンプを示す場合があります。 22-26 ドライ・ポンプ機能が警報に設定されます。 不具合が修正された後で、システムのトラブルシューティングを行い、周波数変換器をリセットします。

ALARM 94、カーブ終点

フィードバックが設定値を下回っています。 これはシステムの漏洩を示す可能性があります。 22-50 カーブ終点機能が警報に設定されます。 不具合が修正された後で、システムのトラブルシューティングを行い、周波数変換器をリセットします。

ALARM 95、破損ベルト

トルクが、破損ベルトを示す負荷なしに設定されたトルクレベル以下です。 22-60 破損ベルト機能が警報に設定されます。 不具合が修正された後で、システムのトラブルシューティングを行い、周波数変換器をリセットします。

ALARM 96、スタート遅延

モーターのスタートが、ショートサイクル保護のため遅延しています。 22-76 スタート間の間隔が有効です。 不具合が修正された後で、システムのトラブルシューティングを行い、周波数変換器をリセットします。

WARNING 97, 停止遅延

モーターの停止が、ショートサーキット保護のため遅延しています。22-76 スタート間の間隔が有効です。不具合が修正された後で、システムのトラブルシューティングを行い周波数変換器をリセットします。

WARNING 98, クロック不具合

時間が設定されていないか、RTC に不具合があります。0-70 日時にクロックをリセットします。

警告 163, ATEX ETR cur.lim.warning

ATEX ETR 定格電流の警告制限値になりました。警告は、許容熱過剰負荷の 83% で有効になり、65% で無効になります。

警報 164, ATEX ETR cur.lim.alarm

ATEX ETR 許可の熱過剰負荷が超過しています。

警告 165, ATEX ETR freq.lim.warning

周波数変換器が、50 秒以上、許容最小周波数で動作しています (1-98 ATEX ETR interpol. points freq. [0])。

警報 166, ATEX ETR freq.lim.alarm

周波数変換器が、60 秒以上 (600 秒の間に) 許容最小周波数で動作しました (1-98 ATEX ETR interpol. points freq. [0])。

警報 243, ブレーキ IGBT

この警報は、F フレームドライブのみです。警報 27 に相当します。警報ログにおける報告値は、どの電力モジュールが警報を生成したかを示します：

ALARM 244, ヒートシンク温度

この警報は、F Frame 周波数変換器のみです。警報 29 に相当します。警報ログにおける報告値は、どの電力モジュールが警報を生成したかを示します：

ALARM 245, ヒートシンクセンサ

この警報は、F フレーム周波数変換器のみです。警報 39 に相当します。警報ログにおける報告値は、どの電力モジュールが警報を生成したかを示します：

1 = 最も左のインバーターモジュール。

F2 または F4 周波数変換器における中間のインバーターモジュール。

F1 または F3 周波数変換器 e における右のインバーターモジュール。

F2 または F4 周波数変換器における右のインバーターモジュール。

5 = 整流器モジュール

ALARM 246, 電力カードの供給

この警報は、F フレーム 周波数変換器のみです。警報 46 に相当します。警報ログにおける報告値は、どの電力モジュールが警報を生成したかを示します：

1 = 最も左のインバーターモジュール。

F2 または F4 周波数変換器における中間のインバーターモジュール。

F1 または F3 周波数変換器における右のインバーターモジュール。

F2 または F4 周波数変換器における右のインバーターモジュール。

5 = 整流器モジュール

ALARM 69, 電源カード温度電源カード温度

この警報は、F フレーム 周波数変換器のみです。警報 69 に相当します。警報ログにおける報告値は、どの電力モジュールが警報を生成したかを示します：

1 = 最も左のインバーターモジュール。

F2 または F4 周波数変換器における中間のインバーターモジュール。

F1 または F3 周波数変換器における右のインバーターモジュール。

F2 または F4 周波数変換器における右のインバーターモジュール。

5 = 整流器モジュール

ALARM 248, 違法電力セクション構成

この警報は、F Frame 周波数変換器のみです。警報 79 に相当します。警報ログにおける報告値は、どの電力モジュールが警報を生成したかを示します：

1 = 最も左のインバーターモジュール。

F2 または F4 周波数変換器における中間のインバーターモジュール。

F1 または F3 周波数変換器における右のインバーターモジュール。

F2 または F4 周波数変換器における右のインバーターモジュール。

5 = 整流器モジュール

WARNING 249, 整流器低温度

IGBT センサー不良 (高電力ユニットのみ)

WARNING 250, 新規スペア部品

周波数変換器の部品が交換されました。周波数変換器を通常動作にリセットしてください。

WARNING 251, 新しいタイプコード

周波数変換器の部品が交換され、タイプコードが変更されました。周波数変換器を通常動作にリセットしてください。

9 基本的なトラブルシューティング

9.1 スタートアップと動作

警報ログイン 表 4.1 をご覧ください。

症状	考えられる原因	テスト	解決方法
ディスプレイ黒/機能無し	入力電力がない	表 3.1 を参照	入力電源を確認します。
	フューズがないか、切れている、または遮断機がトリップしている。	フューズが切れてないか、遮断機がトリップしていないか、この表で確認します。	推奨事項に従います。
	LCP への電力がありません。	LCP ケーブルが正しく接続されているか、損傷がないか確認します。	不具合のある LCP または接続ケーブルを交換します。
	コントロール電圧(端末 12 または 50)またはコントロール端末におけるショートカット	端末 12/13 から 20-39 への 24V コントロール電圧供給、または端末 50 から 55 の 10V 供給を確認します。	端末を正しく配線します。
	LCP が間違っています (VLT® 2800 または 5000/6000/8000/FCD または FCM の LCP)		LCP 101 (P/N 130B1124) または LCP 102 (P/N. 130B1107) のみを使用します。
	間違ったコントラスト設定		[Status] + 上下矢印を押して、コントラストを調整します。
	ディスプレイ (LCP) に問題がある	異なった LCP を使用して検査します。	不具合のある LCP または接続ケーブルを交換します。
	内部電圧供給の不具合または SMPS に問題がある		サプライヤーに連絡します。
表示が断続的です。	不適切なコントロール配線による過負荷電力供給 (SMPS) または周波数変換器内の不具合	コントロール配線内の問題を解消するには、端末ブロックを外してすべてのコントロール配線を切断します。	ディスプレイにまだ問題があるときは、コントロール配線に問題があります。配線にショートや不適切な接続がないか確認します。ディスプレイが切れたままであるときは、ディスプレイが黒い場合の手順に従ってください。

症状	考えられる原因	テスト	解決方法
モーターが動作しない	サービススイッチが開いているか、モーター接続がない	モーターが接続されており、接続が（サービススイッチまたはその他のデバイスにより）切断されていないことを確認します。	モーターを接続し、サービススイッチを確認します。
	24V DC オプションカードで主電源がない	ディスプレイが機能しているが出力がないときは、主電源が周波数変換器に適用されていることを確認します。	主電源を適用し、ユニットを動作させます。
	LCP 停止	[Off]が押されているか確認します。	[Auto On] または [Hand On]（動作モードによる）を押して、モーターを動作させます。
	スタート信号（スタンバイ）がない	端末 18 が正しく設定されているか 5-10 スタートを確認します（デフォルト設定を使用）。	モーターをスタートさせるため有効なスタート信号を適用します。
	モーター・フリーラン信号アクティブ（フリーラン）	端末 27 の正しい設定については 5-12 フリーラン・インバーターを確認してください（デフォルト設定を使用します）。	端末 27 で 24V を適用するか、この端末を動作無しにプログラムします。
	間違った速度指令信号ソース	速度指令信号を確認します： ローカル、リモート、またはバス速度指令信号？ プリセット速度指令信号が有効ですか？ 端末接続は正しく行われていますか？ 端末のスケーリングは正しく行われていますか？ 最小速度指令信号が有効ですか？	プログラムの正しい設定は 3-13 速度指令信号サイトを確認してください。プリセット速度指令信号をパラメーター・グループ 3-1* 速度指令信号でアクティブに設定します。配線が正しく行われているか確認します。端末のスケーリングを確認します。速度指令信号を確認します。
モーターが間違った方向に回転している	モーター回転制限	4-10 モーター速度方向が正しくプログラムされているか確認します。	正しい設定をプログラムします。
	有効な逆転信号	逆転コマンドがパラメーター・グループ 5-1* デジタル入力において端末にプログラムされているか確認します。	逆転信号を無効にします。
	間違ったモーター相接続		このマニュアルの 3.5 モーター回転チェックを参照してください。
モーターが最高速度に達しない	周波数リミットの設定が間違っている	4-13 モーター速度上限 [RPM]、 4-14 モーター速度上限 [Hz]、 4-19 最大出力周波数における出力リミットを確認します。	正しい制限をプログラムします。
	速度指令入力信号が正しくスケーリングされていない	6-* アナログ I/O モードおよび 3-1* 速度指令信号において速度指令入力信号を確認します。	正しい設定をプログラムします。
モーター速度が不安定	不正なパラメーター設定の可能性	すべてのモーター補償設定を含め、全モーターパラメーターの設定を確認します。閉ループ動作は、PID 設定を確認します。	パラメーター・グループ 1-6* アナログ IO モードにおける設定を確認します。閉ループ動作についてはパラメーターグループ 20-0* フィードバックにおける設定を確認します。
モーター動作が雑である	過剰な磁化の可能性	すべてのモーターパラメーターにおいて間違ったモーター設定がないか確認します。	パラメーター・グループ 1-2* モーターデータ、1-3* 高度モーターデータ、1-5* 負荷独立設定における設定を確認します。

症状	考えられる原因	テスト	解決方法
モーターにブレーキがきかない	ブレーキパラメーターにおける設定が間違っている可能性があります。ランプダウン時間が短すぎる可能性があります。	ブレーキ・パラメーターを確認します。ランプ時間設定を確認します。	パラメーター・グループ 2-0* 直流ブレーキおよび 3-0* 速度指令信号リミットを確認します。
電力フェーズが切れるか遮断器がトリップする	相間が短絡	モーターまたはパネルの相間が短絡します。モーターとパネルの相間が短絡していないか確認します。	検出された短絡を全て解消します。
	モーター過負荷	アプリケーションに対してモーターが過負荷状態になっています。	スタートアップ検査を実施して、モーター電流が仕様の範囲に入っているかを確認します。モーター電流が名板の全負荷電流を超えている場合、モーターは負荷を減少させない限り動作しない場合があります。アプリケーションの仕様を確認してください。
	接続が緩んでいる	事前スタートアップ・チェックを実施し、接続の緩みをチェックします。	緩んでいる接続を締めなおします。
主電源電流アンバランスが3%以上	主電源の問題（警報4主電源相損失の説明を参照してください）	入力電力リード線をドライブの別の位置へ移動：A から B、B から C、C から A。	アンバランスなレグがワイヤによる場合、電力に問題があります。主電源を確認します。
	周波数変換器ユニットの問題点	入力電力リード線を周波数変換器の1つの位置へ移動：A から B、B から C、C から A。	アンバランス・レグが同じ入力端子に発生する場合、ユニットに問題があります。サプライヤーに連絡します。
モーター電流アンバランスが3%以上	モーターまたはモーター配線の問題	出力モーターリード線の位置を移動：U から V、V から W、W から U。	アンバランスなレグがワイヤによる場合、モーターまたはモーター配線に問題があります。モーターおよびモーター配線を確認します。
	ドライブユニットの問題	出力モーターリード線の位置を移動：U から V、V から W、W から U。	アンバランス・レグが同じ出力端子に発生する場合、ユニットに問題があります。サプライヤーに連絡します。

10 仕様

10.1 電力依存 仕様

主電源 3 x 200 ~ 240V AC										
FC 301/FC 302		PK25	PK37	PK55	PK75	P1K1	P1K5	P2K2	P3K0	P3K7
	代表シャフト出力 [kW]	0.25	0.37	0.55	0.75	1.1	1.5	2.2	3	3.7
	エンクロージャー IP20/IP21	A2	A2	A2	A2	A2	A2	A2	A3	A3
	エンクロージャー IP 20 (FC 301のみ)	A1	A1	A1	A1	A1	A1	-	-	-
	エンクロージャー IP55, 66	A4/A5	A4/A5	A4/A5	A4/A5	A4/A5	A4/A5	A4/A5	A5	A5
出力電流										
	定常 (3 x 200-240V) [A]	1.8	2.4	3.5	4.6	6.6	7.5	10.6	12.5	16.7
	断続 (3 x 200-240V) [A]	2.9	3.8	5.6	7.4	10.6	12.0	17.0	20.0	26.7
	定常 kVA (208 V AC) [kVA]	0.65	0.86	1.26	1.66	2.38	2.70	3.82	4.50	6.00
最大入力電流										
	定常 (3 x 200-240V) [A]	1.6	2.2	3.2	4.1	5.9	6.8	9.5	11.3	15.0
	断続 (3 x 200-240V) [A]	2.6	3.5	5.1	6.6	9.4	10.9	15.2	18.1	24.0
追加仕様										
	最大ケーブル・サイズ (主電源、モーター、ブレーキ) [AWG] [mm ² (AWG ²)]	0.2 - 4 (24 - 10)								
	定格最大負荷における 推定電力損失 [W] ⁴⁾	21	29	42	54	63	82	116	155	185
	重量、エンクロージャー IP20 [kg]	4.7	4.7	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9	6.6	6.6
	A1 (IP20)	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	-	-	-
	A5 (IP55, 66)	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5
	効率 ⁴⁾	0.94	0.94	0.95	0.95	0.96	0.96	0.96	0.96	0.96

0.25 ~ 3.7 kW 160% 高過負荷としてのみ使用可能。

主電源 3 x 200 - 240V AC								
FC 301/FC 302		P5K5		P7K5		P11K		
高 / 通常負荷 ¹⁾		HO	NO	HO	NO	HO	NO	
	代表シャフト出力 [kW]	5.5	7.5	7.5	11	11	15	
	エンクロージャー IP20	B3		B3		B4		
	エンクロージャー IP21	B1		B1		B2		
	エンクロージャー IP55, 66	B1		B1		B2		
出力電流								
	定常 (3 x 200~240 V) [A]	24.2	30.8	30.8	46.2	46.2	59.4	
	断続 (60 秒過負荷) (3 x 200-240V) [A]	38.7	33.9	49.3	50.8	73.9	65.3	
	定常 kVA (208 V AC) [kVA]	8.7	11.1	11.1	16.6	16.6	21.4	
最大入力電流								
	定常 (3 x 200-240V) [A]	22	28	28	42	42	54	
	断続 (60 秒過負荷) (3 x 200-240V) [A]	35.2	30.8	44.8	46.2	67.2	59.4	
追加仕様								
	最大ケーブル・サイズ [mm ² (AWG)] ²⁾	16 (6)		16 (6)		35 (2)		
	主電源を外した最大ケーブル・サイズ	16 (6)						
	定格最大負荷における 推定電力損失 [W] ⁴⁾	239	310	371	514	463	602	
	重量、 エンクロージャー IP21、IP55、66 [kg]	23			23		27	
	効率 ⁴⁾	0.964		0.959		0.964		

主電源 3 x 200 - 240V AC											
FC 301/FC 302		P15K		P18K		P22K		P30K		P37K	
高 / 通常負荷 ¹⁾		H0	N0	H0	N0	H0	N0	H0	N0	H0	N0
代表シャフト出力 [kW]		15	18.5	18.5	22	22	30	30	37	37	45
エンクロージャ IP20		B4		C3		C3		C4		C4	
エンクロージャ IP21		C1		C1		C1		C1		C1	
エンクロージャ IP55、66		C1		C1		C1		C2		C2	
出力電流											
定常 (3 x 200~240 V) [A]		59.4	74.8	74.8	88	88	115	115	143	143	170
断続 (60 秒過負荷) (3 x 200-240V) [A]		89.1	82.3	112	96.8	132	127	173	157	215	187
定常 kVA (208 V AC) [kVA]		21.4	26.9	26.9	31.7	31.7	41.4	41.4	51.5	51.5	61.2
最大入力電流											
定常 (3 x 200~240 V) [A]		54	68	68	80	80	104	104	130	130	154
断続 (60 秒過負荷) (3 x 200-240V) [A]		81	74.8	102	88	120	114	156	143	195	169
追加仕様											
最高 最大ケーブル・サイズ IP20 [mm ² (AWG)] ²⁾		35 (2)		90 (3/0)		90 (3/0)		120 (4/0)		120 (4/0)	
最高 最大ケーブル・サイズ ズ、IP21/55/66 [mm ² (AWG)] ²⁾		90 (3/0)		90 (3/0)		90 (3/0)		120 (4/0)		120 (4/0)	
主電源を外した最大ケーブル・サイズ [mm ² (AWG)] ²⁾		35 (2)						70 (3/0)		150 (MCM 300)	
定格最大負荷における 推定電力損失 [W] ⁴⁾		624	737	740	845	874	1140	1143	1353	1400	1636
重量、 エンクロージャ IP21、 IP 55、66 [kg]		45		45		45		65		65	
効率 ⁴⁾		0.96		0.97		0.97		0.97		0.97	

主電源 3 x 380 - 500V AC (FC 302)、3 x 380 - 480V AC (FC 301)										
	PK 37	PK 55	PK75	P1K1	P1K5	P2K2	P3K0	P4K0	P5K5	P7K5
FC 301/FC 302 代表的シャフト出力 [kW]	0.37	0.55	0.75	1.1	1.5	2.2	3	4	5.5	7.5
エンクロージャ IP20/IP21	A2	A2	A2	A2	A2	A2	A2	A2	A3	A3
エンクロージャ IP20 (FC 301 のみ)	A1	A1	A1	A1	A1					
エンクロージャ IP55, 66	A4/A5	A4/A5	A4/A5	A4/A5	A4/A5	A4/A5	A4/A5	A4/A5	A5	A5
出力電流										
高過負荷 160%で1 分間										
シャフト出力 [kW]	0.37	0.55	0.75	1.1	1.5	2.2	3	4	5.5	7.5
定常 (3 x 380-440 V) [A]	1.3	1.8	2.4	3	4.1	5.6	7.2	10	13	16
断続 (3 x 380-440 V) [A]	2.1	2.9	3.8	4.8	6.6	9.0	11.5	16	20.8	25.6
定常 (3 x 441-500 V) [A]	1.2	1.6	2.1	2.7	3.4	4.8	6.3	8.2	11	14.5
断続 (3 x 441-500V) [A]	1.9	2.6	3.4	4.3	5.4	7.7	10.1	13.1	17.6	23.2
定常 kVA(400V AC) [kVA]	0.9	1.3	1.7	2.1	2.8	3.9	5.0	6.9	9.0	11.0
定常 kVA(460V AC) [kVA]	0.9	1.3	1.7	2.4	2.7	3.8	5.0	6.5	8.8	11.6
最大入力電流										
定常 (3 x 380-440 V) [A]	1.2	1.6	2.2	2.7	3.7	5.0	6.5	9.0	11.7	14.4
断続 (3 x 380-440 V) [A]	1.9	2.6	3.5	4.3	5.9	8.0	10.4	14.4	18.7	23.0
定常 (3 x 441-500V) [A]	1.0	1.4	1.9	2.7	3.1	4.3	5.7	7.4	9.9	13.0
断続 (3 x 441-500V) [A]	1.6	2.2	3.0	4.3	5.0	6.9	9.1	11.8	15.8	20.8
追加仕様										
最大ケーブル・サイズ (主電源、モーター、ブレーキ) [AWG] ²⁾ [mm ²]	24 - 10 AWG 0.2 - 4mm ²						24 - 10 AWG 0.2 - 4mm ²			
定格最大負荷における 推定電力損失 [W] ⁴⁾	35	42	46	58	62	88	116	124	187	255
重量、 エンクロージャ IP20	4.7	4.7	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9	4.9	6.6	6.6
エンクロージャ IP55, 66	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	14.2	14.2
効率 ⁴⁾	0.93	0.95	0.96	0.96	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97
0.37 - 7.5 kW 160% 高過負荷としてのみ使用可能										

主電源 3 x 380 - 500V AC (FC 302), 3 x 380 ~ 480V AC (FC 301)									
FC 301/FC 302		P11K		P15K		P18K		P22K	
高 / 通常負荷 ¹⁾		HO	NO	HO	NO	HO	NO	HO	NO
代表シャフト出力 [kW]		11	15	15	18.5	18.5	22.0	22.0	30.0
エンクロージャ IP20		B3		B3		B4		B4	
エンクロージャ IP21		B1		B1		B2		B2	
エンクロージャ IP55、66		B1		B1		B2		B2	
出力電流									
定常 (3 x 380-440 V) [A]		24	32	32	37.5	37.5	44	44	61
断続 (60 秒過負荷) (3 x 380-440V) [A]		38.4	35.2	51.2	41.3	60	48.4	70.4	67.1
定常 (3 x 441-500V) [A]		21	27	27	34	34	40	40	52
断続 (60 秒過負荷) (3 x 441-500V) [A]		33.6	29.7	43.2	37.4	54.4	44	64	57.2
定常 kVA (400V AC) [kVA]		16.6	22.2	22.2	26	26	30.5	30.5	42.3
定常 kVA (460V AC) [kVA]			21.5		27.1		31.9		41.4
最大入力電流									
定常 (3 x 380-440 V) [A]		22	29	29	34	34	40	40	55
断続 (60 秒過負荷) (3 x 380-440V) [A]		35.2	31.9	46.4	37.4	54.4	44	64	60.5
定常 (3 x 441-500V) [A]		19	25	25	31	31	36	36	47
断続 (60 秒過負荷) (3 x 441-500V) [A]		30.4	27.5	40	34.1	49.6	39.6	57.6	51.7
追加仕様									
最大ケーブル・サイズ [mm ² / AWG] ²⁾		16/6		16/6		35/2		35/2	
主電源を外した最大ケーブル・ サイズ		16/6							
定格最大負荷における 推定電力損失 [W] ⁴⁾		291	392	379	465	444	525	547	739
重量、エンクロージャ IP20 [kg]		12		12		23.5		23.5	
重量、 エンクロージャユニットサイ ズ IP21、IP55、66 [kg]		23		23		27		27	
効率 ⁴⁾		0.98		0.98		0.98		0.98	

主電源 3 x 380 - 500 V AC (FC 302), 3 x 380~ 480V AC (FC 301)											
FC 301/FC 302		P30K		P37K		P45K		P55K		P75K	
高 / 通常負荷 ¹⁾		HO	NO	HO	NO	HO	NO	HO	NO	HO	NO
代表シャフト出力 [kW]		30	37	37	45	45	55	55	75	75	90
エンクロージャー IP20		B4		C3		C3		C4		C4	
エンクロージャー IP21		C1		C1		C1		C2		C2	
エンクロージャー IP55, 66		C1		C1		C1		C2		C2	
出力電流											
定常 (3 x 380-440 V) [A]		61	73	73	90	90	106	106	147	147	177
断続 (60 秒過負荷) (3 x 380-440V) [A]		91.5	80.3	110	99	135	117	159	162	221	195
定常 (3 x 441-500V) [A]		52	65	65	80	80	105	105	130	130	160
断続 (60 秒過負荷) (3 x 441-500V) [A]		78	71.5	97.5	88	120	116	158	143	195	176
定常 kVA (400V AC) [kVA]		42.3	50.6	50.6	62.4	62.4	73.4	73.4	102	102	123
定常 kVA (460V AC) [kVA]			51.8		63.7		83.7		104		128
最大入力電流											
定常 (3 x 380-440 V) [A]		55	66	66	82	82	96	96	133	133	161
断続 (60 秒過負荷) (3 x 380-440V) [A]		82.5	72.6	99	90.2	123	106	144	146	200	177
定常 (3 x 441-500V) [A]		47	59	59	73	73	95	95	118	118	145
断続 (60 秒過負荷) (3 x 441-500V) [A]		70.5	64.9	88.5	80.3	110	105	143	130	177	160
追加仕様											
最高 最大ケーブル・サイズ IP 20、主電源およびモーター [mm ² (AWG ²⁾]		35 (2)		50 (1)		50 (1)		95 (4/0)		150 (300mcm)	
最高 最大ケーブル・サイズ IP20、ロードシェア、ブレーキ [mm ² (AWG ²⁾]		35 (2)		50 (1)		50 (1)		95 (4/0)		95 (4/0)	
最大ケーブル・サイズ、IP 21/55/66 [mm ² (AWG ²⁾]		90 (3/0)		90 (3/0)		90 (3/0)		120 (4/0)		120 (4/0)	
主電源切断した最大ケーブル・サイズ [mm ² (AWG ²⁾]		35 (2)						70 (3/0)		150 (300mcm)	
定格最大負荷における推定電力損失 [W] ⁴⁾		570	698	697	843	891	1083	1022	1384	1232	1474
重量、エンクロージャー IP21、IP55、66 [kg]		45		45		45		65		65	
効率 ⁴⁾		0.98		0.98		0.98		0.98		0.99	

主電源 3 x 525 ~ 600V AC (FC 302 のみ)									
FC 302									
	代表的シャフト出力 [kW]	PK75	P1K1	P1K5	P2K2	P3K0	P4K0	P5K5	P7K5
	エンクロージャ IP20, 21	A3	A3	A3	A3	A3	A3	A3	A3
	エンクロージャ IP55	A5	A5	A5	A5	A5	A5	A5	A5
出力電流									
	定常 (3 x 525-550 V) [A]	1.8	2.6	2.9	4.1	5.2	6.4	9.5	11.5
	断続 (3 x 525-550V) [A]	2.9	4.2	4.6	6.6	8.3	10.2	15.2	18.4
	定常 (3 x 551-600V) [A]	1.7	2.4	2.7	3.9	4.9	6.1	9.0	11.0
	断続 (3 x 551-600V) [A]	2.7	3.8	4.3	6.2	7.8	9.8	14.4	17.6
	定常 kVA (525 V AC) [kVA]	1.7	2.5	2.8	3.9	5.0	6.1	9.0	11.0
	定常 kVA (575 V AC) [kVA]	1.7	2.4	2.7	3.9	4.9	6.1	9.0	11.0
最大入力電流									
	定常 (3 x 525-600V) [A]	1.7	2.4	2.7	4.1	5.2	5.8	8.6	10.4
	断続 (3 x 525-600V) [A]	2.7	3.8	4.3	6.6	8.3	9.3	13.8	16.6
追加仕様									
	最大ケーブル・サイズ (主電源、モーター、ブレーキ) [AWG] ²⁾ [mm ²]	24 - 10 AWG 0.2 - 4 mm ²				24 - 10 AWG 0.2 - 4 mm ²			
	最大負荷における推定電力損失 [W] ⁴⁾	35	50	65	92	122	145	195	261
	重量、 エンクロージャ IP20 [kg]	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.6	6.6
	重量、 エンクロージャ IP55 [kg]	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	14.2	14.2
	効率 ⁴⁾	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97

主電源 3 x 525 ~ 600V AC											
FC 302		P11K		P15K		P18K		P22K		P30K	
高 / 通常負荷 ¹⁾		H0	NO	H0	NO	H0	NO	H0	NO	H0	NO
代表シャフト出力 [kW]		11	15	15	18.5	18.5	22	22	30	30	37
	エンクロージャ IP21, 55、66	B1		B1		B2		B2		C1	
	エンクロージャ IP20	B3		B3		B4		B4		B4	
出力電流											
	定常 (3 x 525-550 V) [A]	19	23	23	28	28	36	36	43	43	54
	断続 (3 x 525-550V) [A]	30	25	37	31	45	40	58	47	65	59
	定常 (3 x 525-600V) [A]	18	22	22	27	27	34	34	41	41	52
	断続 (3 x 525-600V) [A]	29	24	35	30	43	37	54	45	62	57
	定常 kVA (550 V AC) [kVA]	18.1	21.9	21.9	26.7	26.7	34.3	34.3	41.0	41.0	51.4
	定常 kVA (575 V AC) [kVA]	17.9	21.9	21.9	26.9	26.9	33.9	33.9	40.8	40.8	51.8
最大入力電流											
	定常 550V 時 [A]	17.2	20.9	20.9	25.4	25.4	32.7	32.7	39	39	49
	断続 550V 時 [A]	28	23	33	28	41	36	52	43	59	54
	定常 575V 時 [A]	16	20	20	24	24	31	31	37	37	47
	断続 575 V 時 [A]	26	22	32	27	39	34	50	41	56	52
追加仕様											
	最高 最大ケーブル・サイズ IP20 (主電源、モーター、ロードシ ェア、ブレーキ) [mm ² (AWG ²⁾]	16 (6)				35 (2)					
	最高 最大ケーブル・サイズ IP21、55、66 (主電源、モーター、ロードシ ェア、ブレーキ) [mm ² (AWG ²⁾]	16 (6)				35 (2)				90 (3/0)	
	主電源切断した最大ケーブ ル・サイズ [mm ² (AWG ²⁾]	16 (6)								35 (2)	
	最大負荷における推定電力損 失 [W] ⁴⁾		225		285		329		700		700
	重量、 エンクロージャ IP21, [kg]	23		23		27		27		27	
	重量、 エンクロージャ IP20 [kg]	12		12		23.5		23.5		23.5	
	効率 ⁴⁾	0.98		0.98		0.98		0.98		0.98	

主電源 3 x 525 ~ 600V AC									
FC 302		P37K		P45K		P55K		P75K	
高 / 通常負荷*		H0	N0	H0	N0	H0	N0	H0	N0
	代表シャフト出力 [kW]	37	45	45	55	55	75	75	90
	エンクロージャー IP21, 55, 66	C1	C1	C1		C2		C2	
	エンクロージャー IP20	C3	C3	C3		C4		C4	
出力電流									
	定常 (3 x 525-550 V) [A]	54	65	65	87	87	105	105	137
	断続 (3 x 525-550 V) [A]	81	72	98	96	131	116	158	151
	定常 (3 x 525-600 V) [A]	52	62	62	83	83	100	100	131
	断続 (3 x 525-600 V) [A]	78	68	93	91	125	110	150	144
	定常 kVA (550 V AC) [kVA]	51.4	61.9	61.9	82.9	82.9	100.0	100.0	130.5
	定常 kVA (575 V AC) [kVA]	51.8	61.7	61.7	82.7	82.7	99.6	99.6	130.5
最大入力電流									
	定常 at 550V [A]	49	59	59	78.9	78.9	95.3	95.3	124.3
	断続 550V 時 [A]	74	65	89	87	118	105	143	137
	定常 575V 時 [A]	47	56	56	75	75	91	91	119
	断続 575V 時 [A]	70	62	85	83	113	100	137	131
追加仕様									
	最高 最大ケーブル・サイズ、IP 20 (主電源、モーター) [mm ²]/[AWG] 2)	50 (1)			95 (4/0)		150 (300mcm)		
	最大ケーブル・サイズ IP20 (モーター、ブレーキ) [AWG] 2) [mm ²]	50 (1)			95 (4/0)				
	最高 最大ケーブル・サイズ IP21、 55、66 (主電源、モーター、ロードシェ ア、ブレーキ) [mm ² (AWG ²⁾]	90 (3/0)			120 (4/0)				
	主電源を外した最大ケーブル・サ イズ	35 (2)			70 (3/0)		150 (300mcm)		
	定格最大負荷における 推定電力損失 [W] 4)		850		1100		1400		1500
	重量、 エンクロージャー IP20 [kg]	35		35		50		50	
	重量、 エンクロージャー IP21, 55 [kg]	45		45		65		65	
	効率 4)	0.98		0.98		0.98		0.98	

主電源 3 x 525- 690V AC									
FC 302		P11K		P15K		P18K		P22K	
高/ 通常負荷 ¹⁾		H0	N0	H0	N0	H0	N0	H0	N0
	550 V [kW]の場合の代表シャフト出力	7.5	11	11	15	15	18.5	18.5	22
	575 Vの場合の [HP]で代表シャフト出力	11	15	15	20	20	25	25	30
	690 V [kW]の場合の代表シャフト出力	11	15	15	18.5	18.5	22	22	30
	エンクロージャー IP21、55	B2		B2		B2		B2	
出力電流									
	定常 (3 x 525-550 V) [A]	14	19	19	23	23	28	28	36
	断続 (60 秒過負荷) (3 x 525-550V) [A]	22.4	20.9	30.4	25.3	36.8	30.8	44.8	39.6
	定常 (3 x 551-690V) [A]	13	18	18	22	22	27	27	34
	断続 (60 秒過負荷) (3 x 551-690V) [A]	20.8	19.8	28.8	24.2	35.2	29.7	43.2	37.4
	定常 KVA (550 V) [KVA]	13.3	18.1	18.1	21.9	21.9	26.7	26.7	34.3
	定常 KVA (575 V) [KVA]	12.9	17.9	17.9	21.9	21.9	26.9	26.9	33.9
	定常 KVA (690 V) [KVA]	15.5	21.5	21.5	26.3	26.3	32.3	32.3	40.6
最大入力電流									
	定常 3 x 525-690V) [A]	15	19.5	19.5	24	24	29	29	36
	断続 (60 秒過負荷) (3 x 525-690V) [A]	23.2	21.5	31.2	26.4	38.4	31.9	46.4	39.6
追加仕様									
	最大ケーブル・サイズ (主電源、モーター、ロードシェア、ブレーキ) [mm ² (AWG)]	35 (1/0)							
	最大負荷における推定電力損失 [W] ⁴⁾	228		285		335		375	
	重量、 エンクロージャー IP21、IP55 [kg]	27							
	効率 ⁴⁾	0.98		0.98		0.98		0.98	

主電源 3 x 525- 690V AC											
FC 302		P30K		P37K		P45K		P55K		P75K	
高/ 通常負荷*		HO	NO	HO	NO	HO	NO	HO	NO	HO	NO
	550 V [kW] の場合の代表シャフト出力	22	30	30	37	37	45	45	55	55	75
	575 V の場合の [HP] で代表シャフト出力	30	40	40	50	50	60	60	75	75	100
	690 V [kW] の場合の代表シャフト出力	30	37	37	45	45	55	55	75	75	90
	エンクロージャー IP21、55	C2		C2		C2		C2		C2	
出力電流											
	定常 (3 x 525-550 V) [A]	36	43	43	54	54	65	65	87	87	105
	断続 (60 秒過負荷) (3 x 525-550V) [A]	54	47.3	64.5	59.4	81	71.5	97.5	95.7	130.5	115.5
	定常 (3 x 551-690V) [A]	34	41	41	52	52	62	62	83	83	100
	断続 (60 秒過負荷) (3 x 551-690V) [A]	51	45.1	61.5	57.2	78	68.2	93	91.3	124.5	110
	定常 KVA (550 V) [KVA]	34.3	41.0	41.0	51.4	51.4	61.9	61.9	82.9	82.9	100.0
	定常 KVA (575 V) [KVA]	33.9	40.8	40.8	51.8	51.8	61.7	61.7	82.7	82.7	99.6
	定常 KVA (690 V) [KVA]	40.6	49.0	49.0	62.1	62.1	74.1	74.1	99.2	99.2	119.5
最大入力電流											
	定常 (550 V) [A]	36	49	49	59	59	71	71	87	87	99
	定常 (575 V) [A]	54	53.9	72	64.9	87	78.1	105	95.7	129	108.9
追加仕様											
	最大ケーブル・サイズ (主電源、モーター、ロードシエア、ブレーキ) [mm ² (AWG)]	95 (4/0)									
	最大負荷における推定電力損失 [W] ⁴⁾	480		592		720		880		1200	
	重量、エンクロージャー IP21、IP 55 [kg]	65									
	効率 ⁴⁾	0.98		0.98		0.98		0.98		0.98	

最大フューズ定格は 10.3.1 フューズ を参照してください。

- 1) 高過剩負荷 = 60 秒間 160% トルク 通常の過剩負荷 = 60 秒間 110% トルク
- 2) アメリカ式ワイヤ規格。
- 3) 定格負荷および定格周波数にて、5 m のシールドされたモーター・ケーブルを使用して測定されます。
- 4) 代表的な電力損失は公称負荷条件におけるものであり、+/-15% 以内と予想されます (電圧とケーブル条件の変化に関する公差)。値は代表モーター効率 (eff2/eff3 境界線) に基づきます。モーターが低効率であれば周波数変換器の電力損失も増大し、その逆も然りです。公称から切り替え周波数が増加した場合、電力損失はデフォルト設定に比較して増加します。LCP および代表コントロールカード電流消費が含まれます。その他のオプションおよび顧客負荷で損失が 30W 増える場合があります。(しかし、全負荷でのコントロール・カードあるいはスロット A またはスロット B それぞれのオプションでの体表値はわずか 4W です)。測定は最新の装置を使用して行っていますが、ある程度の許容差を見込んでおく必要があります (+/-5%)。

10.2 一般技術データ

主電源 (L1、L2、L3):

供給電圧	200-240 V ±10%
供給電圧	FC 301: 380-480 V / FC 302: 380-500 V ±10%
供給電圧	FC 302: 525-600 V ±10%
供給電圧	FC 302: 525-690 V ±10%

主電源電圧低 / 主電源降下

主電源低下または主電源降下の間、FC は、中間回路電圧が最低停止レベルに落ちるまで続行します。それは通常、FC の最低定格供給電圧の 15% 未満となります。起動および最高トルクは、周波数変換器の最低定格供給電圧を 10% 下回る主電源電圧においては期待できません。

供給周波数	50/60 Hz ±5%
主電源相間の一時的最高アンバランス	定格供給電圧の 3.0 %
真の力率 (λ)	≥ 定格負荷において公称 = 0.9
1 に近い変位力率 (cos φ)	単一に近似 (> 0.98)
入力点スイッチング電源 L1、L2、L3 (電源投入) ≤ 7.5 kW	最高 2 回/分
入力点スイッチング電源 L1、L2、L3 (電源投入) = 11-75 kW	最高 1 回/分
入力点スイッチング電源 L1、L2、L3 (電源投入) ≥ 90 kW	最高 1 回/2 分
EN60664-1 に準じた環境	過電圧カテゴリー III/汚染度 2

ユニットは、100,000 RMS 対称アンペア以下を最高 240/500/600/ 690 V で流すことができる回路での使用に適しています。

モーター出力 (U、V、W):

出力電圧	供給電圧の 0 ~ 100%
出力周波数 (0.25-75 kW)	FC 301: 0.2 - 1000Hz / FC 302: 0 - 1000Hz
出力周波数 (90-1000 kW)	0 - 800 ¹⁾ Hz
磁束モードでの出力周波数 (FC 302 のみ)	0 - 300Hz
出力点スイッチング	無制限
ランプ時間	0.01 - 3600sec.

¹⁾ 電圧及び電力依存

トルク特性:

始動トルク (一定トルク)	最高 160% で 60 秒間 ¹⁾
始動トルク	0.5 秒まで最高 180% ¹⁾
過負荷トルク (一定トルク)	最高 160% で 60 秒間 ¹⁾
始動トルク (可変トルク)	最高 110% で 60 秒間 ¹⁾
過負荷 (可変トルク)	最高 110% で 60 秒間

のトルク上昇時間 (fsw とは別)	10 ms
FLUX のトルク上昇時間 (5kHz fsw 用)	1 ms

¹⁾ 割合は、公称トルクに関連しています。

²⁾ トルク応答時間は、アプリケーションおよび負荷によって異なりますが、一般的に、0 から基準に対するトルクステップは、4~5 x トルク上昇時間になります。

デジタル入力:

プログラマブル・デジタル入力	FC 301: 4 (5) ¹⁾ / FC 302: 4 (6) ¹⁾
端末番号	18, 19, 27 ¹⁾ , 29 ¹⁾ , 32, 33,
論理	PNP または NPN
電圧レベル	0 ~ 24V DC
電圧レベル、論理 '0' PNP	< 5 V 直流
電圧レベル、論理 '1' PNP	> 10 V 直流
電圧レベル、論理 '0' NPN2)	> 19 V 直流
電圧レベル、論理 '1' NPN2)	< 14 V 直流
入力の最高電圧	28V 直流
パルス周波数範囲	0 ~ 110kHz
(デューティ・サイクル) 最小パルス幅	4.5ms
入力抵抗、Ri	約 4 kΩ

安全停止端末 37^{3、4} (端末 37 は、固定 PNP 論理):

電圧レベル	0 ~ 24V DC
電圧レベル、論理 '0' PNP	< 4 V 直流
電圧レベル、論理 '1' PNP	> 20 V 直流
入力の最高電圧	28V 直流
24 V における公称入力電流	50mA rms
20 V における公称入力電流	60mA rms
入力キャパシタンス	400nF

全てのデジタル入力は供給電圧 (PELV) などの高電圧端末から電気絶縁されます。

1) 端末 27 と 29 は出力としてもプログラムできます。

2) ただし、安全停止入力は除きます端末 37。

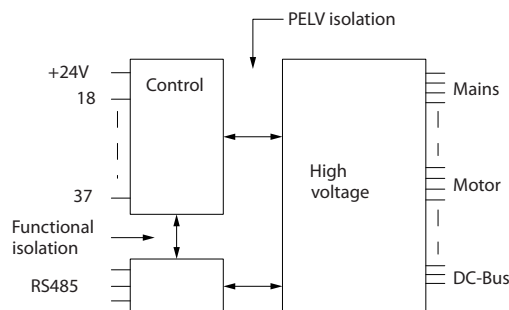
3) は安全停止 FC 302 付き FC 301 A1 としてしか使用できません。安全停止入力としてのみ使用できます。端末 37 は、PL d (ISO13849-1)、SIL 2 (IEC 61508) および SILCL 2 (EN 62061) に適し安全トルクオフ (STO、EN 61800-5-2) および停止カテゴリ 0 (EN 60204-1)にしたがって、安全停止機能を作動させます。端子 37 および「安全停止」機能は EN 60204-1、EN 61800-5-1、EN 61800-2、EN 61800-3、および EN 954-1。安全停止の正しく安全な使用については、デザインガイドの関連情報および指示に従ってください。

4) 安全停止と、内部に直流コイルを備えたコンタクタを同時に使用するときは、オフにした場合に電流がコイルから戻る経路を確保することが重要です。これは、コイルにフリーホイールダイオード(または、反応時間が短い 30 あるいは 50 V MOV)を使用することで可能になります。通常、コンタクタにはこのダイオードが付属しています。

アナログ入力:

アナログ入力の数	2
端末番号	53, 54
モード	電圧または電流
モード選択	スイッチ S201 とスイッチ S202
電圧モード	スイッチ S201/スイッチ S202 = オフ (U)
電圧レベル	FC 301: 0 ~ + 10/ FC 302: -10 - +10 V (スケーラブル)
入力抵抗、Ri	約 10 kΩ
最高電圧	± 20 V
電流モード	スイッチ S201/スイッチ S202 = オン (I)
電流レベル	0/4 - 20 mA (スケーラブル)
入力抵抗、Ri	約 200 Ω
最高電流	30 mA
アナログ入力の分解能	10 ビット (+ 符号)
アナログ入力の精度	最高エラー、全スケールの 0.5%
帯域幅	FC 301: 20 Hz/ FC 302: 100 Hz

アナログ入力は、供給電圧 (PELV) などの高電圧端末から電気絶縁されています。



パルス/エンコーダー入力:

プログラマブル・パルス/エンコーダー入力:	2/1
端末番号パルス/エンコーダー	29 ¹⁾ , 33 ²⁾ / 32 ³⁾ , 33 ³⁾
端末 29、32、33、の最高周波数	110 kHz (ブッシュェブル駆動)
端末 29、32、33、の最高周波数	5 kHz (オープン・コレクター)
端末 29、32、33 での最小周波数	4Hz
電圧レベル	「デジタル入力」の項を参照

入力の最高電圧	28V 直流
入力抵抗、Ri	約 4kΩ
パルス入力精度 (0.1 - 1kHz)	最大エラー: 全スケールの 0.1%
エンコーダー入力精度 (1 - 11 kHz)	最大エラー: 全スケールの 0.05%

パルスおよびエンコーダーの入力 (端末 29、32、33) は、供給電圧 (PELV) とその他の高電圧端末から電気絶縁されています。

- 1) FC 302 のみ
- 2) パルス入力は 29 および 33 です
- 3) エンコーダー入力: 32 = A, および 33 = B

デジタル出力:

プログラマブル・デジタル/パルス出力	2
端末番号	27, 29 ¹⁾
デジタル/周波数出力の電圧レベル	0 - 24V
最大出力電流 (シンクまたはソース)	40mA
周波数出力時の最大負荷	1kΩ
周波数出力時の最大容量負荷	10nF
周波数出力時の最低出力周波数	0Hz
周波数出力時の最高出力周波数	32kHz
周波数出力の精度	最大エラー: 全スケールの 0.1%
周波数出力の分解能	12 ビット

- 1) 端末 27 と 29 は入力としてもプログラムできます。

デジタル出力は、供給電圧 (PELV) とその他の高電圧端末から電気絶縁されています。

アナログ出力:

プログラマブル・アナログ出力の数	1
端末番号	42
アナログ出力の電流範囲	0/4 - 20mA
最大負荷 GND - アナログ入力	500Ω
アナログ出力の精度	最大エラー: 全スケールの 0.5%
アナログ出力の分解能	12 ビット

アナログ入力は、供給電圧 (PELV) などの高電圧端末から電気絶縁されています。

コントロール・カード、24 V 直流出力:

端末番号	12, 13
出力電圧	24 V +1, -3 V
最大負荷	FC 301: 130 mA/ FC 302: 200 mA

24 V 直流電源は供給電圧 (PELV) から電気絶縁されていますが、アナログおよびデジタルの入出力と同じ電位があります。

コントロール・カード、10 V 直流出力:

端末番号	50
出力電圧	10.5V ±0.5V
最大負荷	15 mA

10 V 直流電源は供給電圧 (PELV) などの高電圧端末から電気絶縁されています。

コントロール・カード、RS -485 シリアル通信:

端末番号	68 (P, TX+, RX+)、69 (N, TX-, RX-)
端末番号 61	端末 68 と 69 に共通

RS-485 シリアル通信回路は他の中央回路から機能的に分離され、供給電圧 (PELV) から電気絶縁されています。

コントロール・カード、USB シリアル通信 :

USB 標準	1.1(全速)
USB プラグ	USB タイプ B "デバイス" プラグ

PC への接続は、標準ホスト/デバイス USB ケーブルを介して行われます。

USB 接続は、供給電圧 (PELV) などの高電圧端末から電氣的に絶縁されていますが、

USB 接地接続は、保護接地からは電氣的に絶縁されていません。一つの絶縁されたラップトップだけを周波数変換器の USB コネクタへの PC 接続として使用してください。

リレー出力:

プログラマブル・リレー出力	FC 301 全 kW: 1 / FC 302 全 kW: 2
リレー 01 端末番号	1-3 (遮断)、1-2 (導通)
1-3 (NC)、1-2 (NO) の最大端子負荷 (交流 -1) ¹⁾ (抵抗負荷)	240V AC、2A
最大端子負荷 (交流 -15) ¹⁾ (誘導負荷、 $\cos\phi$ 0.4 において)	240V AC、0.2A
1-3 (NC)、1-2 (NO) の最大端子負荷 (直流 -1) ¹⁾ (抵抗負荷)	60 V 直流、1 A
最大端子負荷 (直流 -13) ¹⁾ (誘導負荷)	24 V 直流、0.1 A
リレー 02 (FC 302 のみ) 端子番号	4-6 (遮断)、4-5 (導通)
4-5 (NO) の最大端子負荷 (交流 -1) ¹⁾ (抵抗負荷) ²⁾³⁾ II	400V 交流、2A
4-5 (NO) の最大端子負荷 (交流-15)1) (誘導負荷 @ $\cos\phi$ 0.4)	240V AC、0.2A
4-5 (NO) の最大端子負荷 (直流 -1) ¹⁾ (抵抗負荷)	80V DC、2A
4-5 (NO) の最大端子負荷 (直流 -13) ¹⁾ (誘導負荷)	24 V 直流、0.1 A
4-6 (NC) の最大端子負荷 (交流 -1) ¹⁾ (抵抗負荷)	240V AC、2A
4-6 (NC) の最大端子負荷 (交流-15)1) (誘導負荷 @ $\cos\phi$ 0.4)	240V AC、0.2A
4-6 (NC) の最大端子負荷 (直流 -1) ¹⁾ (誘導負荷)	50V DC、2A
4-6 (NC) の最大端子負荷 (直流 -13) ¹⁾ (誘導負荷)	24 V 直流、0.1 A
1-3 (通常閉)、1-2 (通常開)、4-6 (通常閉)、4-5 (通常開) の最小端子負荷、	24 V 直流 10 mA、24 V 交流 20 mA
EN 60664-1 に準じた環境	過電圧カテゴリー III/汚染度 2

¹⁾ 1) IEC 60947 パート 4 及び 5

リレー接点は補強絶縁 (PELV) により他の回路から電気絶縁されています。

²⁾ 過電圧 カテゴリー II

³⁾ UL 応用 300 V AC 2A

ケーブル長とコントロール・ケーブルの断面積¹⁾

モーター・ケーブル最大長、シールド済み	FC 301: 50m/FC 301 (A1): 25m/ FC 302: 150m
モーター・ケーブル最大長、シールドなし	FC 301: 75m/FC 301 (A1): 50 m/ FC 302: 300m
コントロール端末へのケーブル端スリーブ無しフレキシブル / 剛性ワイヤの最大断面積	1.5mm ² /16 AWG
コントロール端末へのケーブル端スリーブ付きフレキシブル / 剛性ワイヤの最大断面積	1mm ² /18 AWG
コントロール端末へのケーブル端スリーブ、カラー付きフレキシブル / 剛性ワイヤの最大断面積	0.5mm ² /20 AWG
コントロール端末の最小断面積	0.25mm ² / 24AWG

¹⁾ 電源ケーブル、10.1 電力依存仕様をご覧ください。

コントロール・カード性能:

スキャン間隔	FC 301: 5 ms / FC 302: 1 ms
--------	-----------------------------

コントロール特性:

出力周波数 0 - 1000 Hz での分解能	± 0.003Hz
精密なスタート/ストップの繰り返し精度 (端子 18, 19)	± 0.1msec
システム応答時間 (端子 18、19、27、29、32、33)	≤ 2ms
速度コントロール範囲 (開ループ)	同期速度の 1:100
速度コントロール範囲 (閉ループ)	同期速度の 1:1000
速度精度 (開ループ)	30 - 4000rpm: エラー ±8rpm
速度精度 (閉ループ)、フィードバック装置の分解能による	0 - 6000rpm: エラー ±0.15rpm
トルク・コントロール制度 (速度フィードバック)	最大エラー±定格トルクの5%

すべてのコントロール特性は、4 極非同期モーターに基づいています。

環境

エンクロージャ	IP20 ¹⁾ / Type 1、IP 55/ Type 12、IP 66
振動テスト	1.0g
最高相対湿度	5% - 93%(IEC 721-3-3、クラス 3K3 (非凝縮) 運転中
劣悪な環境(IEC 60068-2-43) H ₂ S テスト	クラス Kd
周囲温度 ³⁾	最高 50 °C (24 時間平均最高 45 °C))

¹⁾ ≤ 3.7kW (200 - 240V)、≤ 7.5kW (400 ~ 480/ 500V)

²⁾ 専用。≤ 3.7kW (200 - 240V)、≤ 7.5kW (400 ~ 480/ 500V)

³⁾ のエンクロージャとしてのみ使用可能。周囲温度が高い場合の定格値の低減については、デザインガイドの特殊条件を参照してください

仕様 **VLT®AutomationDrive 取扱い**
説明書

フルスケール動作時の最低周囲温度	0°C
性能低下時の最低周囲温度	- 10°C
保管/輸送時の温度	-25 - +65/70°C
最大海拔高度 (定格低減なし)	1000m

高度が高い場合の定格値の低減については、デザインガイドの特殊条件を参照してください。

EMC 規格、放射	EN 61800-3、EN 61000-6-3/4、EN 55011
EMC 規格、耐性	EN 61800-3、EN 61000-6-1/2、 EN 61000-4-2、EN 61000-4-3、EN 61000-4-4、EN 61000-4-5、EN 61000-4-6

定格値の低減に関する詳細情報については、デザイン・ガイドの特殊条件のセクションを参照してください。

保護と機能:

- 過負荷に対する電子サーマル・モーター保護。
- ヒートシンクの温度を監視することにより、温度が事前に定義されたレベルに到達すると、周波数変換器が確実にトリップします。過負荷温度は、ヒートシンクの温度が次のページ（指針—これらの温度は異なった温度、電力サイズ、フレームサイズ、エンクロージャーなどによって変化する可能性があります。）の表に示した値を下回るまで再設定することができません。
- 周波数変換器はモーター端子 U、V、W の短絡に対して保護されています。
- 主電源相が損失している場合には、（負荷によって）周波数変換器はトリップするか警告を発します。
- 中間回路電圧を監視することによって、その電圧が低すぎたり高すぎたりすると、周波数変換器を確実にトリップさせます。
- 周波数変換器は、内部温度、負荷電流、中間回路の高電圧、低モーター速度のレベルを定期的に検査します。これらのいずれかのレベルが臨界値に達した場合は、周波数変換器はスイッチ周波数やスイッチ・パターンを変えて、周波数変換器の性能を確保します。

10.3 フューズ表

供給側では、周波数変換器（初回故障）内でコンポーネントが破損した場合の保護のため、ヒューズおよび / または回路ブレーカーの使用をお勧めします。

注記

CE について IEC 60364 または UL について NEC 2009 に準拠するために、これは必須事項です。



周波数変換器内部のコンポーネント破損の発生から、要員および機器を保護してください。

分岐回路の保護

設置を電気障害や火災の危険から保護するには、設置、スイッチ装置、機械などのすべての分岐回路を国内/国際規則に則って短絡および過電流から保護する必要があります。

注記

所定の推奨事項には、UL の分岐回路保護は対称となっていません！

短絡保護:

Danfoss ドライブで内部故障が起こった場合に整備要員や機器を保護するために、弊社 では下記フューズの使用をお勧めします。

過電流保護:

周波数変換器は過剰負荷を保護し、人間の生命、機器の破損に対する危険を抑え、設備内のケーブルの加熱による火災の危険を避けます。周波数変換器は、上流過負荷保護（4-18 電流制限）に使用される過電流保護を装備しています。また、設置内に過電流保護を備えるためにフューズや回路遮断器を使用できます。過電流保護は、国内規制に従って実施される必要があります。

10.3.1 推奨



誤動作が発生した場合、以下の推奨事項に従っていない場合は周波数変換器に不必要な損傷を与える場合があります。

下表では、推奨される定格電流を記載しています。推奨されるヒューズは、中型および小型では gG タイプです。大電源については、aR ヒューズを推奨します。回路ブレーカーについては、モーラータイプは推奨品として試験済みです。その他タイプの回路ブレーカーは、エネルギーをモーラータイプと同等か、それ以下のレベル 周波数変換器のに制限するのに使用することがあります。

推奨にしたがったヒューズ / 回廊を選択する場合、周波数変換器に対して発生しうる破損は、ユニット内の破損に限られます。

詳細は、使用に関する注意事項ヒューズと回路ブレーカー、MN. 90. TX. YY を参照してください。

10.3.2 CE 準拠

ヒューズまたは回路ブレーカーは必ず IEC 60364 に準拠していなければなりません。Danfoss は、以下の選択の使用を推奨します。

下のヒューズは、100,000 アーム (同期)、240V、または 480V、あるいは 500V、または 周波数変換器電圧定格によっては 600V の送電可能な回路での使用に適しています。ヒューズが適切な場合、周波数変換器短絡電流定格 (SCCR) は、100,000 アームになります。

エンクロージャー サイズ	FC 300 電源 [kW]	推奨される ヒューズサイズ	推奨される 最大ヒューズ	推奨される遮断機 モーター	最大トリップレベル [A]
A1	0.25-1.5	gG-10	gG-25	PKZM0-16	16
A2	0.25-2.2	gG-10 (0.25-1.5) gG-16 (2.2)	gG-25	PKZM0-25	25
A3	3.0-3.7	gG-16 (3) gG-20 (3.7)	gG-32	PKZM0-25	25
B3	5.5	gG-25	gG-63	PKZM4-50	50
B4	7.5-15	gG-32 (7.5) gG-50 (11) gG-63 (15)	gG-125	NZMB1-A100	100
C3	18.5-22	gG-80 (18.5) aR-125 (22)	gG-150 (18.5) aR-160 (22)	NZMB2-A200	150
C4	30-37	aR-160 (30) aR-200 (37)	aR-200 (30) aR-250 (37)	NZMB2-A250	250
A4	0.25-2.2	gG-10 (0.25-1.5) gG-16 (2.2)	gG-32	PKZM0-25	25
A5	0.25-3.7	gG-10 (0.25-1.5) gG-16 (2.2-3) gG-20 (3.7)	gG-32	PKZM0-25	25
B1	5.5-7.5	gG-25 (5.5) gG-32 (7.5)	gG-80	PKZM4-63	63
B2	11	gG-50	gG-100	NZMB1-A100	100
C1	15-22	gG-63 (15) gG-80 (18.5) gG-100 (22)	gG-160 (15-18.5) aR-160 (22)	NZMB2-A200	160
C2	30-37	aR-160 (30) aR-200 (37)	aR-200 (30) aR-250 (37)	NZMB2-A250	250

表 10.1 200-240V、フレームサイズ A、B、および C

エンクロ ージャー サイズ	FC 300 電源 [kW]	推奨される ヒューズサイズ	推奨される 最大ヒューズ	推奨される遮断機 モーター	最大トリップレベル [A]
A1	0.37-1.5	gG-10	gG-25	PKZM0-16	16
A2	0.37-4.0	gG-10 (0.37-3) gG-16 (4)	gG-25	PKZM0-25	25
A3	5.5-7.5	gG-16	gG-32	PKZM0-25	25
B3	11-15	gG-40	gG-63	PKZM4-50	50
B4	18.5-30	gG-50 (18.5) gG-63 (22) gG-80 (30)	gG-125	NZMB1-A100	100
C3	37-45	gG-100 (37) gG-160 (45)	gG-150 (37) gG-160 (45)	NZMB2-A200	150
C4	55-75	aR-200 (55) aR-250 (75)	aR-250	NZMB2-A250	250
A4	0.37-4	gG-10 (0.37-3) gG-16 (4)	gG-32	PKZM0-25	25
A5	0.37-7.5	gG-10 (0.37-3) gG-16 (4-7.5)	gG-32	PKZM0-25	25
B1	11-15	gG-40	gG-80	PKZM4-63	63
B2	18.5-22	gG-50 (18.5) gG-63 (22)	gG-100	NZMB1-A100	100
C1	30-45	gG-80 (30) gG-100 (37) gG-160 (45)	gG-160	NZMB2-A200	160
C2	55-75	aR-200 (55) aR-250 (75)	aR-250	NZMB2-A250	250
D	90-200	gG-300 (90) gG-350 (110) gG-400 (132) gG-500 (160) gG-630 (200)	gG-300 (90) gG-350 (110) gG-400 (132) gG-500 (160) gG-630 (200)	-	-
E	250-400	aR-700 (250) aR-900 (315-400)	aR-700 (250) aR-900 (315-400)	-	-
F	450-800	aR-1600 (450-500) aR-2000 (560-630) aR-2500 (710-800)	aR-1600 (450-500) aR-2000 (560-630) aR-2500 (710-800)	-	-

表 10.2 380-500V、フレームサイズ A、B、C、D、E、および F

エンクロ ージャー サイズ	FC 300 電源 [kW]	推奨される ヒューズサイズ	推奨される 最大ヒューズ	推奨される遮断機 モーター	最大トリップレベル [A]
A2	0-75-4.0	gG-10	gG-25	PKZM0-25	25
A3	5.5-7.5	gG-10 (5.5) gG-16 (7.5)	gG-32	PKZM0-25	25
B3	11-15	gG-25 (11) gG-32 (15)	gG-63	PKZM4-50	50
B4	18.5-30	gG-40 (18.5) gG-50 (22) gG-63 (30)	gG-125	NZMB1-A100	100
C3	37-45	gG-63 (37) gG-100 (45)	gG-150	NZMB2-A200	150
C4	55-75	aR-160 (55) aR-200 (75)	aR-250	NZMB2-A250	250
A5	0.75-7.5	gG-10 (0.75-5.5) gG-16 (7.5)	gG-32	PKZM0-25	25
B1	11-18	gG-25 (11) gG-32 (15) gG-40 (18.5)	gG-80	PKZM4-63	63
B2	22-30	gG-50 (22) gG-63 (30)	gG-100	NZMB1-A100	100
C1	37-55	gG-63 (37) gG-100 (45) aR-160 (55)	gG-160 (37-45) aR-250 (55)	NZMB2-A200	160
C2	75	aR-200 (75)	aR-250	NZMB2-A250	250

表 10.3 525-600V、フレームサイズ A、B、および C

エンクロ ージャー サイズ	FC 300 電源 [kW]	推奨される ヒューズサイズ	推奨される 最大ヒューズ	推奨される遮断機 モーター	最大トリップレベル [A]
B2	11 15 18 22	gG-25 (11) gG-32 (15) gG-32 (18) gG-40 (22)	gG-63	-	-
C2	30 37 45 55 75	gG-63 (30) gG-63 (37) gG-80 (45) gG-100 (55) gG-125 (75)	gG-80 (30) gG-100 (37) gG-125 (45) gG-160 (55-75)	-	-
D	37-315	gG-125 (37) gG-160 (45) gG-200 (55-75) aR-250 (90) aR-315 (110) aR-350 (132-160) aR-400 (200) aR-500 (250) aR-550 (315)	gG-125 (37) gG-160 (45) gG-200 (55-75) aR-250 (90) aR-315 (110) aR-350 (132-160) aR-400 (200) aR-500 (250) aR-550 (315)	-	-
E	355-560	aR-700 (355-400) aR-900 (500-560)	aR-700 (355-400) aR-900 (500-560)	-	-
F	630-1200	aR-1600 (630-900) aR-2000 (1000) aR-2500 (1200)	aR-1600 (630-900) aR-2000 (1000) aR-2500 (1200)	-	-

表 10.4 525-690V、フレームサイズ B、C、D、E、および F

UL 適合

ヒューズまたは遮断機が、NEC 2009 に準拠している必要があります。当社では、以下の選択の使用を推奨します。

下のヒューズは、100,000 アーム（同期）、240V、または 480V、あるいは 500V、または周波数変換器電圧定格によっては 600V 送電可能な回路での使用に適しています。適切なヒューズにより、ドライブ短絡電流定格 (SCCR) i は 100,000 アームになります。

FC 300 電源	推奨される最大ヒューズ					
	Bussmann	Bussmann	Bussmann	Bussmann	Bussmann	Bussmann
[kW]	タイプ RK1 ¹⁾	タイプ J	タイプ T	タイプ CC	タイプ CC	タイプ CC
0.25-0.37	KTN-R-05	JKS-05	JJN-05	FNQ-R-5	KTK-R-5	LP-CC-5
0.55-1.1	KTN-R-10	JKS-10	JJN-10	FNQ-R-10	KTK-R-10	LP-CC-10
1.5	KTN-R-15	JKS-15	JJN-15	FNQ-R-15	KTK-R-15	LP-CC-15
2.2	KTN-R-20	JKS-20	JJN-20	FNQ-R-20	KTK-R-20	LP-CC-20
3.0	KTN-R-25	JKS-25	JJN-25	FNQ-R-25	KTK-R-25	LP-CC-25
3.7	KTN-R-30	JKS-30	JJN-30	FNQ-R-30	KTK-R-30	LP-CC-30
5.5	KTN-R-50	KS-50	JJN-50	-	-	-
7.5	KTN-R-60	JKS-60	JJN-60	-	-	-
11	KTN-R-80	JKS-80	JJN-80	-	-	-
15-18.5	KTN-R-125	JKS-125	JJN-125	-	-	-
22	KTN-R-150	JKS-150	JJN-150	-	-	-
30	KTN-R-200	JKS-200	JJN-200	-	-	-
37	KTN-R-250	JKS-250	JJN-250	-	-	-

表 10.5 200-240V、フレームサイズ A、B、および C

FC 300 電源	推奨される最大ヒューズ			
	SIBA	Littell 製フューズ	Ferraz-Shawmut	Ferraz-Shawmut
[kW]	タイプ RK1	タイプ RK1	タイプ CC	タイプ RK1 ³⁾
0.25-0.37	5017906-005	KLN-R-05	ATM-R-05	A2K-05-R
0.55-1.1	5017906-010	KLN-R-10	ATM-R-10	A2K-10-R
1.5	5017906-016	KLN-R-15	ATM-R-15	A2K-15-R
2.2	5017906-020	KLN-R-20	ATM-R-20	A2K-20-R
3.0	5017906-025	KLN-R-25	ATM-R-25	A2K-25-R
3.7	5012406-032	KLN-R-30	ATM-R-30	A2K-30-R
5.5	5014006-050	KLN-R-50	-	A2K-50-R
7.5	5014006-063	KLN-R-60	-	A2K-60-R
11	5014006-080	KLN-R-80	-	A2K-80-R
15-18.5	2028220-125	KLN-R-125	-	A2K-125-R
22	2028220-150	KLN-R-150	-	A2K-150-R
30	2028220-200	KLN-R-200	-	A2K-200-R
37	2028220-250	KLN-R-250	-	A2K-250-R

表 10.6 200-240V、フレームサイズ A、B、および C

FC 300	推奨される最大ヒューズ			
	Bussmann	Littel fuse	Ferraz-Shawmut	Ferraz-Shawmut
[kW]	タイプ JFHR2 ²⁾	JFHR2	JFHR2 ⁴⁾	J
0.25-0.37	FWX-5	-	-	HSJ-6
0.55-1.1	FWX-10	-	-	HSJ-10
1.5	FWX-15	-	-	HSJ-15
2.2	FWX-20	-	-	HSJ-20
3.0	FWX-25	-	-	HSJ-25
3.7	FWX-30	-	-	HSJ-30
5.5	FWX-50	-	-	HSJ-50
7.5	FWX-60	-	-	HSJ-60
11	FWX-80	-	-	HSJ-80
15-18.5	FWX-125	-	-	HSJ-125
22	FWX-150	L25S-150	A25X-150	HSJ-150
30	FWX-200	L25S-200	A25X-200	HSJ-200
37	FWX-250	L25S-250	A25X-250	HSJ-250

表 10.7 200-240V、フレームサイズ A、B、および C

- 1) 240 V 周波数変換器では、Bussmann 社製の KTS フューズを KTN フューズの代替品として使用できます。
- 2) 240 V 周波数変換器では、Bussmann 社製の FWH フューズを FWX フューズの代替品として使用できます。
- 3) 240 V 周波数変換器では、FERRAZ SHAWMUT 社製の A6KR フューズを A2KR フューズの代替品として使用できます。
- 4) 240 V 周波数変換器では、FERRAZ SHAWMUT 社製の A50X フューズを A25X フューズの代替品として使用できます。

FC 300	推奨される最大ヒューズ					
	Bussmann	Bussmann	Bussmann	Bussmann	Bussmann	Bussmann
[kW]	タイプ RK1	タイプ J	タイプ T	タイプ CC	タイプ CC	タイプ CC
0.37-1.1	KTS-R-6	JKS-6	JJS-6	FNQ-R-6	KTK-R-6	LP-CC-6
1.5-2.2	KTS-R-10	JKS-10	JJS-10	FNQ-R-10	KTK-R-10	LP-CC-10
3	KTS-R-15	JKS-15	JJS-15	FNQ-R-15	KTK-R-15	LP-CC-15
4	KTS-R-20	JKS-20	JJS-20	FNQ-R-20	KTK-R-20	LP-CC-20
5.5	KTS-R-25	JKS-25	JJS-25	FNQ-R-25	KTK-R-25	LP-CC-25
7.5	KTS-R-30	JKS-30	JJS-30	FNQ-R-30	KTK-R-30	LP-CC-30
11	KTS-R-40	JKS-40	JJS-40	-	-	-
15	KTS-R-50	JKS-50	JJS-50	-	-	-
18	KTS-R-60	JKS-60	JJS-60	-	-	-
22	KTS-R-80	JKS-80	JJS-80	-	-	-
30	KTS-R-100	JKS-100	JJS-100	-	-	-
37	KTS-R-125	JKS-125	JJS-125	-	-	-
45	KTS-R-150	JKS-150	JJS-150	-	-	-
55	KTS-R-200	JKS-200	JJS-200	-	-	-
75	KTS-R-250	JKS-250	JJS-250	-	-	-

表 10.8 380~500V、フレームサイズ A、B、および C

FC 302	推奨される最大ヒューズ			
	SIBA	Littell 製フューズ	Ferraz- Shawmut	Ferraz- Shawmut
[kW]	タイプ RK1	タイプ RK1	タイプ CC	タイプ RK1
0.37-1.1	5017906-006	KLS-R-6	ATM-R-6	A6K-6-R
1.5-2.2	5017906-010	KLS-R-10	ATM-R-10	A6K-10-R
3	5017906-016	KLS-R-15	ATM-R-15	A6K-15-R
4	5017906-020	KLS-R-20	ATM-R-20	A6K-20-R
5.5	5017906-025	KLS-R-25	ATM-R-25	A6K-25-R
7.5	5012406-032	KLS-R-30	ATM-R-30	A6K-30-R
11	5014006-040	KLS-R-40	-	A6K-40-R
15	5014006-050	KLS-R-50	-	A6K-50-R
18	5014006-063	KLS-R-60	-	A6K-60-R
22	2028220-100	KLS-R-80	-	A6K-80-R
30	2028220-125	KLS-R-100	-	A6K-100-R
37	2028220-125	KLS-R-125	-	A6K-125-R
45	2028220-160	KLS-R-150	-	A6K-150-R
55	2028220-200	KLS-R-200	-	A6K-200-R
75	2028220-250	KLS-R-250	-	A6K-250-R

表 10.9 380~500V、フレームサイズ A、B、および C

FC 302	推奨される最大ヒューズ			
	Bussmann	Ferraz- Shawmut	Ferraz- Shawmut	Littell 製フューズ
[kW]	JFHR2	J	JFHR2 ¹⁾	JFHR2
0.37-1.1	FWH-6	HSJ-6	-	-
1.5-2.2	FWH-10	HSJ-10	-	-
3	FWH-15	HSJ-15	-	-
4	FWH-20	HSJ-20	-	-
5.5	FWH-25	HSJ-25	-	-
7.5	FWH-30	HSJ-30	-	-
11	FWH-40	HSJ-40	-	-
15	FWH-50	HSJ-50	-	-
18	FWH-60	HSJ-60	-	-
22	FWH-80	HSJ-80	-	-
30	FWH-100	HSJ-100	-	-
37	FWH-125	HSJ-125	-	-
45	FWH-150	HSJ-150	-	-
55	FWH-200	HSJ-200	A50-P-225	L50-S-225
75	FWH-250	HSJ-250	A50-P-250	L50-S-250

表 10.10 380~500V、フレームサイズ A、B、および C

1) Ferraz-Shawmut A50QS フューズを A50P フューズの代わりに使えます。

FC 302	推奨される最大ヒューズ					
	Bussmann	Bussmann	Bussmann	Bussmann	Bussmann	Bussmann
[kW]	タイプ RK1	タイプ J	タイプ T	タイプ CC	タイプ CC	タイプ CC
0.75-1.1	KTS-R-5	JKS-5	JJS-6	FNQ-R-5	KTK-R-5	LP-CC-5
1.5-2.2	KTS-R-10	JKS-10	JJS-10	FNQ-R-10	KTK-R-10	LP-CC-10
3	KTS-R15	JKS-15	JJS-15	FNQ-R-15	KTK-R-15	LP-CC-15
4	KTS-R20	JKS-20	JJS-20	FNQ-R-20	KTK-R-20	LP-CC-20
5.5	KTS-R-25	JKS-25	JJS-25	FNQ-R-25	KTK-R-25	LP-CC-25
7.5	KTS-R-30	JKS-30	JJS-30	FNQ-R-30	KTK-R-30	LP-CC-30
11	KTS-R-35	JKS-35	JJS-35	-	-	-
15	KTS-R-45	JKS-45	JJS-45	-	-	-
18	KTS-R-50	JKS-50	JJS-50	-	-	-
22	KTS-R-60	JKS-60	JJS-60	-	-	-
30	KTS-R-80	JKS-80	JJS-80	-	-	-
37	KTS-R-100	JKS-100	JJS-100	-	-	-
45	KTS-R-125	JKS-125	JJS-125	-	-	-
55	KTS-R-150	JKS-150	JJS-150	-	-	-
75	KTS-R-175	JKS-175	JJS-175	-	-	-

表 10.11 525-600V、フレームサイズ A、B、および C

FC 302	推奨される最大ヒューズ			
	SIBA	Littell 製フューズ	Ferraz-Shawmut	Ferraz-Shawmut
[kW]	タイプ RK1	タイプ RK1	タイプ RK1	J
0.75-1.1	5017906-005	KLS-R-005	A6K-5-R	HSJ-6
1.5-2.2	5017906-010	KLS-R-010	A6K-10-R	HSJ-10
3	5017906-016	KLS-R-015	A6K-15-R	HSJ-15
4	5017906-020	KLS-R-020	A6K-20-R	HSJ-20
5.5	5017906-025	KLS-R-025	A6K-25-R	HSJ-25
7.5	5017906-030	KLS-R-030	A6K-30-R	HSJ-30
11	5014006-040	KLS-R-035	A6K-35-R	HSJ-35
15	5014006-050	KLS-R-045	A6K-45-R	HSJ-45
18	5014006-050	KLS-R-050	A6K-50-R	HSJ-50
22	5014006-063	KLS-R-060	A6K-60-R	HSJ-60
30	5014006-080	KLS-R-075	A6K-80-R	HSJ-80
37	5014006-100	KLS-R-100	A6K-100-R	HSJ-100
45	2028220-125	KLS-R-125	A6K-125-R	HSJ-125
55	2028220-150	KLS-R-150	A6K-150-R	HSJ-150
75	2028220-200	KLS-R-175	A6K-175-R	HSJ-175

表 10.12 525-600V、フレームサイズ A、B、および C

1) 示された Bussman の*170M フューズは、同サイズの-/80 ヴィジュアルインジケーター、-TN/80 Type T、-/110 or TN/110 Type T インジケーターフューズを使用し、アンペア数を置き換えることができます。

FC 302 [kW]	推奨される最大ヒューズ							
	最大ブ レヒュー ーズ	Bussmann E52273 RK1/JDDZ	Bussmann E4273 J/JDDZ	Bussmann E4273 T/JDDZ**	SIBA E180276 RK1/JDDZ	Littelfuse E81895 RK1/JDDZ	Ferraz- Shawmut E163267/E2137 RK1/JDDZ	Ferraz- Shawmut E2137 J/HSJ
11	30 A	KTS-R-30	JKS-30	JKJS-30	5017906-030	KLS-R-030	A6K-30-R	HST-30
15-18.5	45 A	KTS-R-45	JKS-45	JJS-45	5014006-050	KLS-R-045	A6K-45-R	HST-45
22	60 A	KTS-R-60	JKS-60	JJS-60	5014006-063	KLS-R-060	A6K-60-R	HST-60
30	80 A	KTS-R-80	JKS-80	JJS-80	5014006-080	KLS-R-075	A6K-80-R	HST-80
37	90 A	KTS-R-90	JKS-90	JJS-90	5014006-100	KLS-R-090	A6K-90-R	HST-90
45	100 A	KTS-R-100	JKS-100	JJS-100	5014006-100	KLS-R-100	A6K-100-R	HST-100
55	125 A	KTS-R-125	JKS-125	JJS-125	2028220-125	KLS-150	A6K-125-R	HST-125
75	150 A	KTS-R-150	JKS-150	JJS-150	2028220-150	KLS-175	A6K-150-R	HST-150

* UL 準拠のみ 525-600 V

表 10.13 525-690V*、フレームサイズ B および C

10.4 接続の締め付けトルク

エン クロ ー ジャ ー	電力 (kW)				トルク (Nm)					
	200-240V	380-480/500V	525-600V	525-690V	主電源	モーター	直流 接続	ブレーキ	アース	リレー
A2	0.25 - 2.2	0.37 - 4.0			1.8	1.8	1.8	1.8	3	0.6
A3	3.0 - 3.7	5.5 - 7.5	0.75 - 7.5		1.8	1.8	1.8	1.8	3	0.6
A4	0.25 - 2.2	0.37 - 4.0			1.8	1.8	1.8	1.8	3	0.6
A5	0.25 - 3.7	0.37 - 7.5	0.75 - 7.5		1.8	1.8	1.8	1.8	3	0.6
B1	5.5 - 7.5	11 - 15	11 - 15		1.8	1.8	1.5	1.5	3	0.6
B2	11	18 22	18 22	11 22	4.5 4.5	4.5 4.5	3.7 3.7	3.7 3.7	3 3	0.6 0.6
B3	5.5 - 7.5	11 - 15	11 - 15		1.8	1.8	1.8	1.8	3	0.6
B4	11 - 15	18 - 30	18 - 30		4.5	4.5	4.5	4.5	3	0.6
C1	15 - 22	30 - 45	30 - 45		10	10	10	10	3	0.6
C2	30 - 37	55 - 75	55 - 75	30 - 75	14/24 ¹⁾	14/24 ¹⁾	14	14	3	0.6
C3	18 - 22	37 - 45	37 - 45		10	10	10	10	3	0.6
C4	30 - 37	55 - 75	55 - 75		14/24 ¹⁾	14/24 ¹⁾	14	14	3	0.6

表 10.14 端末の締め付け

¹⁾ 異なるケーブル寸法 x/y、 $x \leq 95\text{mm}^2$ および $y \geq 95\text{mm}^2$ 。

インデックス

A

A53..... 17

A54..... 17

AC

 主電源..... 6, 10

 波形..... 6

Auto On..... 30, 46

B

Braking (ブレーキ)..... 46

D

Danfoss FC..... 21

DC 電流..... 47

E

EMC..... 23, 54

G

Grounding..... 14

H

Hand On(手動オン)..... 30, 46

I

IEC 61800-3..... 14

Installation..... 16

I 据付..... 54

M

Modbus RTU..... 21

P

PELV..... 14, 44

Programming..... 17

R

RCD..... 13

Reset..... 30

RFI フィルター..... 14

RMS 電流..... 6

S

Set-up..... 27

T

T27

 を接続した AMA..... 41

 を接続していない AMA..... 41

ア

アース線..... 12

アナログ入力..... 15, 52, 74

アナログ出力..... 15, 75

アプリケーション例..... 41

イ

インストレーション..... 12

エ

エンコーダーの回転..... 26

オ

オート・リセット..... 28

オプション機器..... 6, 14, 17, 24

ク

クイック・メニュー..... 29, 34

[

[クイック・メニュー]..... 32

ケ

ケーブル長と断面積..... 76

コ

コントロール・カード、+10V 直流出力..... 75

コントロール・カード、24 V 直流出力..... 75

コントロール・カード、RS-485 シリアル通信..... 75

コントロール・カード、USB シリアル通信..... 75

コントロール・カード性能..... 76

コントロール・ケーブル..... 16

コントロール・ワイヤ..... 16

コントロール信号..... 32, 33, 46

コントロール特性..... 76

コントロール端子..... 16, 25, 30, 33, 46, 48

コントロール端末..... 10

コントロール線..... 12

コントロール配線..... 12, 14, 16, 23

サ

サーミスター..... 14, 44, 53

サーミスターコントロール配線.....	14	パルス/エンコーダー入力.....	74
シ		ハ	
シールド・ ケーブル.....	8, 23	ハンドオン.....	26
シールド・ ケーブルを使用した接地.....	13	フ	
シールド・ コントロール・ ケーブル.....	16	フィードバック.....	17, 23, 47, 56, 58
シールド線.....	12	フューズ.....	12, 23, 55, 60, 78
システム・ スタートアップ.....	27	ブ	
システム・ フィードバック.....	6	ブレーキング.....	55
システム監視.....	49	フ	
シリアル通信... 6, 10, 15, 16, 21, 30, 31, 46, 47,	48, 49, 75	フローティング・ デルタ.....	14
シリアル通信ケーブル.....	54	プ	
ス		プログラミング... 5, 24, 27, 28, 31, 32, 34, 35, 40	
スイッチがオフ.....	24	プログラミング・ データ.....	30
スイッチ周波数.....	47	プログラミング例.....	32
スタートアップ..... 5, 22, 31, 32, 60		プログラム.....	29, 52
スタートアップ・	23	へ	
スペース.....	55	への供給電圧.....	52
セ		メ	
セットアップ.....	29	メイン・ メニュー.....	29, 32
デ		メインメニュー.....	29
デジタル入力..... 15, 17, 33, 48, 53		メニュー・ キー.....	28, 29
デジタル入力:	73	メニュー構成.....	30
デジタル出力.....	75	メニュー構造.....	35
ト		モ	
トラブルシューティング..... 5, 52, 60		モーター・ ケーブル.....	8
トランジエント保護.....	6	モーター・ ケーブル s.....	13
トリップ.....	49	モーター・ データ.....	26
トリップ・ ロック.....	49	モーターケーブル.....	12
トリップ機能.....	12	モーターデータ.....	25, 53, 54, 57
トルク制限.....	26	モーターと結線.....	13
トルク特性.....	73	モーターのデータ.....	31
ナ		モーターの回転.....	26, 29
ナビゲーション・ キー..... 24, 28, 30, 32, 46		モーターリード.....	54
ノ		モーター保護.....	12, 77
ノイズから隔離.....	23	モーター出力.....	73
ノイズ絶縁.....	12	モーター状況.....	6
パ		モーター速度.....	24
パラメーター設定のコピー.....	30	モーター配線.....	12
		モーター配線、および.....	23

モーター電力.....	10, 12, 56		
モーター電流.....	6, 25, 29, 53, 56		
ラ			
ランプ・アップ・タイム.....	26		
ランプダウン時間.....	27		
リ			
リセット.....	28, 31, 48, 49, 53, 55, 58		
リファレンス.....	41		
リモートコマンド.....	6		
リモートプログラミング.....	40		
リレー出力.....	15, 76		
ロ			
ローカル・コントロール.....	28, 30, 46		
ローカル・コントロール・テスト.....	26		
ローカル・コントロール・パネル.....	28		
ローカル・スタート.....	26		
ローカル・モード.....	26		
ローカル操作.....	28		
ワ			
ワイヤサイズ.....	12, 13		
不			
不具合メッセージ.....	52		
不具合ログ.....	31		
主			
主電源.....	12, 63, 68, 69, 70		
(L1、L2、L3).....	73		
主電源電圧.....	29, 30, 47, 52		
事			
事前スタート.....	22		
交			
交流.....	6		
交流主電源.....	6, 14		
交流入力.....	14		
交流波形.....	6		
仕			
仕様.....	5, 9, 21, 63		
		低	
		低減.....	8
		供	
		供給電圧.....	14, 15, 53, 55
		供給電圧が.....	22
		保	
		保護と機能.....	77
		停	
		停止コマンド.....	47
		入	
		入力信号.....	17, 32
		入力切断.....	14
		入力端子.....	14, 17, 22
		入力端子 53.....	32
		入力端末.....	10, 52
		入力電力.....	12, 14, 22, 23, 49, 60
		入力電圧.....	24, 49, 53
		入力電流.....	14
		入力電源.....	6, 49
		全	
		全負荷電流.....	22
		冷	
		冷却.....	8
		冷却用空きスペース.....	23
		出	
		出力信号.....	35
		出力性能 (U、V、W).....	73
		出力端子.....	10, 22
		出力電流.....	47, 53
		分	
		分岐回路の保護.....	78
		切	
		切断スイッチ.....	22
		初	
		初期化.....	31

制		接	
制御システム.....	5, 6	接地.....	12, 13, 22, 23
		接地デルタ.....	14
力		接地の接続.....	23
力率.....	6, 13, 23	接地ループ.....	16
		接地ワイヤ.....	13, 23
動		接地接続.....	12
動作開始.....	27		
		操	
取		操作キー.....	30
取り付け.....	9		
取り付けられた.....	23	故	
		故障ログ・データ.....	29
周			
周囲.....	76	機	
		機械的ブレーキ・コントロール.....	21
基		機能テスト.....	27
基準.....	29	機能を実行するために外部コマンド.....	46
		機能検査.....	22
外		機能的試験.....	5
外部インターロック.....	34		
外部インターロック.....	17	温	
外部コマンド.....	6	温度.....	23
外部コントローラー.....	6		
外部電圧.....	32	漏	
		漏洩電流.....	12, 22
安		($>3, 5$ MA).....	13
安全検査.....	22		
		状	
定		状態メッセージ.....	46
定格値.....	53	状態モードにある場合.....	46
導		直	
導管.....	12, 23	直流.....	6
		直流リンク.....	53
手		直流電流.....	6
手動初期化.....	31		
		空	
承		空きスペース.....	8
承認規格.....	1		
		端	
技		端子 53.....	32
技術データ.....	73	端子プログラミング.....	17
		端	
持		53.....	17
持ち上げる.....	9	54.....	17

端末の締め付け.....	86		
端末プログラム例.....	33		
絶			
絶縁ケーブル.....	12		
絶縁された主電源.....	14		
総			
総負荷電流.....	8		
背			
背板.....	9		
自			
自動オン.....	48		
自動モーター適合.....	25		
自動モーター適合化.....	46		
自動モード.....	29		
複			
複数のモーター.....	22		
複数の周波数変換器.....	12, 13		
記			
記号.....	1		
設			
設定.....	29		
設定値.....	48		
設置.....	5, 8, 9, 14, 21, 23, 24		
誘			
誘導電圧.....	12		
警			
警告.....	49		
警告と警報の種類.....	49		
警報.....	49		
警報と警告の定義.....	50		
警報と警告の表示.....	49		
警報ログ.....	29, 31		
迅			
迅速なセットアップ.....	25		
通			
通信オプション.....	55		
		速	
		速度指令信号.....	1, 17, 33, 41, 46, 47
		速度指令信号値.....	46
		速度指令値.....	27
		運	
		運転許可信号.....	47
		過	
		過負荷保護.....	8, 12
		過電圧.....	27, 47
		過電流.....	47
		遠	
		遠隔速信.....	47
		遮	
		遮断器.....	23
		閉	
		閉ループ.....	17
		開	
		開ループ.....	17, 32
		電	
		電力依存.....	63
		電力系統の配線.....	12
		電圧レベル.....	73
		電氣的ノイズ.....	13
		電流制限.....	26, 54
		電流定格.....	8, 53
		電源.....	56
		高	
		高いスイッチ周波数.....	53
		高調波.....	6



www.danfoss.com/drives にあります。

カタログ、ブローチャー、その他の印刷物に万が一間違いが含まれていたとしても、ダンフォスはいっさい責任を負いかねますので、ご了承ください。なおダンフォスは予告なしに製品に変更を加える権利を保有しています。既にご注文をいただいている製品に関しても、注文品の詳細に影響を及ぼさない範囲内で、変更がなされることがあります。印刷物に記載されている商標は各社の所有物件です。名称Danfossおよびダンフォスのロゴタイプはダンフォス社の商標で、それに関するすべての権利はダンフォス社に帰属します。

